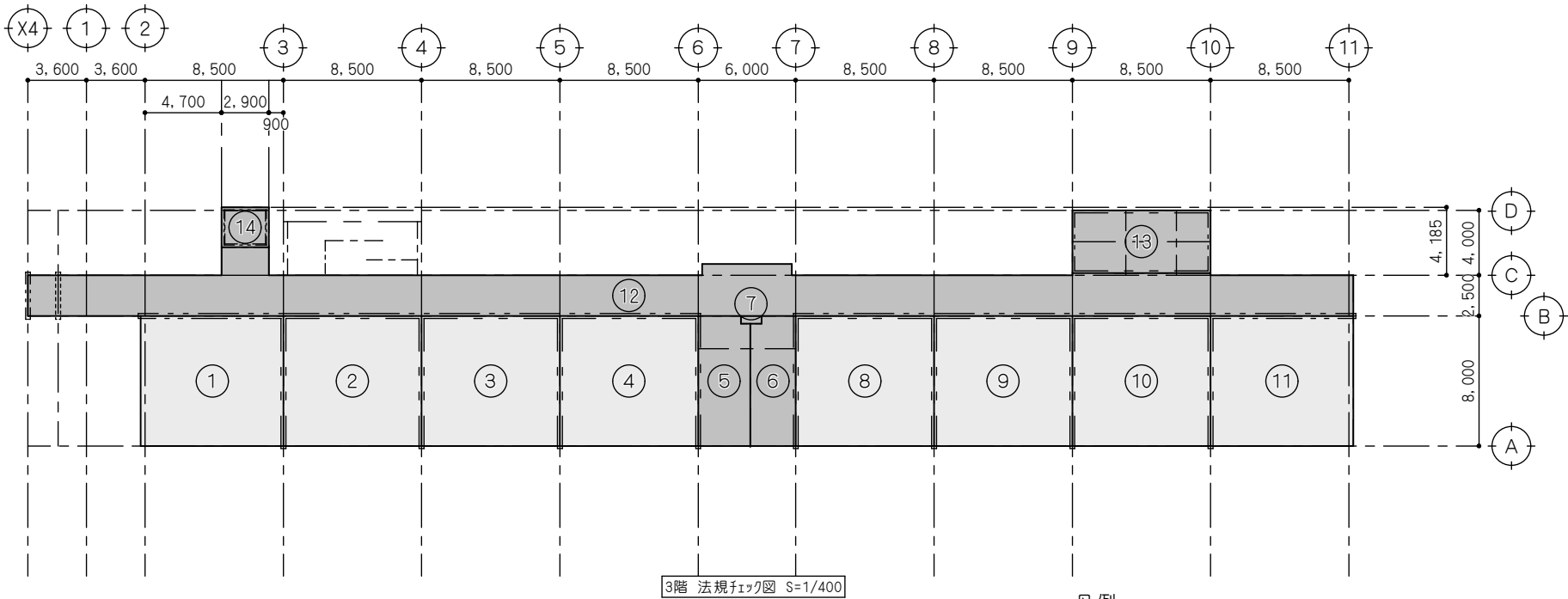
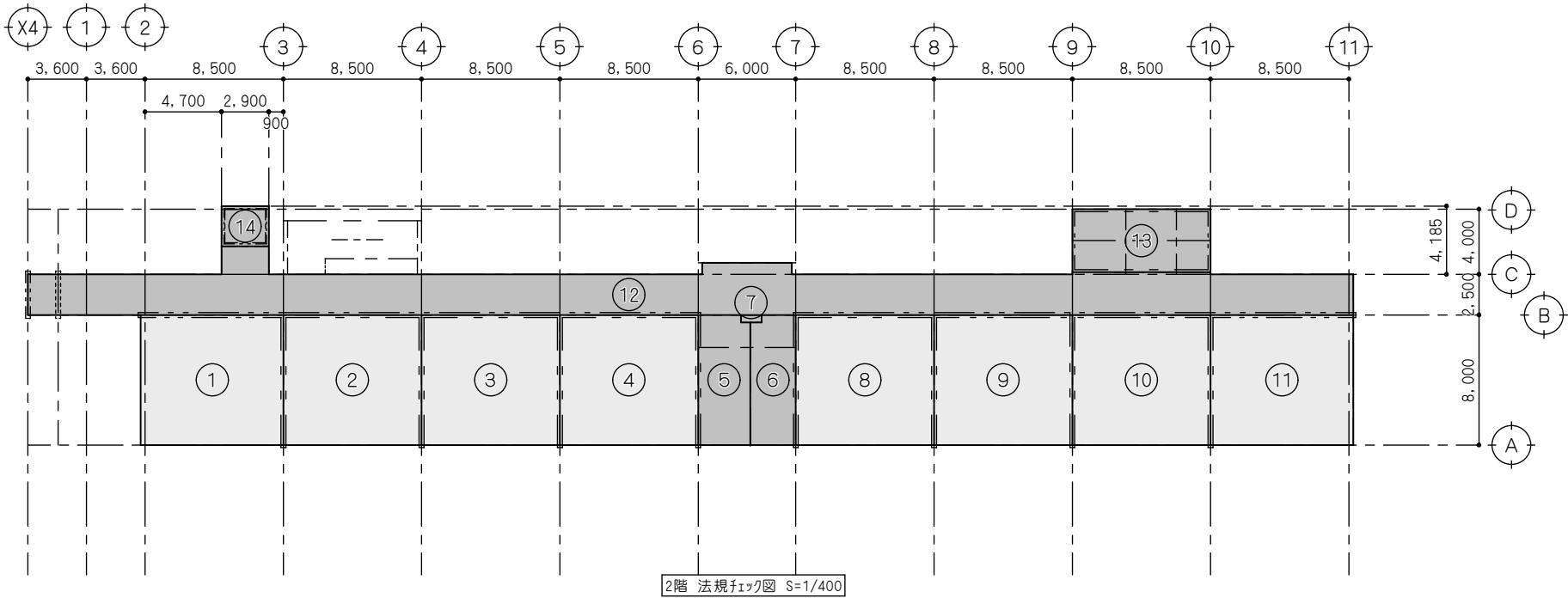
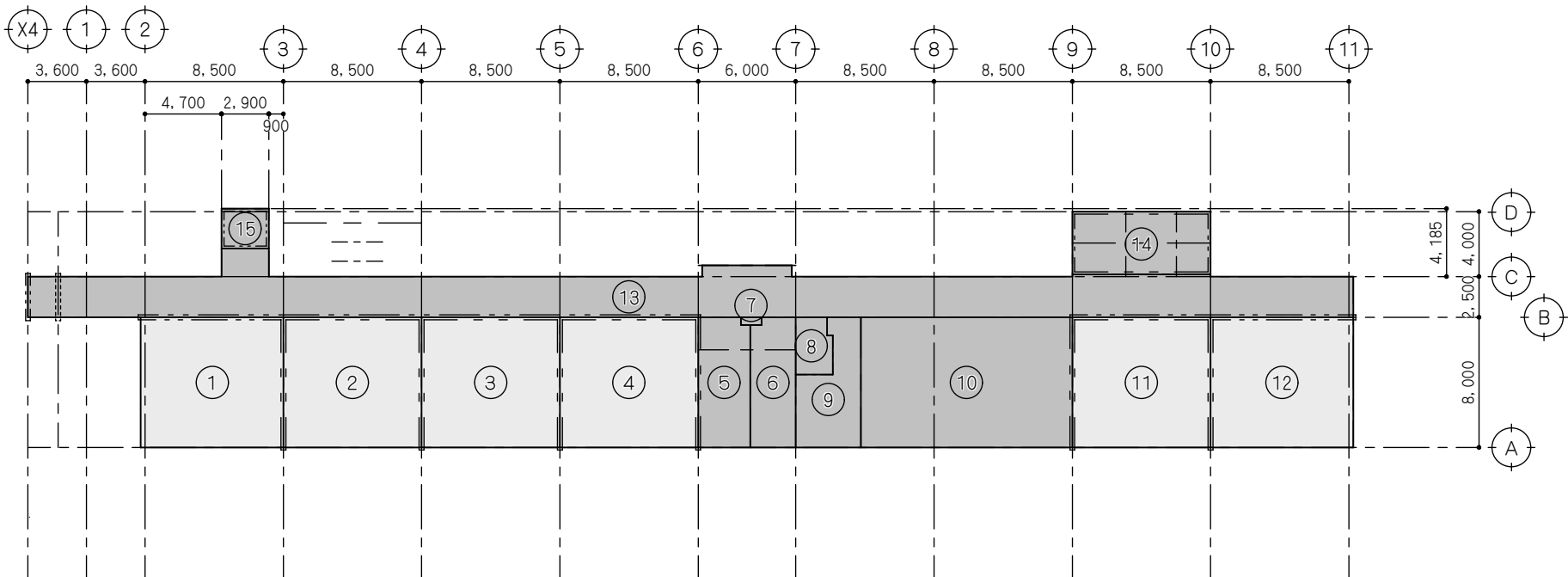
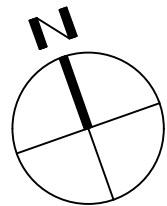




凡例
--- 防火区画(縦穴区画)
=== 防火区画(面積区画)
=== 令114条区画
居室
非居室



法規フィック表											
階数	番号	部屋名称	床面積 (A)	採光フィック(L) 建法28条、建法第35条の3、 建令第19条、建令第111条1項、建令第116条の2		換気フィック(V) 建法第28条2項		排煙フィック(S) 建法35条、建令第116条の2			
				必要面積 1/5	有効採光面積	必要面積 1/20	有効換気面積	必要面積 1/50	有効窓面積		
1階	①	普通教室(多目的-1)	70.20	14.04	AW-1:1.86 x 0.90 *4+1.86 x 1.10*4 14.88 1.0K	3.51	AW-1:0.93 x 1.95 *2 3.62 1.0K	1.40	AW-1:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	②	普通教室(1-1)	68.00	13.06	AW-1:1.86 x 0.90 *4+1.86 x 1.10*4 14.88 1.0K	3.40	AW-1:0.93 x 1.95 *2 3.62 1.0K	1.36	AW-1:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	③	普通教室(1-2)	68.00	13.06	AW-1:1.86 x 0.90 *4+1.86 x 1.10*4 14.88 1.0K	3.40	AW-1:0.93 x 1.95 *2 3.62 1.0K	1.36	AW-1:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	④	普通教室(小人数)	68.00	13.06	AW-1:1.86 x 0.90 *4+1.86 x 1.10*4 14.88 1.0K	3.40	AW-1:0.93 x 1.95 *2 3.62 1.0K	1.36	AW-1:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑤	女子便所	25.33	非居室		非居室		非居室			
	⑥	男子便所	22.08	非居室		非居室		非居室			
	⑦	PS	0.59	非居室		非居室		非居室			
	⑧	多目的便所	7.64	非居室		非居室		非居室			
	⑨	教材庫	24.36	非居室		非居室		非居室			
	⑩	昇降口	104.00	非居室		非居室		非居室			
	⑪	普通教室(2-1)	68.00	13.06	AW-1:1.86 x 0.90 *4+1.86 x 1.10*4 14.88 1.0K	3.40	AW-1:0.93 x 1.95 *2 3.62 1.0K	1.36	AW-1:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑫	普通教室(2-2)	70.20	14.04	AW-1:1.86 x 0.90 *4+1.86 x 1.10*4 14.88 1.0K	3.51	AW-1:0.93 x 1.95 *2 3.62 1.0K	1.40	AW-1:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑬	廊下	213.69	非居室		非居室		非居室			
	⑭	階段	32.85	非居室		非居室		非居室			
	⑮	EV	7.13	非居室		非居室		非居室			
2階	①	普通教室(多目的-2)	70.20	14.04	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.51	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.40	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	②	普通教室(3-1)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	③	普通教室(3-2)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	④	普通教室(なないろ-1)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑤	女子便所	25.33	非居室		非居室		非居室			
	⑥	男子便所	22.08	非居室		非居室		非居室			
	⑦	PS	0.59	非居室		非居室		非居室			
	⑧	普通教室(なないろ-2)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑨	普通教室(4-1)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑩	普通教室(4-2)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑪	普通教室(多目的-3)	70.20	14.04	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.51	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.40	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑫	廊下	213.69	非居室		非居室		非居室			
	⑬	階段	32.85	非居室		非居室		非居室			
	⑭	EV	7.13	非居室		非居室		非居室			
3階	①	普通教室(5-1)	70.20	14.04	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.51	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.40	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	②	普通教室(5-1)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	③	普通教室(なないろ-3)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	④	普通教室(なないろ-4)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑤	女子便所	25.33	非居室		非居室		非居室			
	⑥	男子便所	22.08	非居室		非居室		非居室			
	⑦	PS	0.59	非居室		非居室		非居室			
	⑧	普通教室(なないろ-5)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑨	普通教室(6-1)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑩	普通教室(6-2)	68.00	13.06	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.40	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.36	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑪	普通教室(小人数)	70.20	14.04	AW-3:1.86 x 1.10*4+1.86 * 0.90*4 14.88 1.0K	3.51	AW-3:0.93 x 1.10 *4 4.09 1.0K	1.40	AW-3:0.93 x 0.73 *4 2.71 1.0K		
	⑫	廊下	213.69	非居室		非居室		非居室			
	⑬	階段	32.85	非居室		非居室		非居室			
	⑭	EV	7.13	非居室		非居室		非居室			

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI
目新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化工事

Drawing Title 法規フィック図01

多湖 弘樹

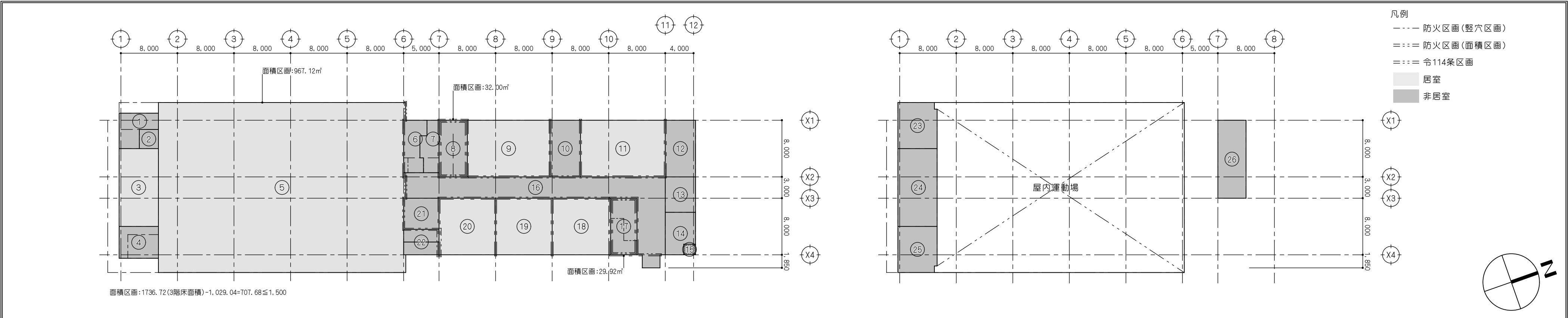
一級建築士 第382361号

設計担当

DATE
2023
SCALE
A2:1/400 A3:1/560

A - 8 4

【原図A2】



法規チェック表										消防法上の有窓階・無窓階算定 ＜消防法施行規則第5条の2＞											
普通教室棟																					
階数	番号	部屋名称	床面積 (A)	採光チェック(L) 建法28条、建法第35条の3、 建令第19条、建令第111条1項、建令第116条の2		換気チェック(V) 建法第28条2項		排煙チェック(S) 建法35条、建令第116条の2													
				必要面積 1/5、1/20	有効採光面積	必要面積 1/20	有効換気面積	必要面積 1/50	有効窓面積	必要開口面積	建具記号	有効開口面積(直径1m以上の円が内接する開口、もしくは75cm以上×1.2m以上の開口が2ヶ所以上) + (直径50cm以上の円が内接する開口) ※開口下端が1.2m以下									
												床面積: 2,477.05㎡(1階) 2,397.25㎡(2階) 2,584.25㎡(3階)									
												有効開口面積(直径1m以上の円が内接する開口、もしくは75cm以上×1.2m以上の開口が2ヶ所以上) + (直径50cm以上の円が内接する開口) ※開口下端が1.2m以下		床面からの高さ		ガラスの種類		開錠方法		有効開口面積(幅×高さ×ヶ所)	
3階	①	控室A	20.51							82.57㎡	AW-1(特別教室棟)	±0	Pw6.8、FL3	グレット	AW-1:(0.87 * 1.95 *2 + 0.86 * 1.10 *2)*3	15.85					
	②	放送室	7.29								AW-2(特別教室棟)	+850	FL3	グレット	AW-2:(0.87 * 1.10 *4)*4	15.31					
	③	スレージ	61.16	12.23	屋内運動場と合算	12.23	屋内運動場と合算		不要		AW-4(特別教室棟)	+850	FL3	グレット	AW-4:(0.87 * 1.10 *4)	3.82					
	④	控室	25.02								AW-1(普通教室棟)	±0	Pw6.8、FL3	グレット	AW-1:(0.93 * 1.95 *2 + 0.93 * 1.10 *2)*6	34.03					
	⑤	屋内運動場	835.13	53.99 (41.76)	AW-34:7.18 x 2.30 *8 132.11 ㎡	53.99 (41.76)	AW-34:(0.87 x 1.30 *4 + 0.87 x 0.90 *4)*8 →61.24 ㎡		不要		AW-4(普通教室棟)	+1200	Pw6.8、FL3	グレット	AW-4:(0.93 * 1.50 *2)*5	13.95					
	⑥	女子便所	20.27								AW-6(普通教室棟)	±0	FL5	グレット	AW-6:(0.67 * 1.50 *2)*2	4.02					
	⑦	男子便所	16.73																		
	⑧	階段	32.00																		
	⑨	視聴覚室	93.60	18.72	AW-31:7.18 x 2.10 AW-32:3.18 x 2.10	15.07 6.67 21.74 ㎡	4.68	AW-31: 0.87 x 1.50 *4 + 0.87 * 0.50 *3 6.52 ㎡	1.87	AW-31: 0.87 * 0.73 *3				グレット	AW-2:(0.87 * 0.75 *2)*6 AW-18:(0.87 * 0.75 *4)*2 AW-19:(0.87 * 0.75 *4)*2	7.83 5.22 5.22					
	⑩	視聴覚室 準備室	34.00								AW-2(普通教室棟)	±0、+1200	Pw6.8、FL3	グレット	AW-2:(1.86 * 2.00)	3.72					
	⑪	家庭科教室	96.00	19.20	AW-29:7.18 x 2.10 - 0.58 * 0.50 *2 AW-30:3.59 * 2.10	14.49 7.53 22.02 ㎡	4.80	AW-29:0.87 x 1.5 *4 + 0.87 * 0.50 *2 6.09 ㎡	1.92	AW-29:0.87 * 0.73 *2				グレット	AW-3:(0.93 * 0.75 *4)*8 AW-4:(0.93 * 1.50 *4)*3 AW-4a:(0.93 * 1.50 *4)*2 AW-4b:(0.93 * 1.10 *2) AW-5b:(0.84 * 1.50 *3)	22.32 16.74 11.16 2.04					
	⑫	家庭科準備室	34.20								AW-5b(普通教室棟)	+1200	Pw6.8	グレット	AW-5b:(0.84 * 1.50 *3)	3.78					
	⑬	資料室	21.38								AW-6(普通教室棟)	±0	FL5	グレット	AW-6:(0.67 * 1.50 *2)*2	1.77 4.02					
	⑭	配膳室	23.14																		
	⑮	DW	2.51																		
⑯	廊下	149.72																			
2階	⑰	階段室	29.92							86.15㎡	AW-27(特別教室棟)	+850 (テリ高H1, 200)	FL3	グレット	AW-27:(0.87 * 1.15 *2)*3	6.00					
	⑱	普通教室	66.08	13.21	AW-27:7.18 x 2.10	15.07 ㎡	3.30	AW-27:0.87 x 1.50 *4+ 0.87 * 0.50 *4 6.96 ㎡	1.32	AW-27:0.87 * 0.73 *4				グレット	AW-28:(0.77 * 1.15 *2)	1.77					
	⑲	普通教室	64.00	12.80	AW-27:7.18 x 2.10	15.07 ㎡	3.20	AW-27:0.87 x 1.50 *4+ 0.87 * 0.50 *4 6.96 ㎡	1.28	AW-27:0.87 * 0.73 *4				グレット	AW-29:(0.87 * 1.15 *2)	2.00					
	⑳	普通教室	64.00	12.80	AW-27:7.18 x 2.10	15.07 ㎡	3.20	AW-27:0.87 x 1.50 *4+ 0.87 * 0.50 *4 6.96 ㎡	1.28	AW-27:0.87 * 0.73 *4				グレット	AW-30:(0.87 * 1.15 *4)	4.00					
	㉑	倉庫	22.00								AW-31(特別教室棟)	+850 (テリ高H1, 200)	FL3	グレット	AW-31:(0.87 * 1.15 *4)	4.00					
	㉒	更衣室	18.00								AW-32(特別教室棟)	+850 (テリ高H1, 200)	FL3	グレット	AW-32:(0.77 * 1.15 *2)	1.77					
	㉓	倉庫	35.71								SD-4(特別教室棟)	±0	PW6.8	サムターン	SD-4:(1.71 * 2.00)	3.42					
	㉔	ブドウ棚	61.16								AW-2(普通教室棟)	±0、+1200	Pw6.8、FL3	グレット	AW-2:(1.86 * 2.00)	3.72					
	㉕	倉庫	35.71								AW-3(普通教室棟)	+850 (テリ高H1, 200)	FL3	グレット	AW-3:(0.93 * 0.75 *4)*8	22.32					
	㉖	階段	44.00								AW-4(普通教室棟)	+1200	FL3	グレット	AW-4:(0.93 * 1.50 *4)*3	16.74					
											AW-4a(普通教室棟)	+1200	Pw6.8	グレット	AW-4a:(0.93 * 1.50 *4)*2	11.16					
											AW-4b(普通教室棟)	+850	F5	グレット	AW-4b:(0.93 * 1.10 *2)	2.04					
											AW-5b(普通教室棟)	+1200	Pw6.8	グレット	AW-5b:(0.84 * 1.50 *3)	3.78					
											AW-6(普通教室棟)	±0	FL5	グレット	AW-6:(0.67 * 1.50 *2)*2	4.02					

夏休み前（準備期間）

育生健康公園

放課後児童クラブ

防災倉庫

給食棟

EV棟増築

ピオトープ

普通教室棟

特別教室棟

職員・来客者用駐輪場

職員・来客車両出入口

校門

児童等学校関係者利用出入口

運動場

仮囲い(ガードフェンスH1,800)

仮設駐車場 約40台
(職員・来客用)

片開き門扉

付属棟

プール

体育倉庫

すべり台

工事車両出入口

凡例

- : A型バリアード
- - - : ガードフェンス 1800×1800
- ~~~~~ : キャスターゲート
- //// : 仮設鉄板敷き t=22
- ◇◆ : 交通誘導員
- ← : 工事車両進入口

凡例

- 増築建築物
- 既存建築物

※工事車両と生徒登校時動線の重なる箇所には、特に必要に応じて誘導員を配置すること。

※高所作業車使用時は、コーン等で区画すること。

※上記記載以外に必要なと思われる仮設については 請負者の責任において設置すること。

※グラウンド等への大型車両進入時や資機材運搬時については、必要に応じてA型バリアード等にて施設利用者や生徒の安全を確保すること。

※作業等により既設グラウンド等を乱した場合は速やかに復旧すること。

〔原図A2〕

■ : NOTE

NISSHIN
SEKKEI

目新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

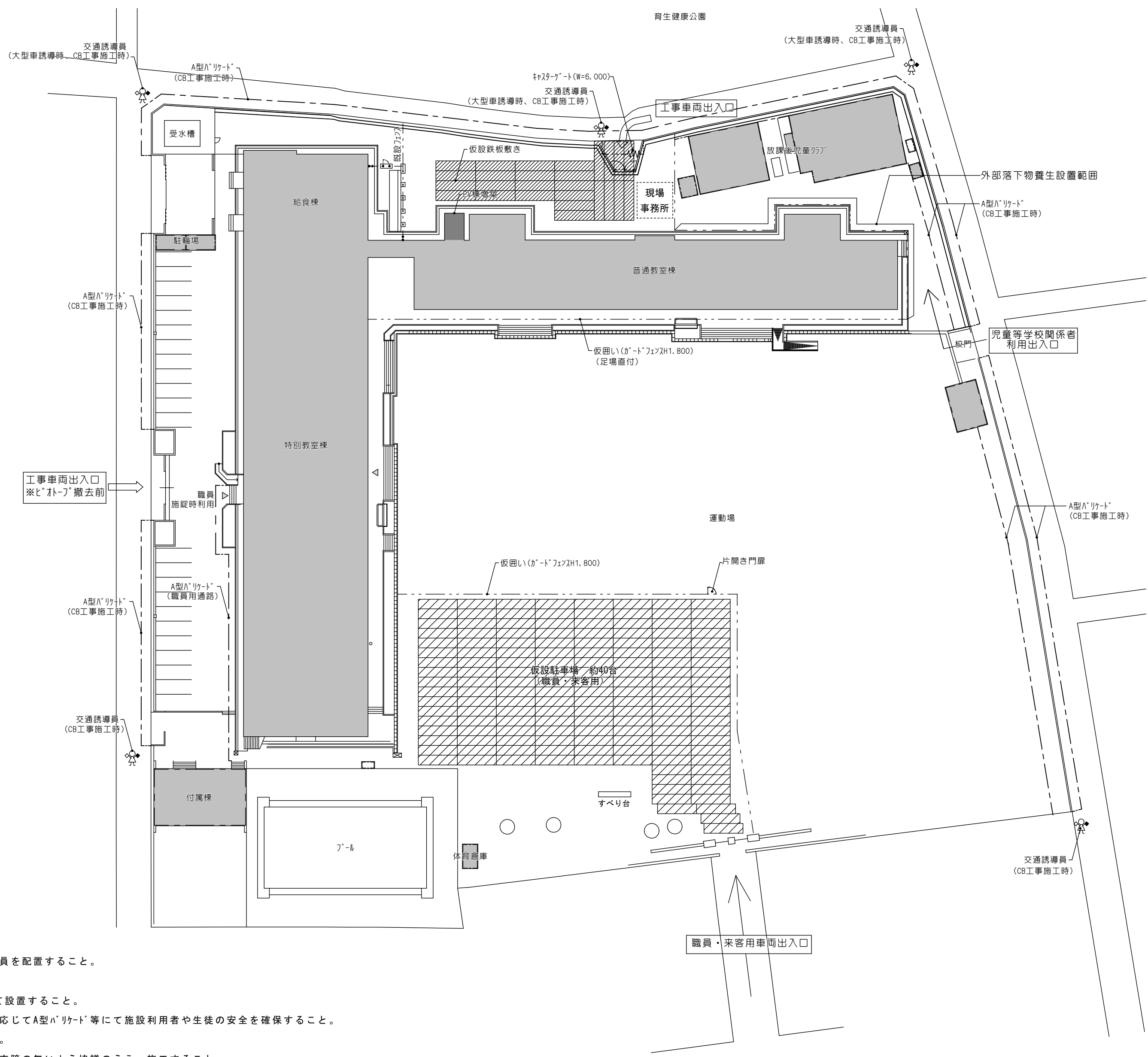
Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事				
Drawing Title 仮設計画図（外部1）				
設計担当				
多湖 弘樹 一級建築士 第382361号				

凡例

■ 增築建築物

■ 既存建築物

夏休み期間（7/20～8/31）



凡例

: A型ハ'リケート

: ガ'ード'フェンス 1800×1800

: キャスターゲート

: 仮設鉄板敷き t=22

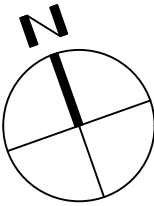
: 交通誘導員

: 工事車両進入口

凡例

増築建築物

既存建築物

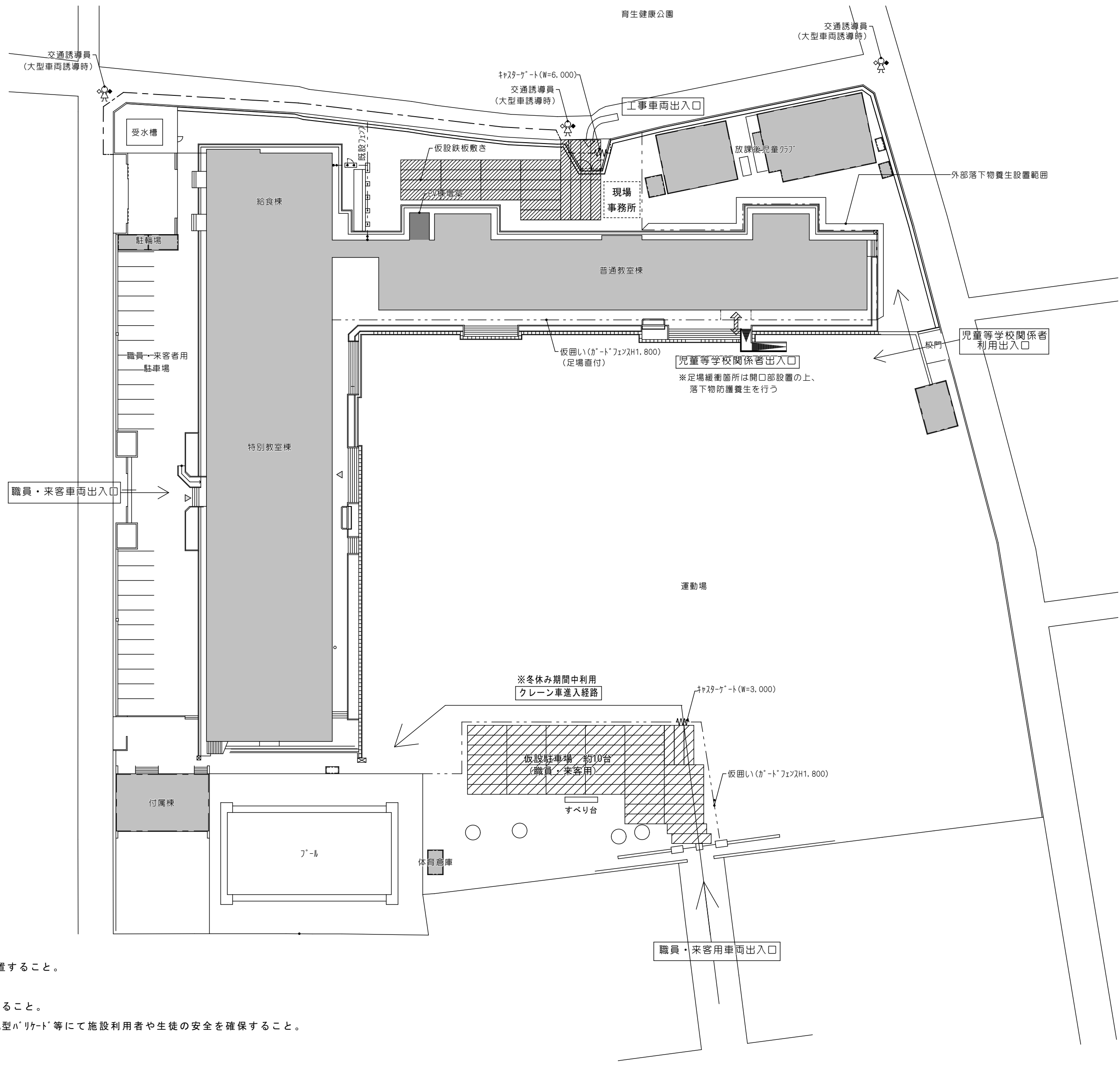


〔原図A2〕

- ※工事車両と生徒登校時動線の重なる箇所には、特に必要に応じて誘導員を配置すること。
- ※高所作業車使用時は、コンパ'-等で区画すること。
- ※上記記載以外に必要なと思われる仮設については 請負者の責任において設置すること。
- ※グラウンド等への大型車両進入時や資機材運搬時については、必要に応じてA型ハ'リケート'等にて施設利用者や生徒の安全を確保すること。
- ※作業等により既設グラウンド等を乱した場合は速やかに復旧すること。
- ※夏休みの職員動線は職員玄関の警備システムに配慮するとともに、動線に支障の無いよう協議のうえ、施工すること。
- ※C B工事施工時は、交通誘導員を2人以上配置すること。

■ : NOTE	NISSHIN SEKKEI 日新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号	Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事					DATE	
		Drawing Title 仮設計画図（外部2）					2023	
							SCALE	
							A2:1/500 A3:1/700	
		設計担当					A - 8 8	
		多湖 弘樹						
		一級建築士 第382361号						

夏休み後（9/1～）



※工事車両と生徒登校時動線の重なる箇所には、特に必要に応じて誘導員を配置すること。
※高所作業車使用時は、コーン等で区画すること。
※上記記載以外に必要なと思われる仮設については、請負者の責任において設置すること。
※グラウンド等への大型車両進入時や資機材運搬時については、必要に応じてA型バリア等にて施設利用者や生徒の安全を確保すること。
※作業等により既設グラウンド等を乱した場合は速やかに復旧すること。
※CB工事施工時は、交通誘導員を2人以上配置すること。

■：NOTE

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

Job Title	津市立育生小学校長寿命化改修工事			
Drawing Title	仮設計画図（外部3）			
設計担当				
多湖 弘樹				
一級建築士 第382361号				

DATE
2023
SCALE
A2:1/500 A3:1/700
A - 8 9

凡例

: A型バリア

: ガートフェンス 1800×1800

~~~~~

: キャスターゲート

////

: 仮設鉄板敷き t=22

⦿

: 交通誘導員

←

: 工事車両進入口

凡例

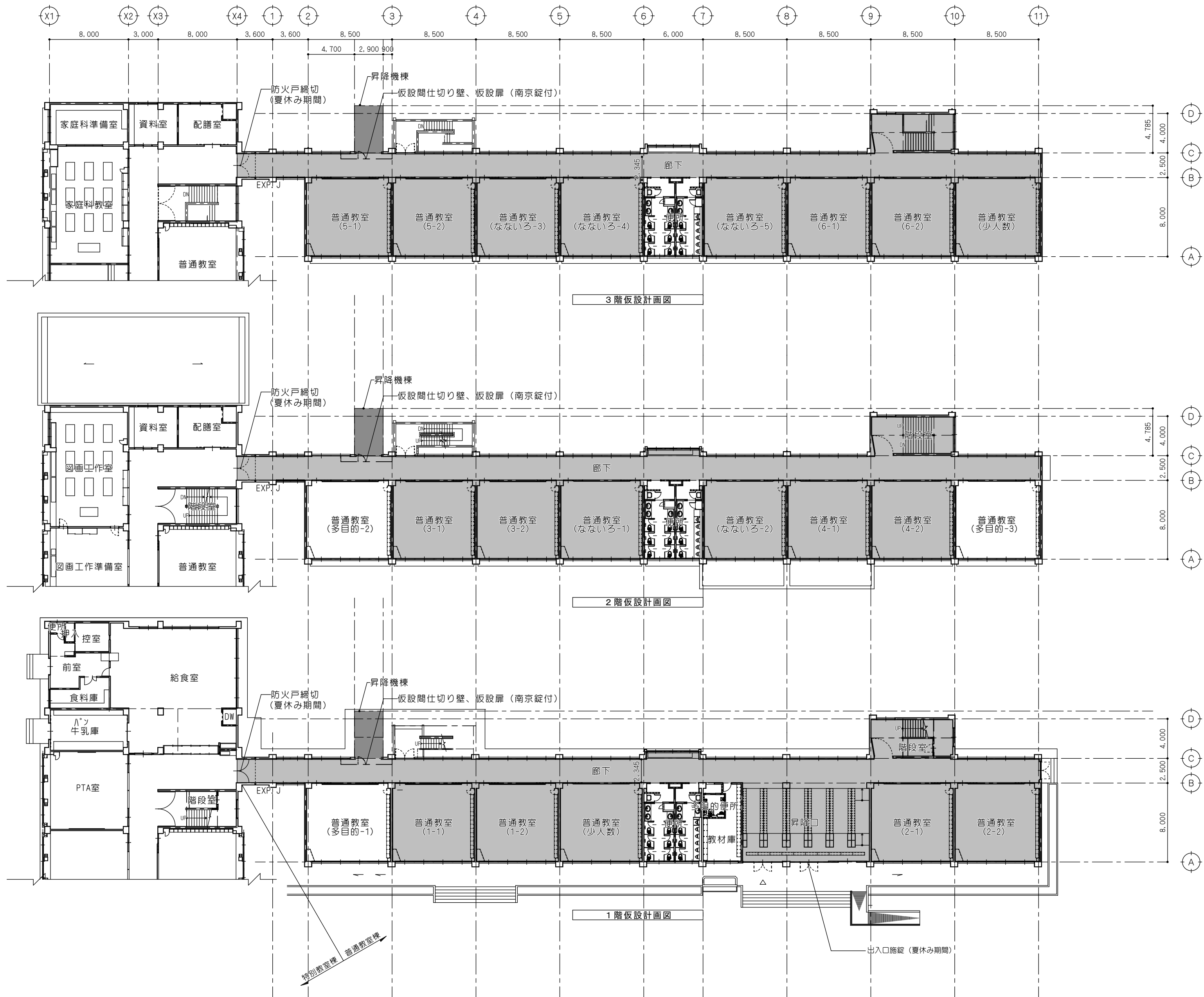
■

増築建築物

■

既存建築物

【原図A2】



| 凡 例                                               |                        |
|---------------------------------------------------|------------------------|
|                                                   | 改修範囲を示す                |
|                                                   | 仮設間仕切り壁（B種）            |
|                                                   | 仮設扉：アルミ製片開きパネルドア（南京錠付） |
| ※工事継続期間外での移動経路を工事関係者が通行する時刻については「学校との事前の協議」によること。 |                        |
| ※仮設間仕切り壁が避難通路にある場合は、出来る限り通路幅の有効をとるように検討して設置すること。  |                        |
| ※ほこり等が発生する場合、適宜養生を行って施工すること。                      |                        |

|        |  |
|--------|--|
| ■：NOTE |  |
|        |  |
|        |  |
|        |  |

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| Job Title<br>津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  |
| Drawing Title<br>仮設計画図（内部）    |  |
| 設計担当<br>多湖 弘樹                 |  |
| 一級建築士 第382361号                |  |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| DATE<br>2023               |  |
| SCALE<br>A2:1/300 A3:1/420 |  |
| A - 9 0                    |  |

【原図A2】



## 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

## 1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d・・・異形棒端の呼び名に用いた数値 丸端では径  
φ・・・間隔 r・・・半径 ◎・・・中心線  
hφ・・・部材間の内法高さ ST・・・あばら筋  
S、HOOP・・・補強帯筋 φ・・・直径又は丸端

D・・・部材の成 R・・・直径  
φ・・・部材間の内法距離  
HOOP・・・帯筋

## 2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

| 折曲げ角度                                                                                                 | 180° | 135°         | 90°          | 折曲げ角度90°はスラブ、壁筋の末端部又はスラブと同時に打ち込むT型及びL型梁のキャップタイにのみ用いる。<br>※片持スラブ上端筋の先端 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 図                                                                                                     |      |              |              |                                                                       |
| 鉄筋の余長                                                                                                 | 4d以上 | 6d以上 (※4d以上) | 8d以上 (※4d以上) |                                                                       |
| 折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。<br>スラブ筋、壁筋に丸端は用いない。 |      |              |              |                                                                       |

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状、鉄筋の折り曲げ角度90°以下

| 図 | 鉄筋の使用箇所による呼称         | 鉄筋の種類                            | 鉄筋の径による区分                         | 鉄筋の折曲げ内法寸法 (R) |
|---|----------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------|
|   | 帯筋<br>あばら筋<br>スパイラル筋 | SR235、SR295<br>SD295A・B<br>SD345 | 16φ<br>D16 以下<br>19φ 以上<br>D19 以上 | 3d以上<br>4d以上   |
|   | 上記以外の鉄筋              | SD295A・B<br>SD345<br>SD390       | D16 以下<br>D19～D25                 | 4d以上<br>6d以上   |
|   |                      |                                  | D29～D41                           | 8d以上           |

(3) 鉄筋の定着及び重ね接手の長さ

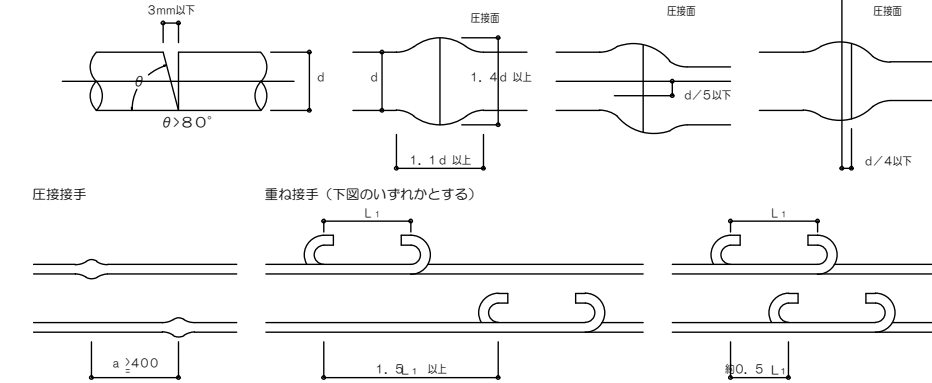
| 鉄筋の種類            | 普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm <sup>2</sup> ) | 定着の長さ         |               | 特別の定着及び重ね接手の長さ (L1) |
|------------------|--------------------------------------------|---------------|---------------|---------------------|
|                  |                                            | 一般 (L2)       | 下ば筋 (L3)      |                     |
| SD295A<br>SD295B | 18                                         | 40dまたは30dフック付 | 小梁            | 45dまたは35dフック付       |
|                  | 21                                         | 35dまたは25dフック付 | スラブ           | 40dまたは30dフック付       |
|                  | 24～36                                      | 30dまたは20dフック付 |               | 35dまたは25dフック付       |
| SD345            | 18                                         | 40dまたは30dフック付 | 20dまたは10dフック付 | 50dまたは35dフック付       |
|                  | 21                                         | 35dまたは25dフック付 | 150mm以上       | 45dまたは30dフック付       |
|                  | 24、27                                      | 35dまたは25dフック付 |               | 40dまたは30dフック付       |
|                  | 30、33、36                                   | 30dまたは20dフック付 |               | 35dまたは25dフック付       |

【注】許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする。

継手

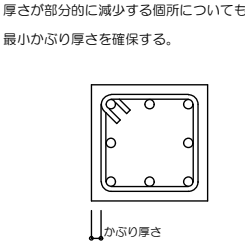
- 末端のフックは、定着及び重ね接手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね接手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



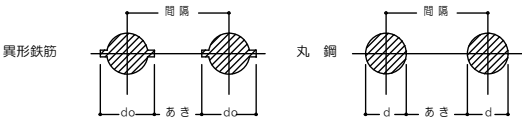
(1) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ誘発自部部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



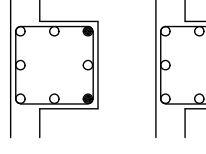
- 【注】1 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
- 2 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- 3 コンクリートの品質及び施工方法に準じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- 4 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
- 5 ( ) 内は仕上げがある場合。
- 6 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

丸端では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値の1.5d以上  
箱骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上

図の●印の鉄筋の重ね接手の

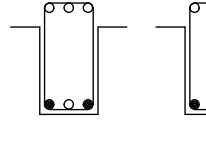
末端にはフックが必要



(6) 鉄筋のフック

(a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a 丸端 b あばら筋、帯筋 c 煙突の鉄筋  
d 柱、梁 (基礎梁を除く) の出隅部分の鉄筋 (右図参照)  
e 単純梁の下筋  
f その他、本配筋標準に記載する箇所

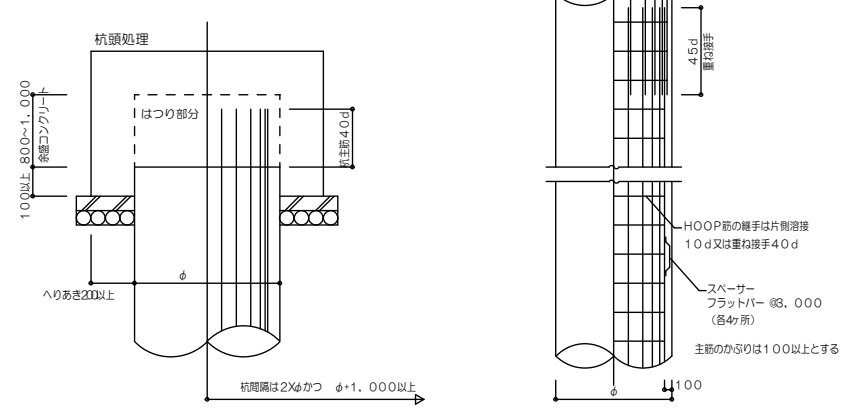


## 3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

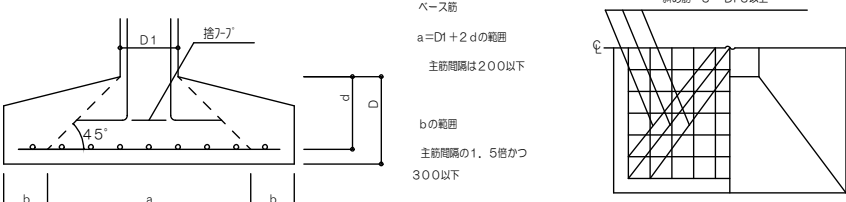
| 所定の位置に止まった場合                          | 所定より低く止まった場合 |
|---------------------------------------|--------------|
|                                       |              |
| 杭 径 300φ、350φ 400φ 450φ 500φ 600φ     |              |
| 補 強 筋 6-D13 8-D13 10-D13 8-D16 10-D16 |              |
| HOOP D10 - 間 50                       |              |

(2) 現場打ちコンクリート杭

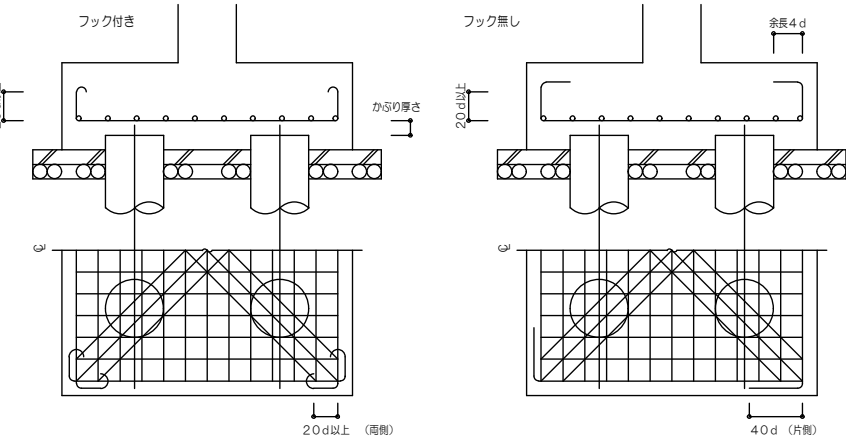


## 4. 基礎

(1) 直接基礎

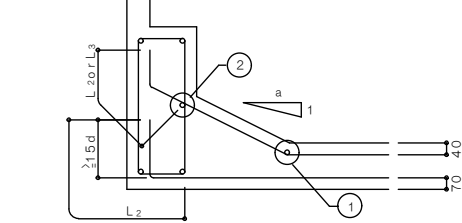


(2) 杭基礎



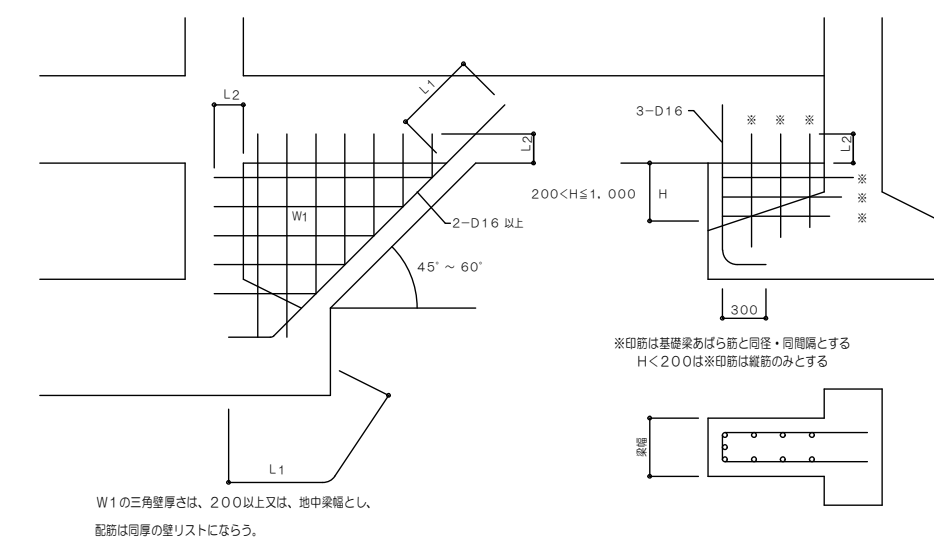
(3) ベタ基礎

ハンチを付けた場合 (a≧3)



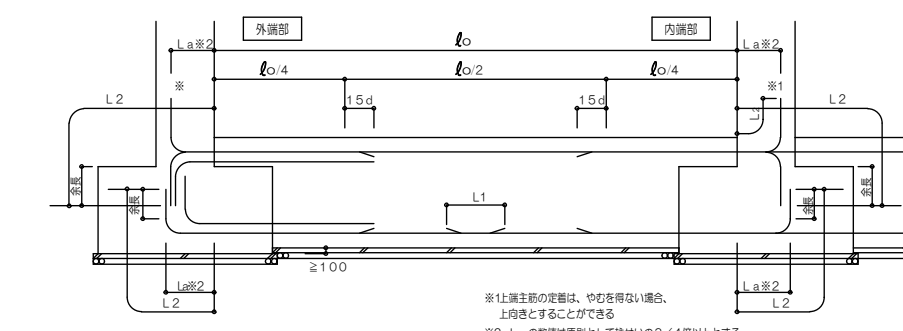
- 配筋鉄筋の継手位置は床スラブに85°傾し上段と下段をよめる。
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
- ②の鉄筋はD13以上。
- 直径以上のある場合は40を70とする。

(4) 基礎接合部の補強

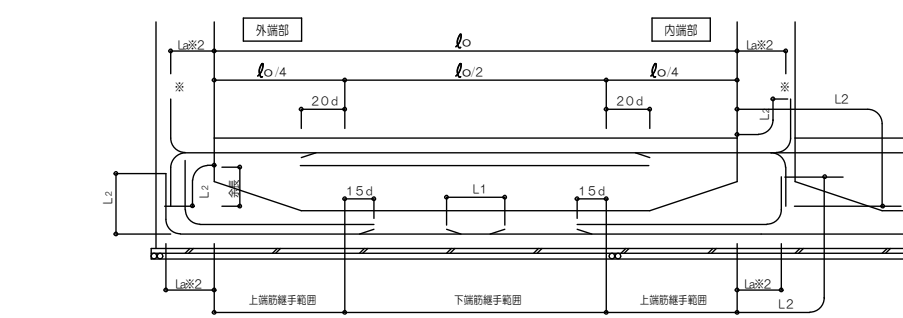


## 5. 地中梁

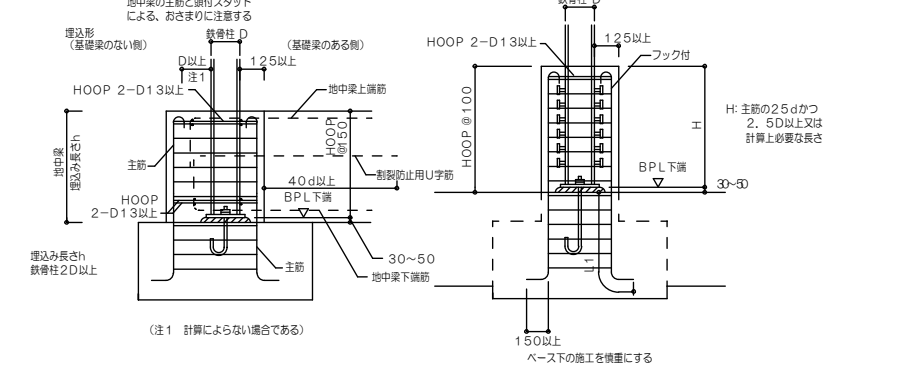
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、接手)



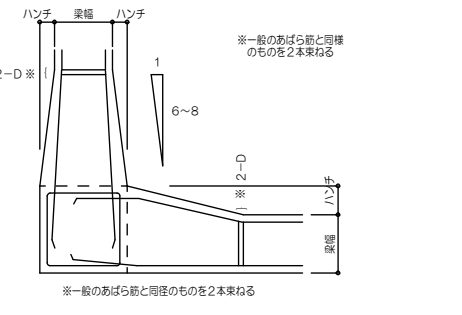
(2) 布基礎、ベタ基礎の場合 (定着、接手)



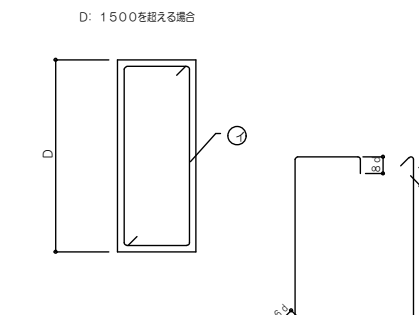
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

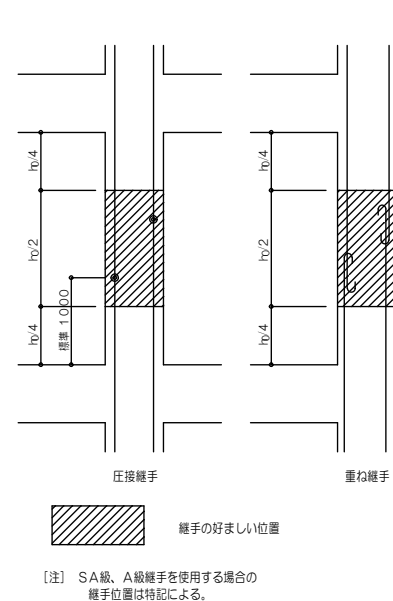


(5) せいの高い梁の場合のあばら筋加工要領

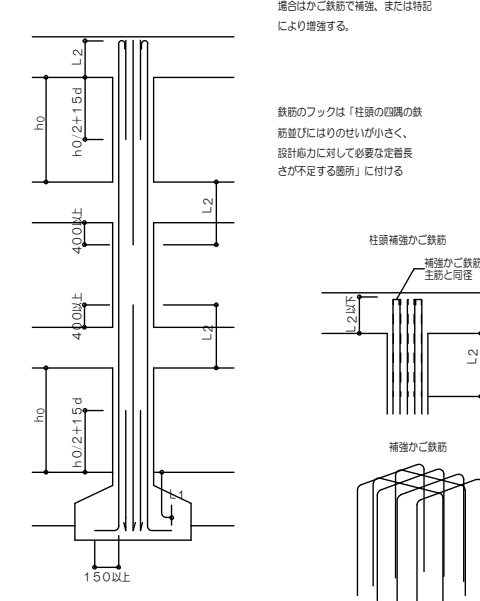


## 6. 柱

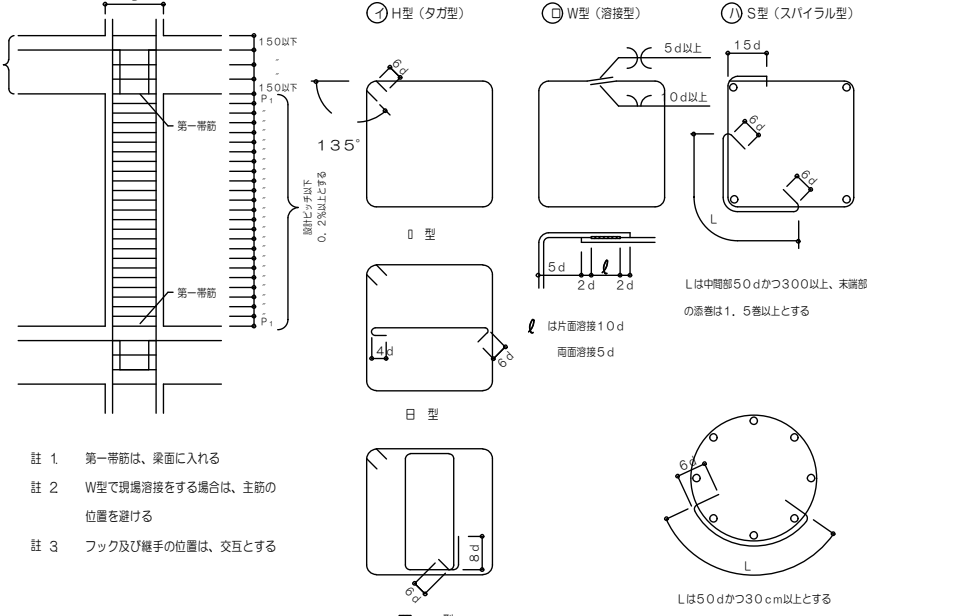
(1) 柱主筋の継手



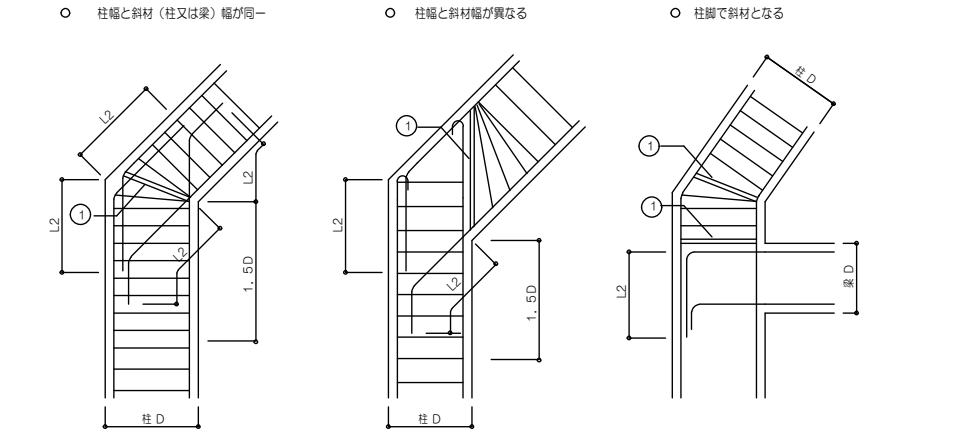
(2) 柱主筋の定着



(3) 帯筋

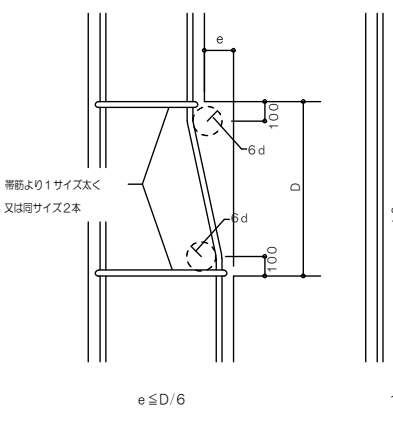


(4) 斜め柱、斜め梁

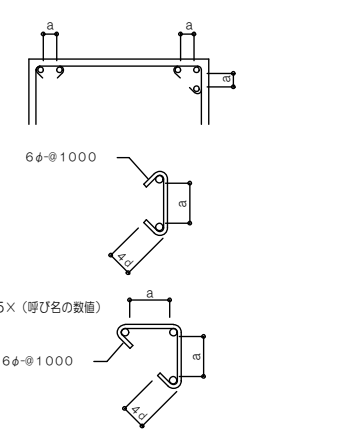


- 注1. 1. 5Dの範囲の柱の帯筋は1段太いものか、又はダブル巻とし ①100 以下とする
- 注2. ①の鉄筋は 2-D13かつ、2本の1段太い鉄筋とする

(5) 絞り



(6) 二段筋の保持

一級建築士 第332033号  
構造設計一級建築士 第8984号 井上 貴智

【原図A2】

■: NOTE

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

Job Title

津市立育生小学校長寿命化改修工事

Drawing Title

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

多湖 弘樹

一級建築士 第382361号

設計担当

DATE

2023

SCALE

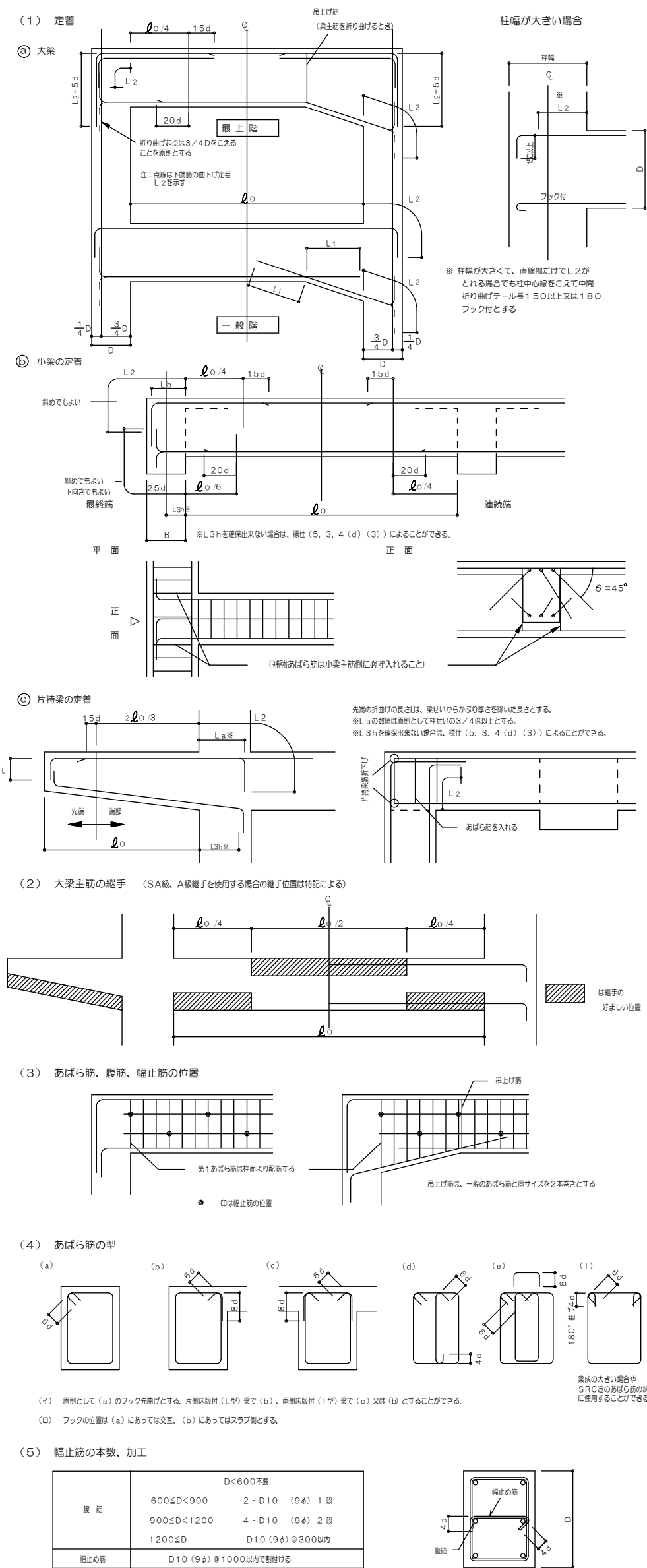
A2:N・S A3:N・S

S-02

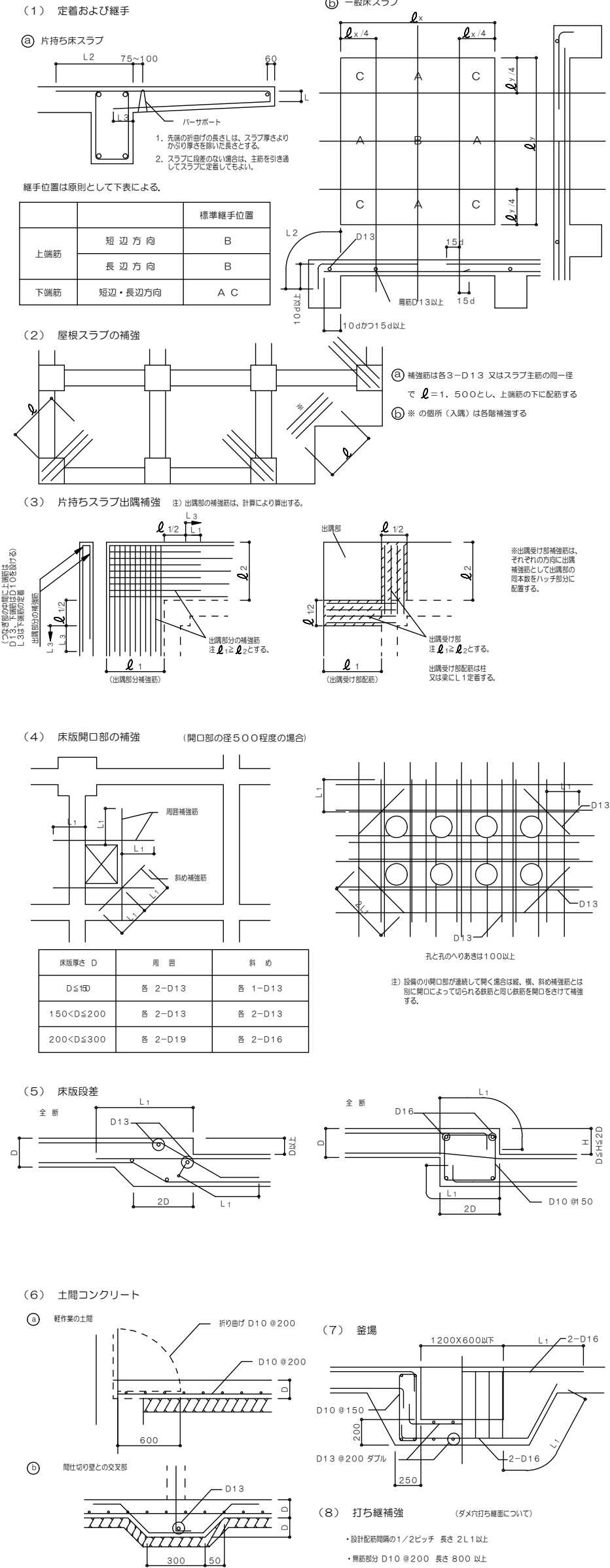
## 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) の2-(3)による。

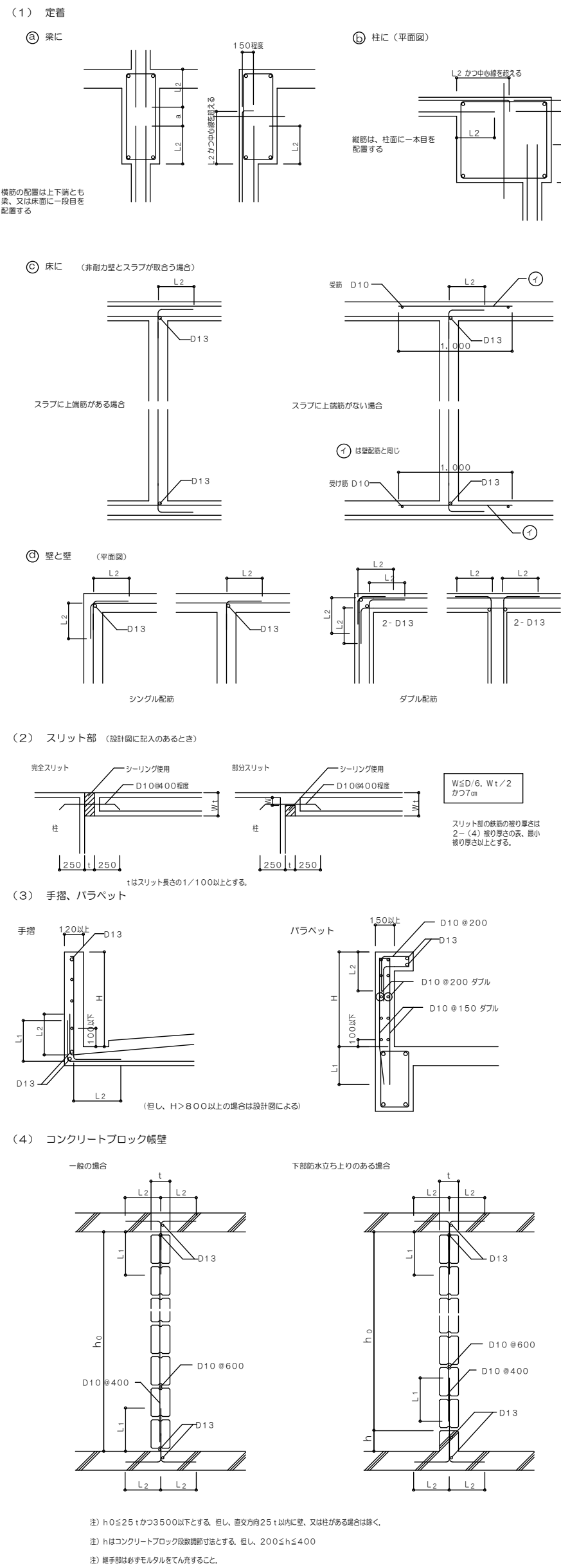
## 7. 大梁、小梁、片持梁



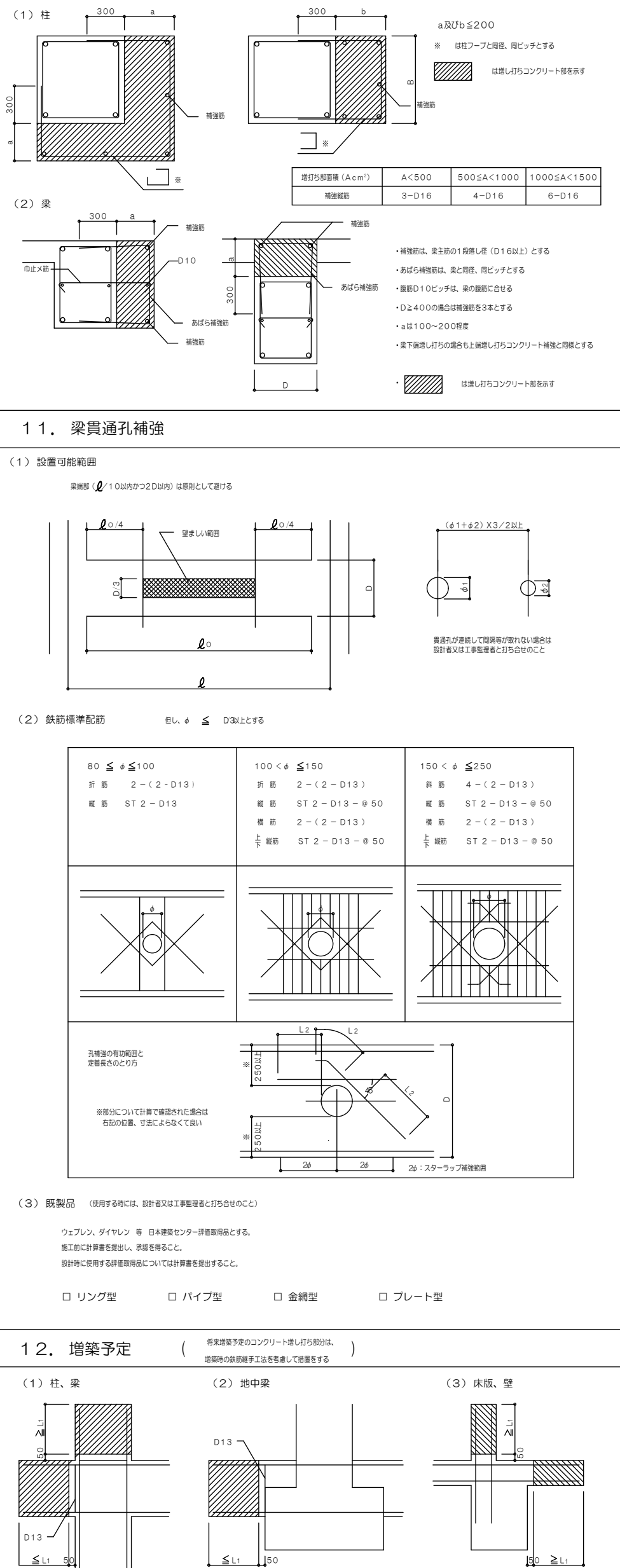
## 8. 床版



## 9. 壁



## 10. 柱、梁増し打ちコンクリート補強



■ : NOTE

## 鉄骨構造標準図(1)

## 1. 一般事項

## (1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による  
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする  
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

## (2) 工作一般

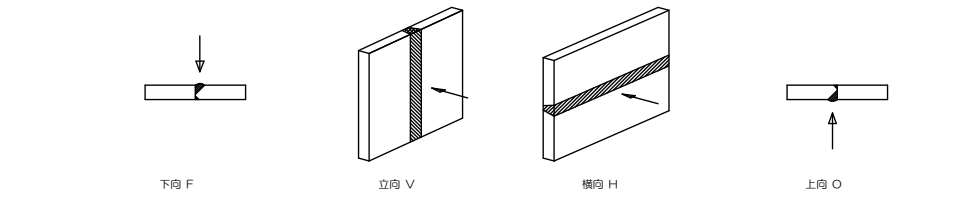
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る  
(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による  
(c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

## (3) 高力ボルト接合

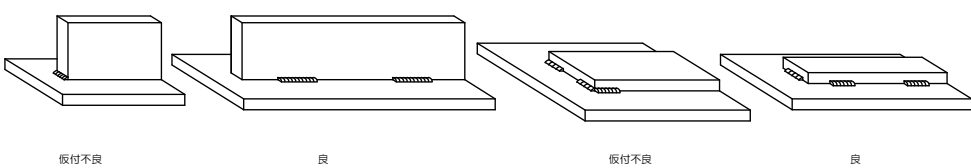
- (a) 本締めを使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

## (4) 溶接接合

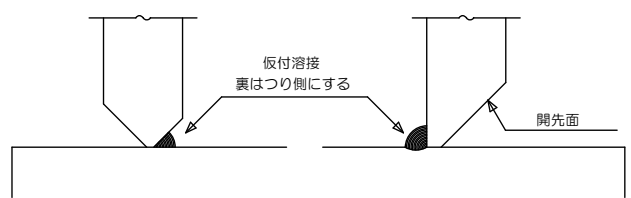
- (a) 溶接技能者  
溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器  
(イ) 交流アーク溶接機 300A ~ 500A  
(ロ) アークエアークワジング機 (直流)  
(ハ) サブマージアーク溶接機 1式
- (c) 溶接方法  
アーク手溶接 (MC)  
セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC)  
ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)  
アークエアークワジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢  
下母 F  
立母 V  
横母 H  
上母 O
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う  
(イ) 仮付位置  
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり難い箇所は避ける



- (f) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う  
(イ) 仮付位置  
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり難い箇所は避ける

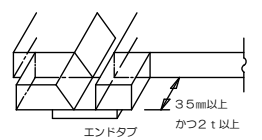


- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



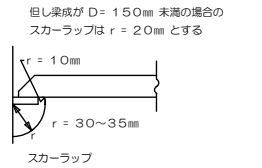
## (イ) エンドタブ

- I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両側部材と母材と同等で同開先形状のエンドタブを取り付ける  
II) エンドタブの材質は、母材と同等とする  
III) エンドタブの長さは、MC : 35mm以上  
NGC, GC : 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度短し切断して、グラインダー仕上げとする  
IV) プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る



## (ロ) 裏あて金

- 材質は母材と同等材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする  
(ハ) スカーラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルアールとする  
(ニ) 裏はつり  
標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を助行し、部材に確認マークをつける  
(ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう



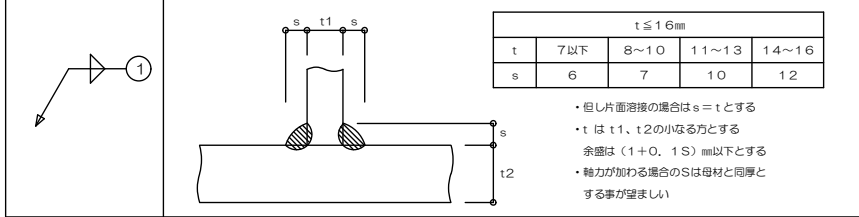
## (5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装しない

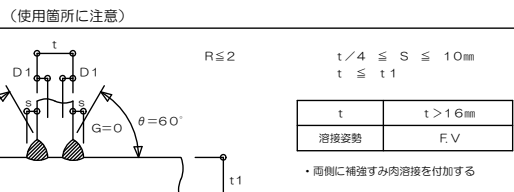
## 2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 鋼長 (単位: mm)

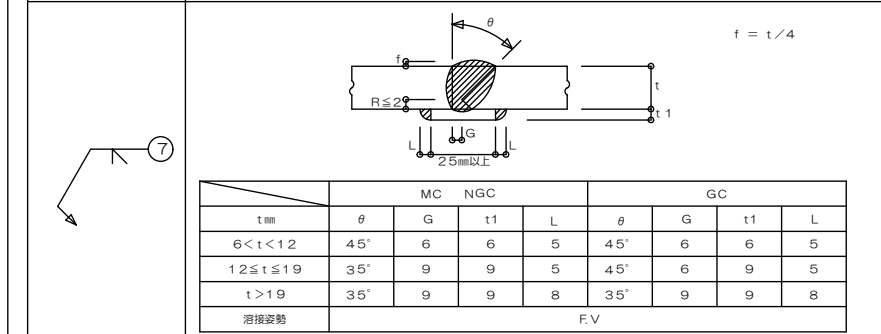
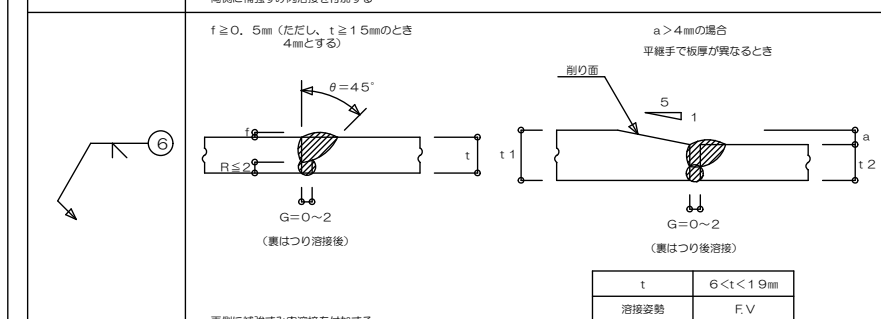
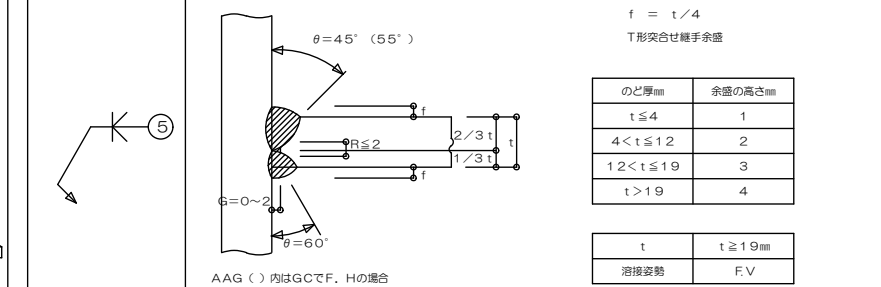
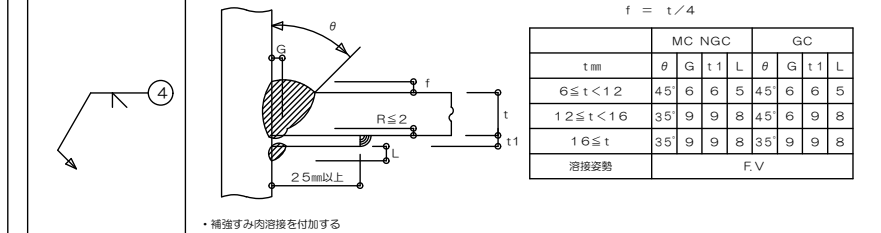
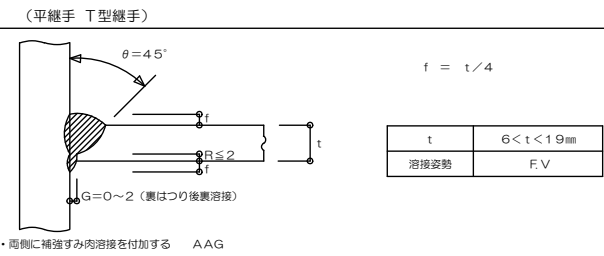
## (1) スミ肉溶接



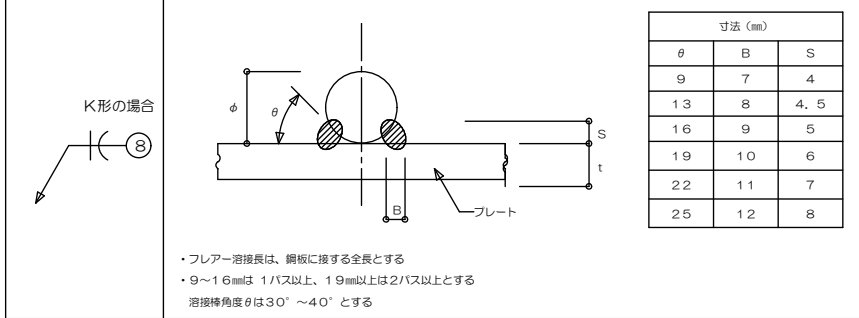
## (2) 部分溶け込み溶接



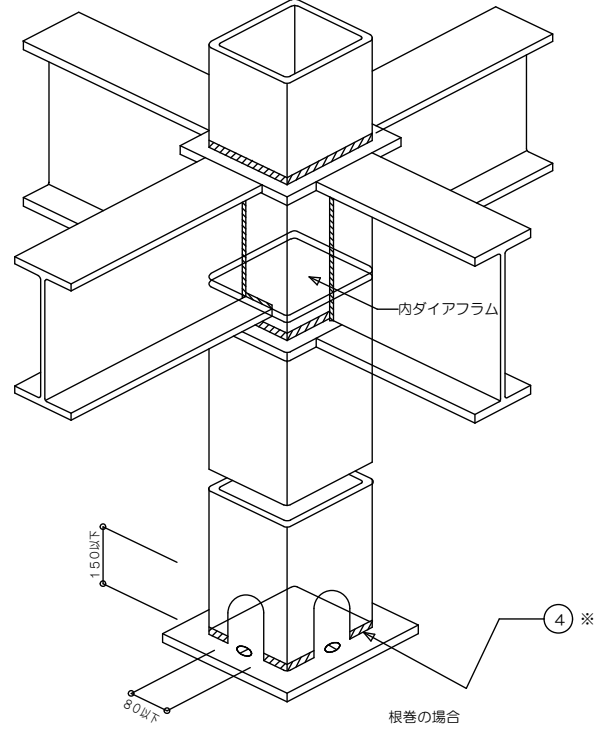
## (3) 突合せ溶接



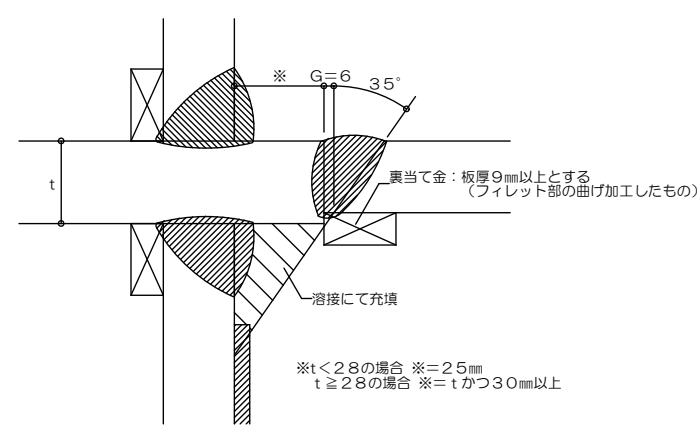
## (4) フレアー溶接



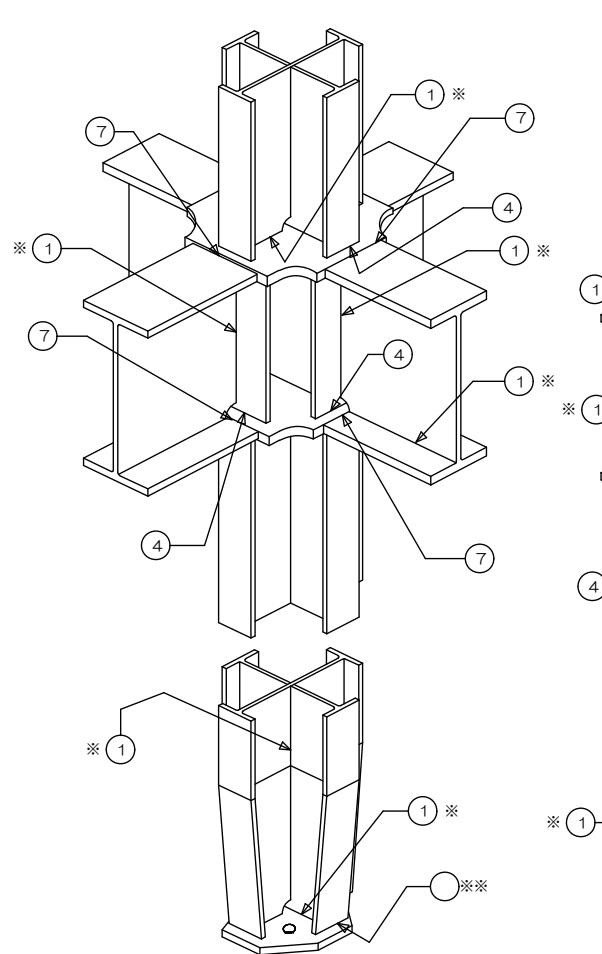
●溶接記号番号を○の中に記入のこと  
●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



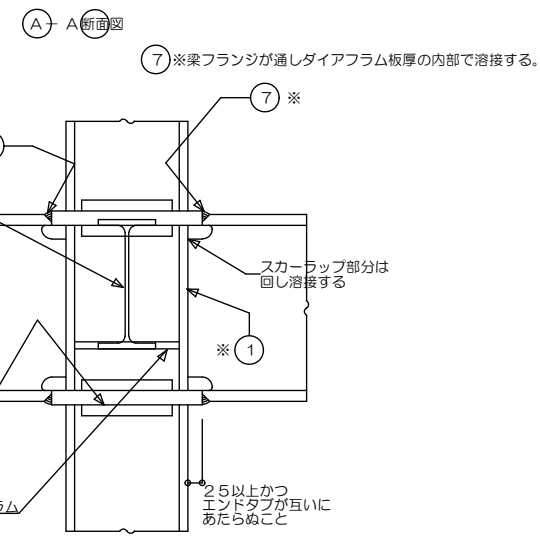
## ●ノンスカーラップ工法



## ●I、H、H型

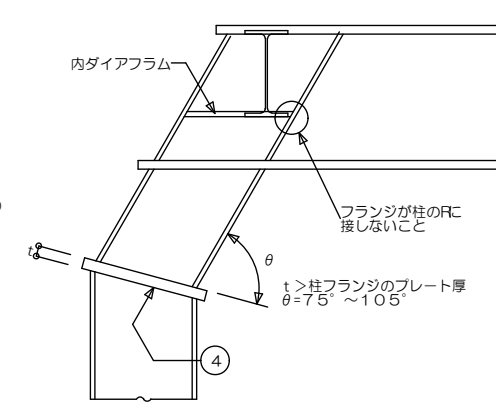


- ① ※ t > 1.6mm 場合の溶接は③又は⑤とする  
② ※ 印は設計者が記入すること

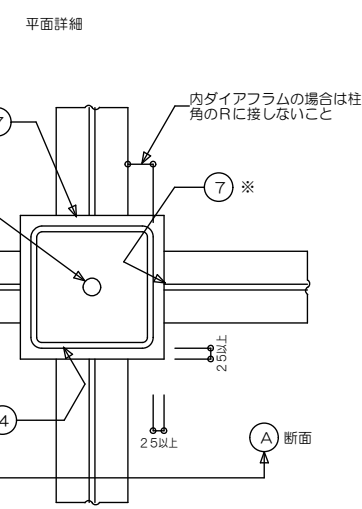
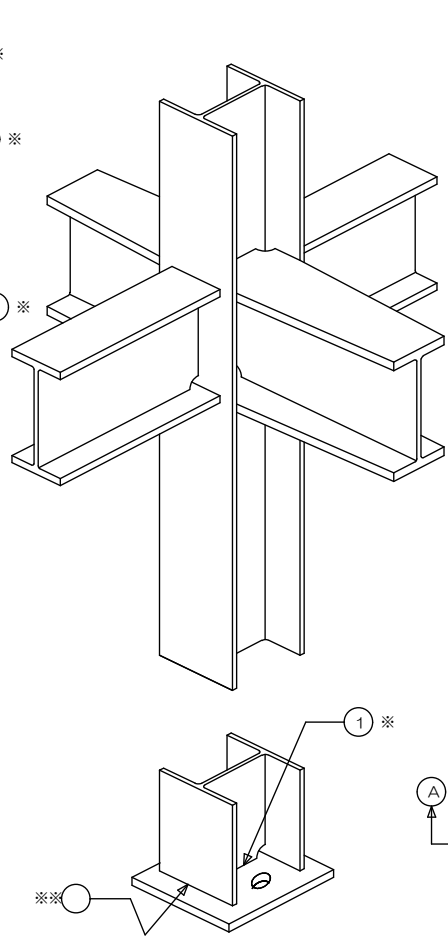


| 鋼材の種類  | 溶接材料                                 | 入熱 (KJ/cm) | バス温度差 (℃) |
|--------|--------------------------------------|------------|-----------|
| 400N級鋼 | JIS Z 3211, 3212, 3214<br>YCW-11, 15 | 40以下       | 350以下     |
|        | YGA-18, 19                           |            |           |
|        | YGA-50W, 50P                         |            |           |
| 490N級鋼 | JIS Z 3212, 3214<br>YCW-11, 15       | 40以下       | 350以下     |
|        | YGA-18, 19                           |            |           |
|        | YGA-50W, 50P                         |            |           |

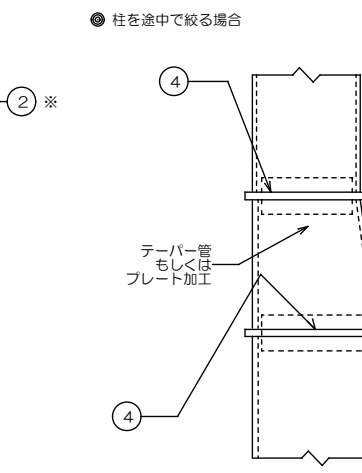
●柱が途中で折れる場合  
及び梁が折れる場合



## ●B. H方式



<柱材料: BCR295, BCP325を使用する場合>  
通しダイヤフラムは、SN490B・C、SM490同等以上の鋼材を使用すること  
通しダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップ以上とする



① ※ t > 1.6mm 場合の溶接は③又は⑤とする

■: NOTE

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事  
Drawing Title 鉄骨構造標準図 (1)  
設計担当 多湖 弘樹  
一級建築士 第382361号

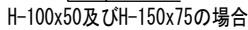
DATE 2023  
SCALE A2:N・S A3:N・S  
S-04

※修正箇所は下線を引くこと

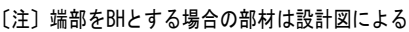
(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

【注】 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離  
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離  
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

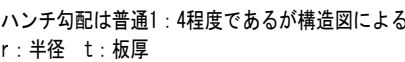
< TYPE-1 >



(3) 剛接合梁継手リスト (SCSS-H97による)

別紙参照

## フランジ及ウェブ厚の差のある場合



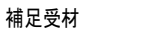
注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

別紙参照

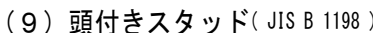
(a) 羽子板ボルト

〔注〕 (1) e1, e2が確保されてれば形状は自由でよい  
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



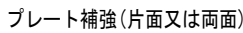
注) 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



### スタッド材の標準形状・寸法

(10) 梁貫通補強

- ・計算で確認された場合は下図の位置、寸法及び補強方法によらずに良い
- ・梁端部（内法スパン  $l_n$  の1/10以内かつ、2D以内）は避ける
- ・ $\phi \leq 0.4D$
- ・ $\phi'$  は補強板の穴径を示す



プレート補強の板厚

## リブプレート補強

一級建築士 第332033号  
構造設計一級建築士 第8984号 井上 貴智

■ : NOTE

N I S S H I N  
S E K K E I

日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

Job Title

津市立育生小学校長寿命化改修工事

Drawing Title

### 鉄骨構造標準図 (2)

多湖 弘樹

一級建築士 第382361号

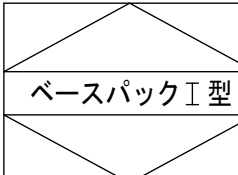
DATE \_\_\_\_\_

2023

|      |
|------|
| CALE |
|------|

A2:N · S      A3:N · S

S - 0 5



## 角形鋼管

F値295N/mm<sup>2</sup>以下<sup>2</sup>  
□-150×150 ~ □-300×300 用

(財)日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-17」(平成30年9月21日付)

# ベースパック柱脚工法設計標準図

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社

TEL03 (3624) 5336

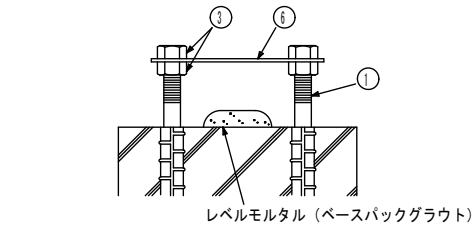
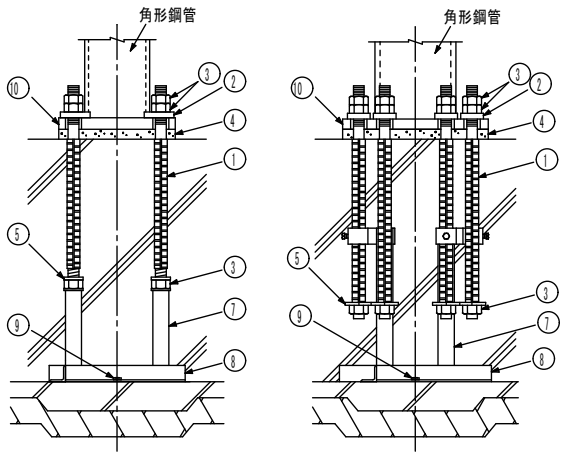
旭化成建材株式会社

TEL03 (3296) 3515

2019年1月作成

## 1. 工法概要

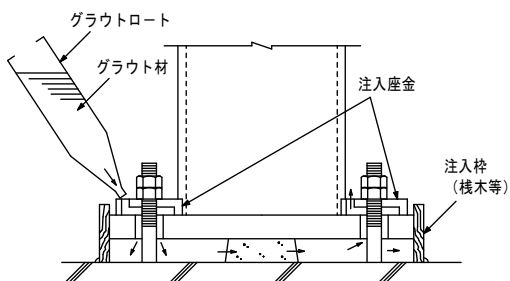
### 1. 1 構成部材



- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ ベースパックグラウト(グラウト材)
- ⑤ 定着座金
- ⑥ フレームプレート
- ⑦ フレームポスト
- ⑧ フレームベース
- ⑨ ステコンアンカー(コンクリートアンカー)
- ⑩ ベースプレート

(注)上記 ①②③構成部材はベースパック構成部品として供給される。  
(注)上記 ④⑤⑥現場状況により仕様異なる場合がある。

### 1. 2 柱脚の定着方法概要



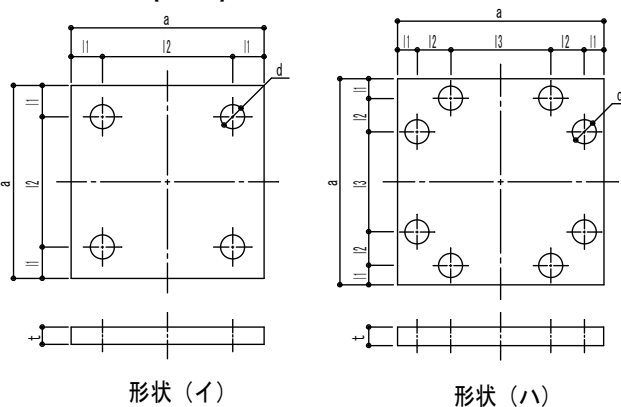
## 2. 柱

| F値(N/mm <sup>2</sup> ) | 2 | 鋼種                | 採用 |
|------------------------|---|-------------------|----|
| 235                    |   | BCP235<br>STKR400 |    |
| 295                    |   | BCR295<br>TSC295  | ○  |

## 3. 構成部材・寸法

### 3. 1 ベースプレート

●材質  
SN490B



### 3. 3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

| 呼び  | A  | B  | (a) |
|-----|----|----|-----|
| M27 | 22 | 41 | 47  |
| M30 | 24 | 46 | 53  |
| M33 | 26 | 50 | 58  |
| M36 | 29 | 55 | 64  |
| M39 | 31 | 60 | 69  |

### 3. 4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

| 適用<br>アンカーボルト | 呼び | g1 | t  | d | 材質    |
|---------------|----|----|----|---|-------|
| M27           | 55 | 9  | 28 |   |       |
| M30           | 55 | 9  | 31 |   |       |
| M33           | 60 | 9  | 34 |   | SS400 |
| M36           | 65 | 12 | 37 |   |       |
| M39           | 80 | 12 | 40 |   |       |

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

| 適用<br>アンカーボルト | 呼び | g1  | g2 | t  | d | 材質    |
|---------------|----|-----|----|----|---|-------|
| M30           | 55 | 168 | 9  | 32 |   |       |
| M33           | 60 | 173 | 9  | 35 |   | SS400 |
| M36           | 65 | 178 | 9  | 38 |   |       |

### 3. 5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

| 記号   | 適用<br>アンカーボルト | a1 | a2 | c   | t  | d  |
|------|---------------|----|----|-----|----|----|
| PM27 | M27           | 32 | 42 | 101 | 18 | 38 |
| PM30 | M30           | 32 | 42 | 101 | 18 | 31 |
| PM33 | M33           | 35 | 45 | 110 | 18 | 34 |
| PM36 | M36           | 35 | 45 | 110 | 18 | 37 |
| PM39 | M39           | 38 | 48 | 118 | 18 | 40 |

### 3. 2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

| 呼び  | 異形部<br>呼び名 | L        | X  | b       | 基準強度<br>(N/mm <sup>2</sup> ) |
|-----|------------|----------|----|---------|------------------------------|
| M27 | D29        | 650      | 45 | 128     | 490                          |
| M30 | D32        | 695      | 45 | 133     | 490                          |
| M33 | D35        | 690, 735 | 45 | 95, 140 | 490                          |
| M36 | D38        | 770      | 60 | 130     | 490                          |
| M39 | D41        | 770, 810 | 60 | 98, 135 | 490                          |

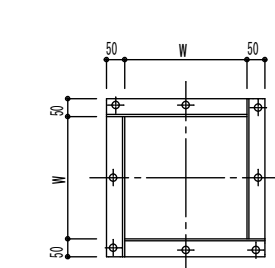
注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

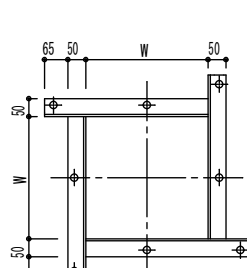
| 呼び  | 異形部<br>呼び名 | L   | X  | 基準強度<br>(N/mm <sup>2</sup> ) |
|-----|------------|-----|----|------------------------------|
| M30 | D32        | 695 | 45 | 490                          |
| M33 | D35        | 720 | 45 | 490                          |
| M36 | D38        | 770 | 60 | 490                          |

### 3. 6 フレームベース

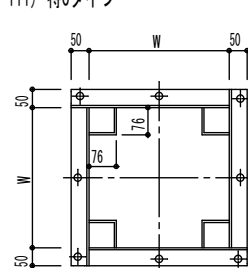
i) Aタイプ



ii) Cタイプ



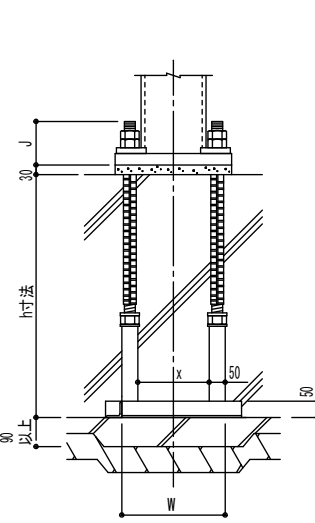
iii) 特Cタイプ



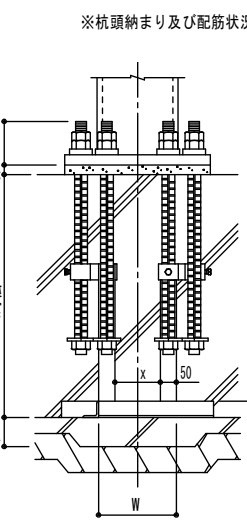
### 3. 7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型  
天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

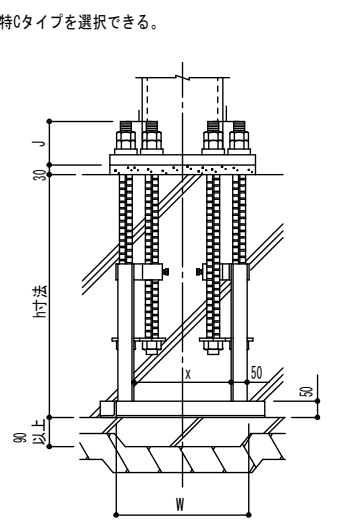
< Aタイプ >



< Cタイプ > ※



< 特Cタイプ >

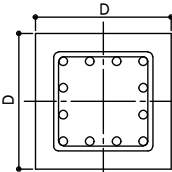


## 4. コンクリート柱型

### 4. 1 形状・材質

●形状

柱型寸法を標準から変更する場合は、  
別紙「ベースパック柱脚工法における  
柱型寸法最大・最小値一覧」による。



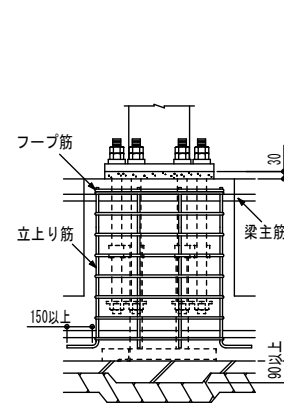
●コンクリート

普通コンクリートとし、設計基準強度  
は21N/mm<sup>2</sup> 以上とする。

●鉄筋

SD295(D13, D16)  
SD345(D19, D22)

### 4. 2 配筋



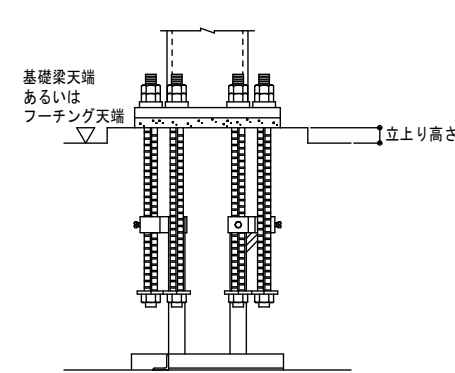
※立上り筋の頂部にはフックを設け  
なくてよい。

※トップフープはダブルとし、  
柱型上端近くに配置する。

### 4. 3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。

※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。



## 5. 工場製作 (溶接)

■組立

●ベースプレートの中心線(「ヶ」線)に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

| 図 | 溶接<br>方法                                   | 適用板厚<br>T(mm) | ルート間隔(6mm) |                  | ルート間隔(6mm) |                  | 開先角度α(°) |                    | 溶接<br>姿勢 |
|---|--------------------------------------------|---------------|------------|------------------|------------|------------------|----------|--------------------|----------|
|   |                                            |               | 標準値        | 許容差              | 標準値        | 許容差              | 標準値      | 許容差                |          |
|   | 被覆<br>アーク<br>溶接<br>ガス<br>シールド<br>アーク<br>溶接 | 6~            | 7          | -2,+0<br>(-3,+0) | 2          | -2,+1<br>(-2,+2) | α1: 45   | -2.5,+0<br>(-5,+0) | 下向き      |
|   |                                            |               | 9          | -2,+0<br>(-3,+0) | 2          | -2,+1<br>(-2,+2) | α1: 35   |                    |          |
|   |                                            | 6~            | 6          | -2,+0<br>(-3,+0) | 2          | -2,+1<br>(-2,+2) | α1: 45   | -2.5,+0<br>(-5,+0) | 下向き      |
|   |                                            |               | 7          | -2,+0<br>(-3,+0) | 2          | -2,+1<br>(-2,+2) | α1: 35   |                    |          |

許容差・記号+・-は制限無しを示す。  
・2段階書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差(上段:管理許容差、下段括弧内:限界許容差)を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示  
す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

| 溶接方法          | 鋼種     | 板厚(mm) |         |         |
|---------------|--------|--------|---------|---------|
|               |        | t<32   | 32≤t<40 | 40≤t≤50 |
| 低圧素系被覆アーク溶接   | SN490B | 予熱なし   | 50℃     | 50℃     |
| ② ガスシールドアーク溶接 | SN490B | 予熱なし   | 予熱なし    | 予熱なし    |

■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

## 6. 工事場施工

### 6. 1 基礎工事

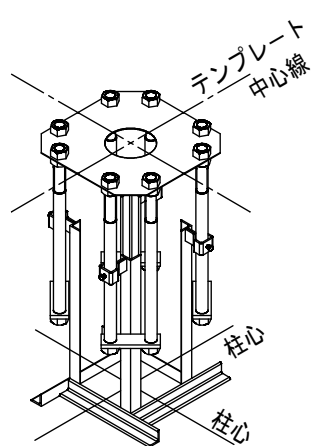
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

### 6. 2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立て  
を行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより  
行い、標準許容差は下図による。



| 図 | 柱心 | テンプレート<br>中心線 | けがき線 | アンカーボルト | e1 | 標準許容差   |                      |
|---|----|---------------|------|---------|----|---------|----------------------|
|   |    |               |      |         |    | -2≤e1≤2 | 基準高さより誤差は<br>-3≤e≤10 |

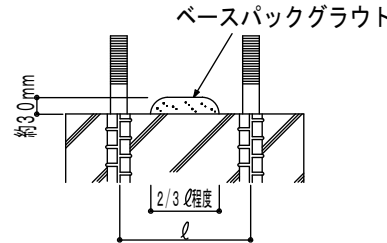
### 6. 3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

### 6. 4 建方

●レベルモルタルはベースパック  
グラウト(グラウト材)を使用し  
大きさは右図による。



### 6. 5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

### 6. 6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで  
1.0~1.1 ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の  
自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

## 7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち 6. 2 アンカーボルト据付け及び 6. 6 ベースパックグラウトの  
注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベース  
パック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等によ  
り施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理  
技術者等による。

■: NOTE

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

Job Title

津市立育生小学校長寿命化改修工事

Drawing Title

ベースパック柱脚工法標準図

設計担当

多湖 弘樹

一級建築士 第382361号

DATE

2023

SCALE

A2: N・S A3: N・S

S-06



外壁・間仕切壁《縦壁ロッキング構法》

設計  
施工 標準図

I ALCパネル仕様

1 ALCパネル仕様

JIS A 5416 軽量気泡コンクリートパネル（ALCパネル）に適合するもの

2 ALCパネル使用部位およびパネル厚

|          |                                          |      |                               |
|----------|------------------------------------------|------|-------------------------------|
| 外壁 平パネル  | <input type="checkbox"/> 100厚            | 間仕切壁 | <input type="checkbox"/> 75厚  |
|          | <input checked="" type="checkbox"/> 120厚 |      | <input type="checkbox"/> 100厚 |
|          | <input type="checkbox"/> 150厚            |      | <input type="checkbox"/> 125厚 |
| 外壁 意匠パネル | <input type="checkbox"/> 100厚            |      | <input type="checkbox"/> 150厚 |
|          | <input type="checkbox"/> 125厚            |      |                               |
|          | <input type="checkbox"/> 150厚            |      |                               |

3 ALC外壁仕様

(1) パネル取付け構法

|      |                                               |                |
|------|-----------------------------------------------|----------------|
| 縦壁構法 | <input checked="" type="checkbox"/> 縦壁ロッキング構法 | 縦壁H D R構法（一般用） |
|      | <input type="checkbox"/> その他                  |                |

(2) 設計風圧力

|   |   |   |   |          |          |                      |
|---|---|---|---|----------|----------|----------------------|
| 階 | ～ | 3 | 階 | 正 1385.3 | 負 1385.3 | [ N/m <sup>2</sup> ] |
| 階 | ～ | 2 | 階 | 正 1253.7 | 負 1253.7 | [ N/m <sup>2</sup> ] |
| 階 | ～ | 1 | 階 | 正 1118.6 | 負 1118.6 | [ N/m <sup>2</sup> ] |
| 階 | ～ |   | 階 | 正        | 負        | [ N/m <sup>2</sup> ] |

(3) パネル特殊仕様

|                                    |                                        |                 |
|------------------------------------|----------------------------------------|-----------------|
| 特記: <input type="checkbox"/> 意匠パネル | <input type="checkbox"/> デザインパネル       | (表面に凹凸デザイン模様)   |
|                                    | (特記: <input type="checkbox"/> ジーファスパネル | (岩肌調デザイン模様)     |
| <input type="checkbox"/> Canvasパネル | <input type="checkbox"/> スタンダード        | (表面にプラスト模様)     |
|                                    | <input type="checkbox"/> オリジナル         | (番号)            |
| <input type="checkbox"/> 下地処理済みパネル | <input type="checkbox"/> S Pパネル        | (表面にフィラー下地処理済み) |
| <input type="checkbox"/> S Iパネル    | <input type="checkbox"/> その他           | (吸水性を抑えたパネル)    |
| <input type="checkbox"/> その他       |                                        | ( )             |

4 ALC間仕切壁仕様

(1) パネル取付け構法

|      |                                    |                |
|------|------------------------------------|----------------|
| 縦壁構法 | <input type="checkbox"/> 縦壁ロッキング構法 | 縦壁H D R構法（一般用） |
|      | <input type="checkbox"/> その他       |                |

(2) パネル特殊仕様

(特記: )

II 関連資材仕様

1 シーリング材（ALCパネル間）

※モジュラスの低いもの（経年時の50%引張応力の値が0.3N/mm<sup>2</sup>以下）を選定（JIS A 5758 に基づく耐久性区分）

(1) 種類

|                  |                                                |
|------------------|------------------------------------------------|
| ポリウレタン系          | <input checked="" type="checkbox"/> 耐久性区分 8020 |
|                  | <input type="checkbox"/> 耐久性区分 9030            |
| 変成シリコン系          | <input type="checkbox"/> 耐久性区分 8020            |
|                  | <input type="checkbox"/> 耐久性区分 9030            |
| アクリル系（エマルジョンタイプ） | 耐久性区分 7020                                     |
| その他              | ( ) 耐久性区分 ( )                                  |

(2) その他特記事項

(品名: )

2 耐火目地材

ロックウール保温板 (JIS A 9504) または  
高温断熱ウール A E S ブランケット (JIS R 3311) 品質同等

3 防錆塗料（ALC下地鋼材、開口部補強鋼材塗装用）

特記による ( )

III 内外装仕様

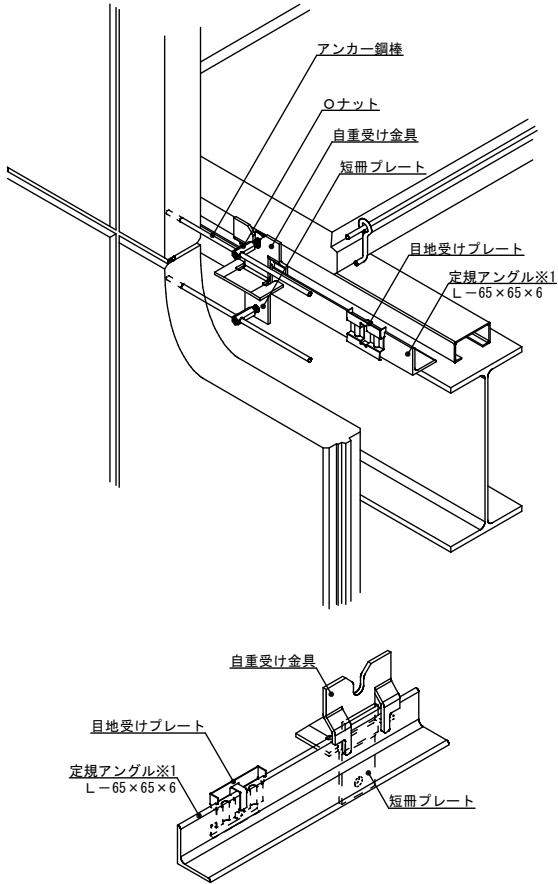
1 外装仕上げ

|                                                   |                                                         |  |
|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 吹付け仕上げ (特記: ) | <input checked="" type="checkbox"/> 複層仕上塗材 (JIS A 6909) |  |
|                                                   | <input checked="" type="checkbox"/> 複層塗材 E (アクリルタイル)    |  |
| <input type="checkbox"/> 薄付け仕上塗材 (JIS A 6909)     | <input type="checkbox"/> 複層塗材 C E (セメント系吹付タイル)          |  |
|                                                   | <input type="checkbox"/> 複層塗材 S i (シリカタイル)              |  |
| <input type="checkbox"/> 厚付け仕上塗材 (JIS A 6909)     | <input type="checkbox"/> 外装薄塗材 E (樹脂リシン)                |  |
|                                                   | <input type="checkbox"/> 外装薄塗材 S i (シリカスタッコ)            |  |
| <input type="checkbox"/> 張り仕上げ                    | <input type="checkbox"/> タイル張り (特記: )                   |  |
|                                                   | <input type="checkbox"/> 金属パネル張り (特記: )                 |  |
| <input type="checkbox"/> その他                      | <input type="checkbox"/> ボード張り (特記: )                   |  |
|                                                   | <input type="checkbox"/> その他 (特記: )                     |  |

2 内装仕上げ

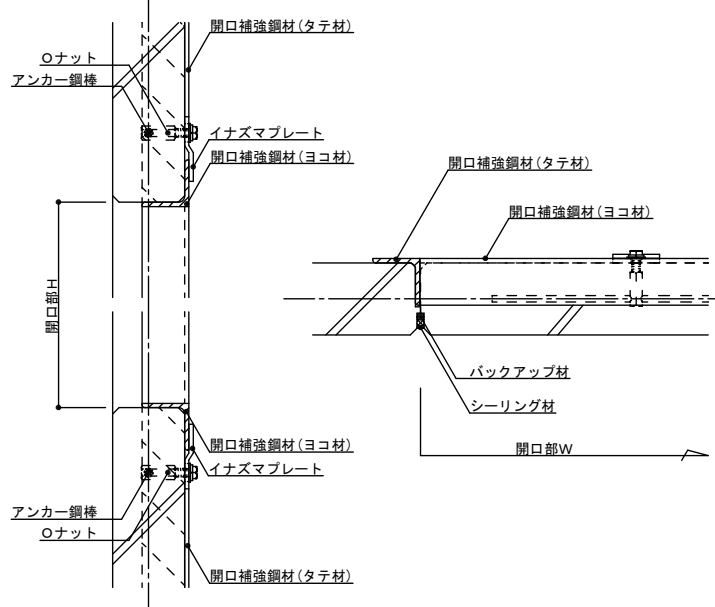
|                                            |                                                 |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ボード仕上げ | <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁工法 (特記: ) |
| <input type="checkbox"/> ペイント仕上げ (特記: )    |                                                 |
| <input type="checkbox"/> 吹付け仕上げ (特記: )     |                                                 |
| <input type="checkbox"/> タイル張り (特記: )      |                                                 |
| <input type="checkbox"/> その他 (特記: )        |                                                 |

1. 構法概要（縦壁H D R構法（一般用））

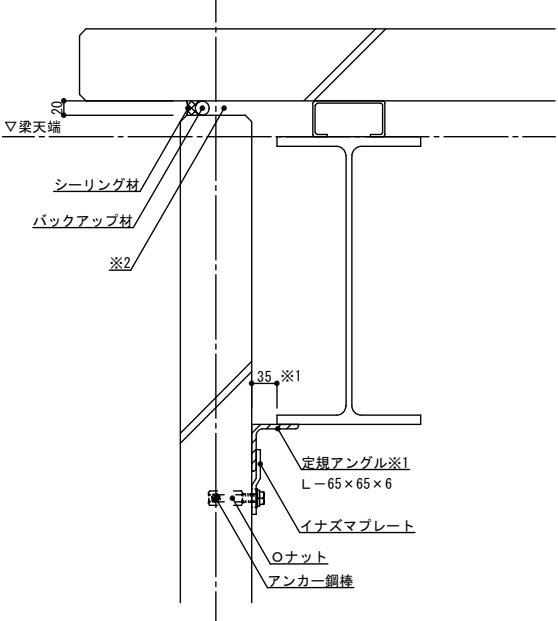


3. 開口部

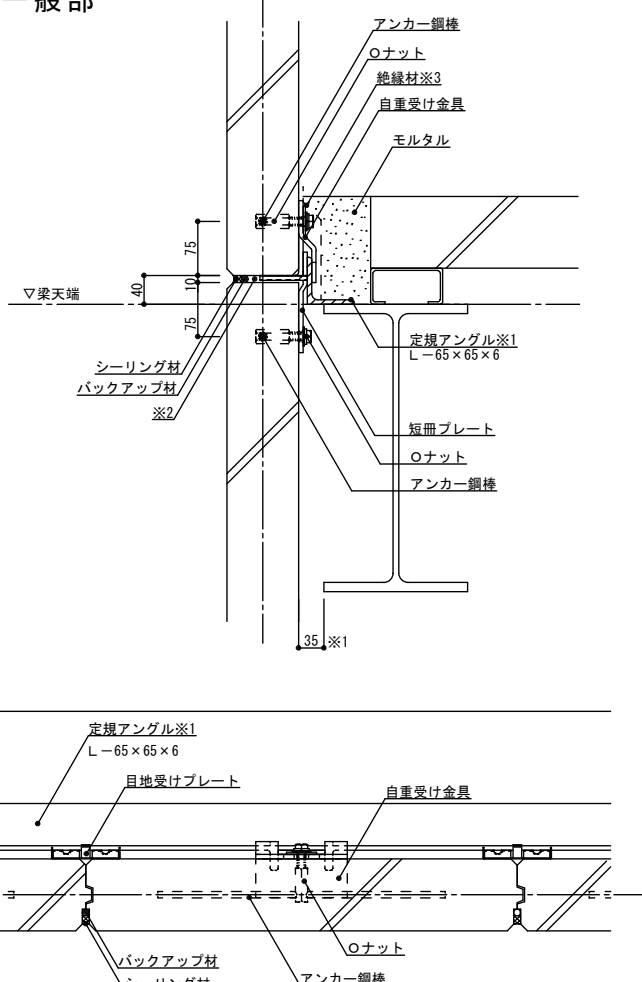
(1) Oナットを使用する場合



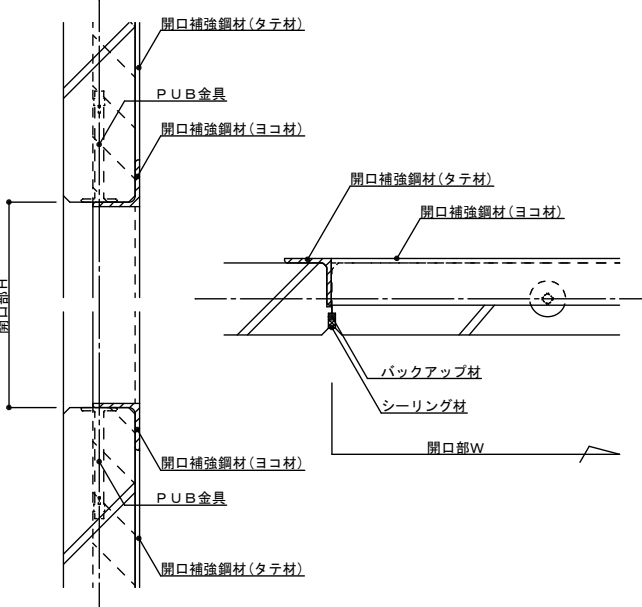
4. 軒先部



2. 一般部

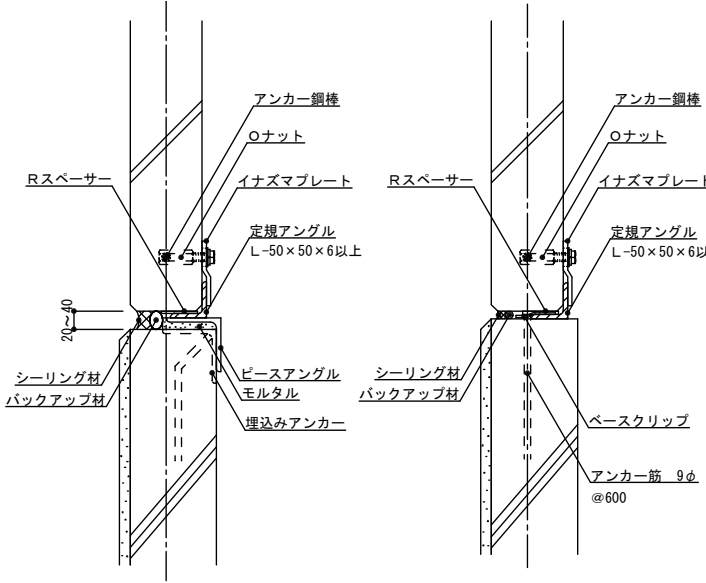


(2) P U B 金具を使用する場合

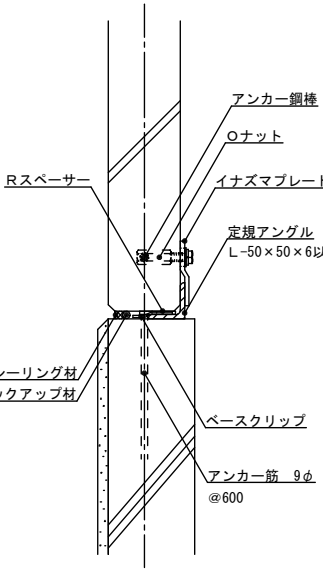


5. 布基礎部

(1) 埋込みアンカー仕様

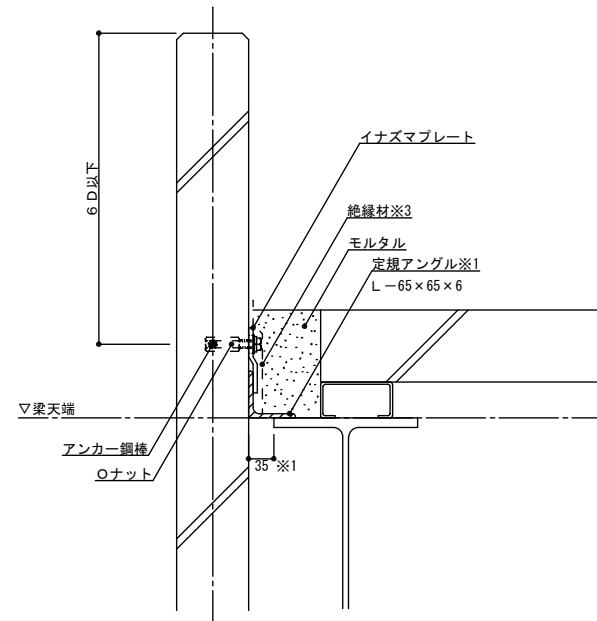


(2) ベースクリップ仕様

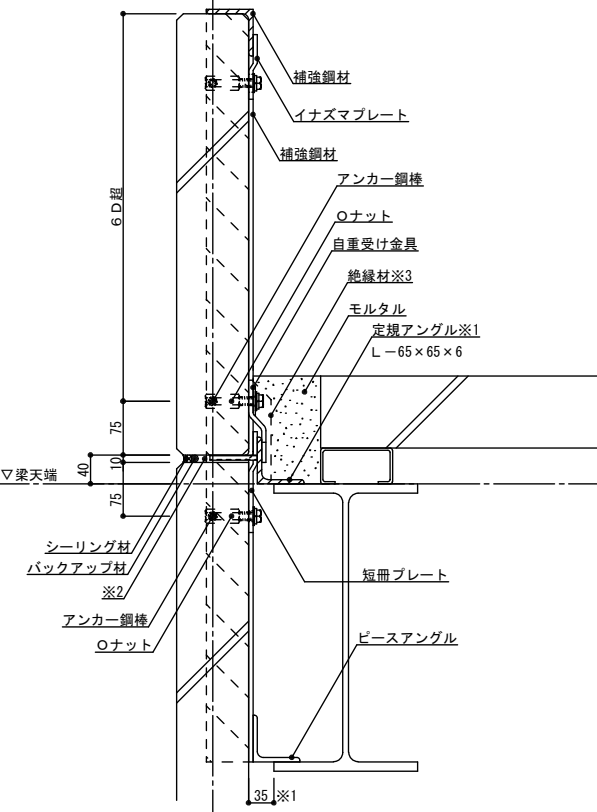


6. パラペット部

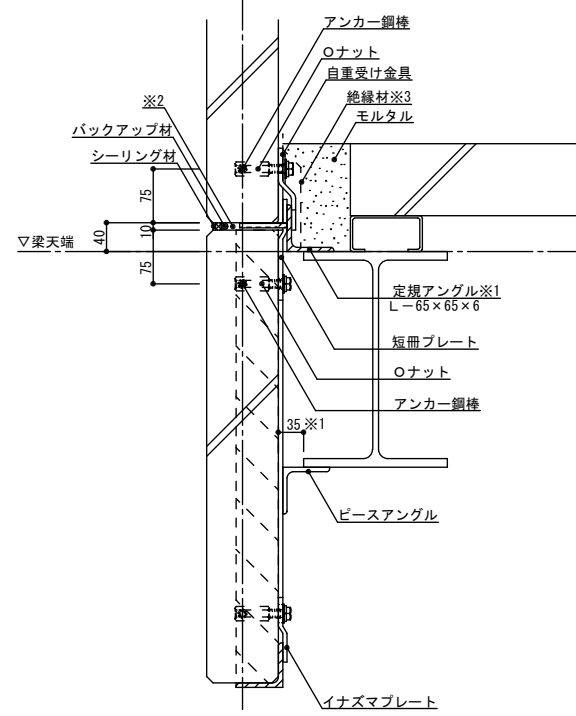
(1) はね出し寸法 6 D 以下 D : パネル有効厚



(2) はね出し寸法 6 D 超



7. 下がり壁部



※1 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする。  
※2 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。  
※3 絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。

一級建築士 第332033号  
構造設計一級建築士 第8984号 井上 貴智

〔原図A2〕

■ : NOTE

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事  
Drawing Title ALC標準図  
設計担当 多湖 弘樹  
一級建築士 第382361号

DATE 2023  
SCALE A2:N・S A3:N・S  
S-08

ボーリング柱状図

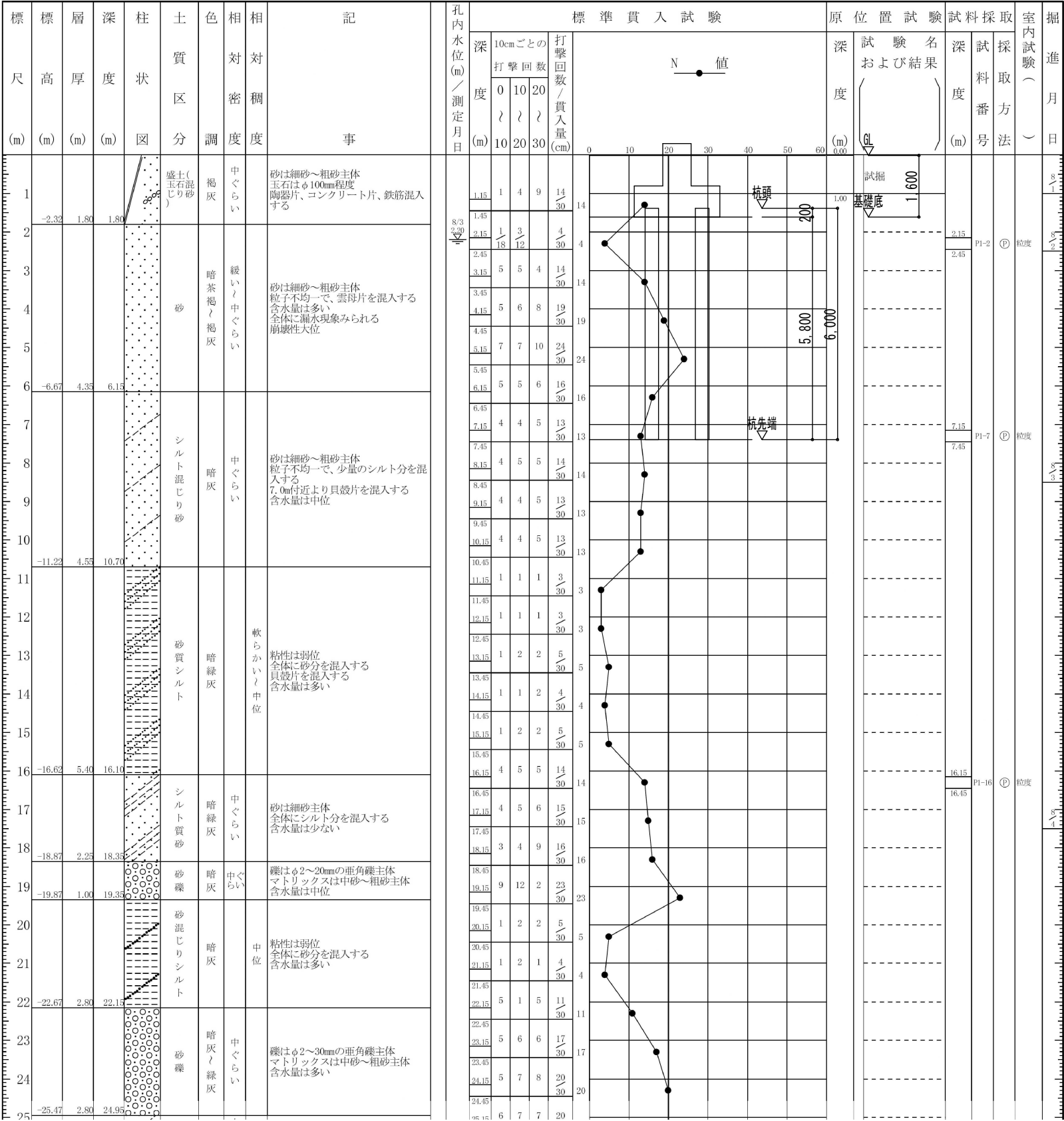
調 査 名 津市立育生小学校改修工事に係る地質調査業務委託

|         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| ボーリングNo | D | 2 | 2 | - | 0 | 8 | - | 0 | 1 |  |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|

事業・工事名

シートNo

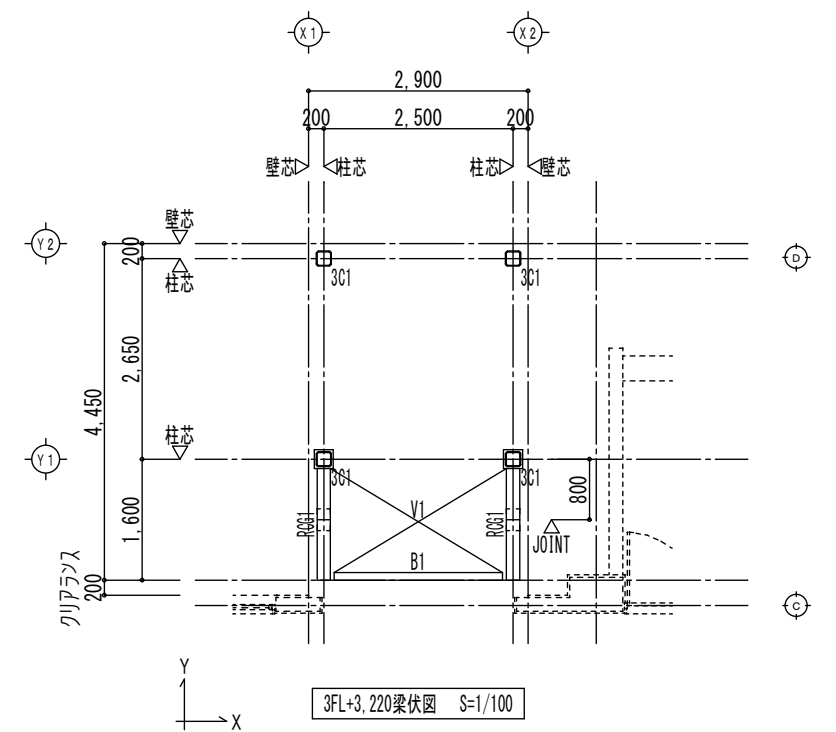
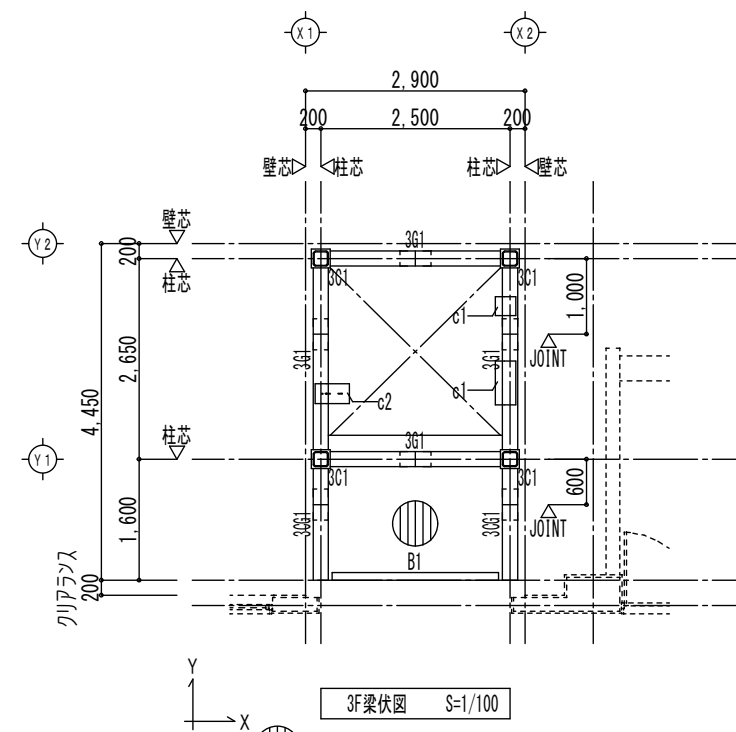
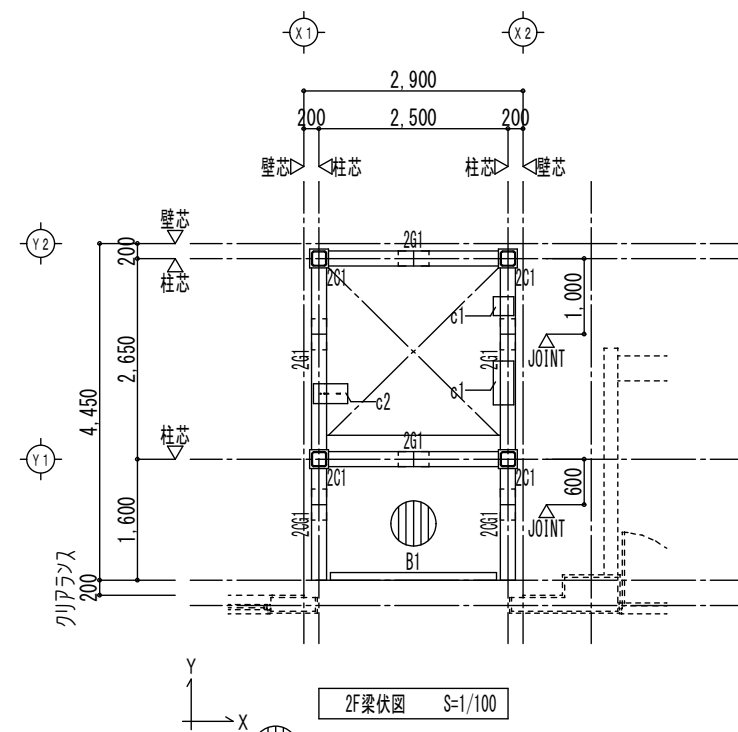
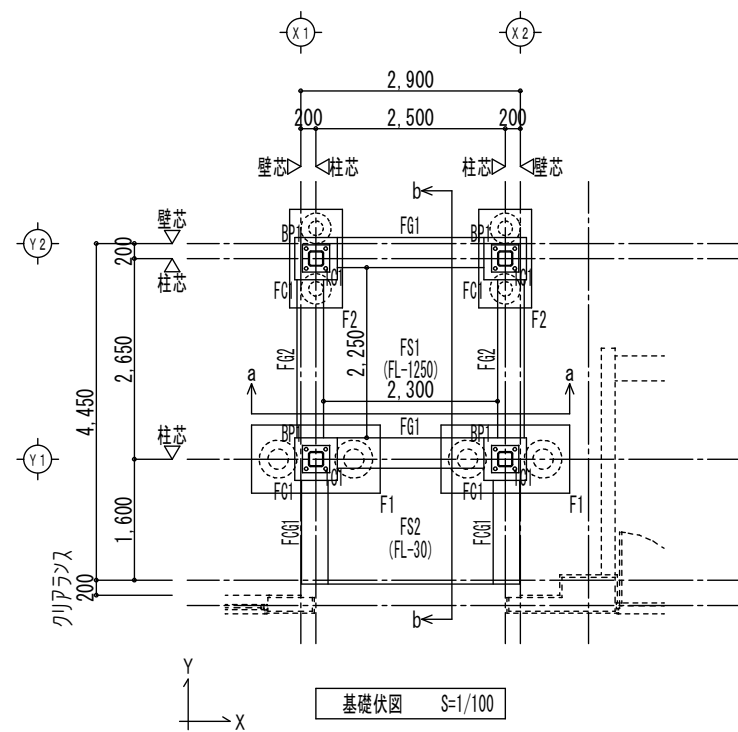
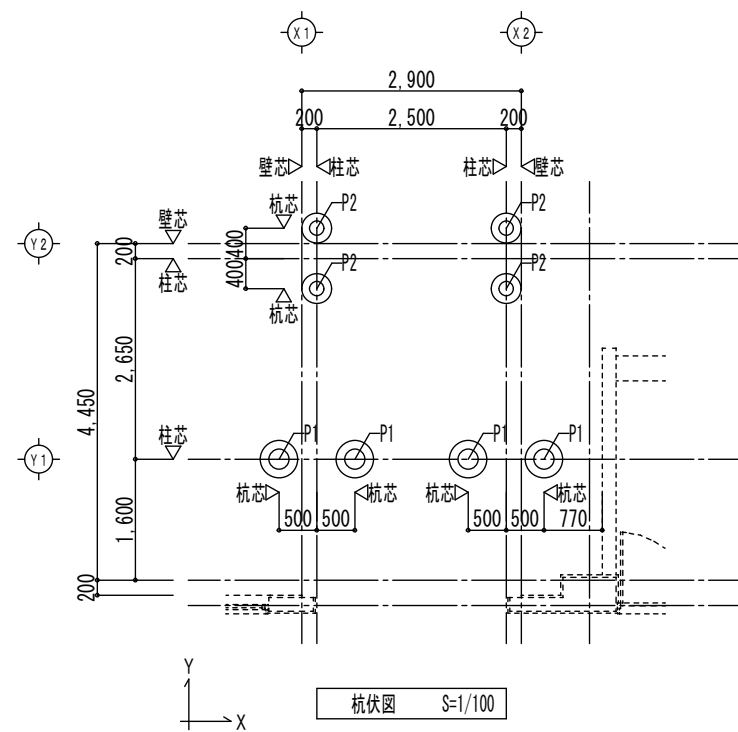
|           |                                       |   |      |                 |                              |           |                        |         |                |        |              |         |
|-----------|---------------------------------------|---|------|-----------------|------------------------------|-----------|------------------------|---------|----------------|--------|--------------|---------|
| ボーリング名    | No. 1                                 |   | 調査位置 | 三重県津市下弁財町津興1350 |                              |           |                        | 北 緯     | 34° 42' 16.5"  |        |              |         |
| 発 注 機 関   | 津市建設部営繕課                              |   |      | 調査期間            | 令和 5 年 8 月 1 日 ～ 5 年 8 月 8 日 |           |                        | 東 経     | 136° 30' 54.6" |        |              |         |
| 調 査 業 者 名 | 株式会社 三重新成コンサルタント<br>電話 (059-284-1081) |   | 主任技師 | 松井 敏            |                              | 現 場 代 理 人 | 松井 敏                   | コ 鑑 定 者 | 吉川浩司           | ボーリング者 | 新屋一弥         |         |
| 孔 口 標 高   | KBM<br>-0.52m                         | 角 |      |                 | 方 向                          |           |                        | 地 盤 勾 配 | 鉛直<br>90°      | 使用機種   |              |         |
| 総掘進長      | 36.45m                                |   | 度    | 下 0°            |                              | 向         | 北 0°<br>西 180° 東 90° 南 |         | 試錐機            | KR-100 | ハンマー<br>落下用具 | 半自動落下装置 |
|           |                                       |   |      |                 |                              | エンジン      | NFD-10                 |         | ポン プ           | V-6    |              |         |



一級建築士 第332033号  
構造設計一級建築士 第3984号 井上 貴智

[原図A2]

|          |                                                                      |                                            |  |  |  |                              |  |
|----------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--|--|--|------------------------------|--|
| ■ : NOTE | <div>NISSHIN<br/>SEKKEI<br/>目新設計株式会社</div> <div>三重県知事登録第1-518号</div> | <div>Job Title津市立育生小学校長寿命化改修工事</div>       |  |  |  | <div>DATE2023</div>          |  |
|          |                                                                      | <div>Drawing Titleボーリング柱状図</div>           |  |  |  | <div>SCALEA2:N・SA3:N・S</div> |  |
|          |                                                                      | 設 計 担 当                                    |  |  |  | S - 0 9                      |  |
|          |                                                                      | <div>多湖 弘樹</div> <div>一級建築士 第382361号</div> |  |  |  |                              |  |



デッキプレート方向を示す

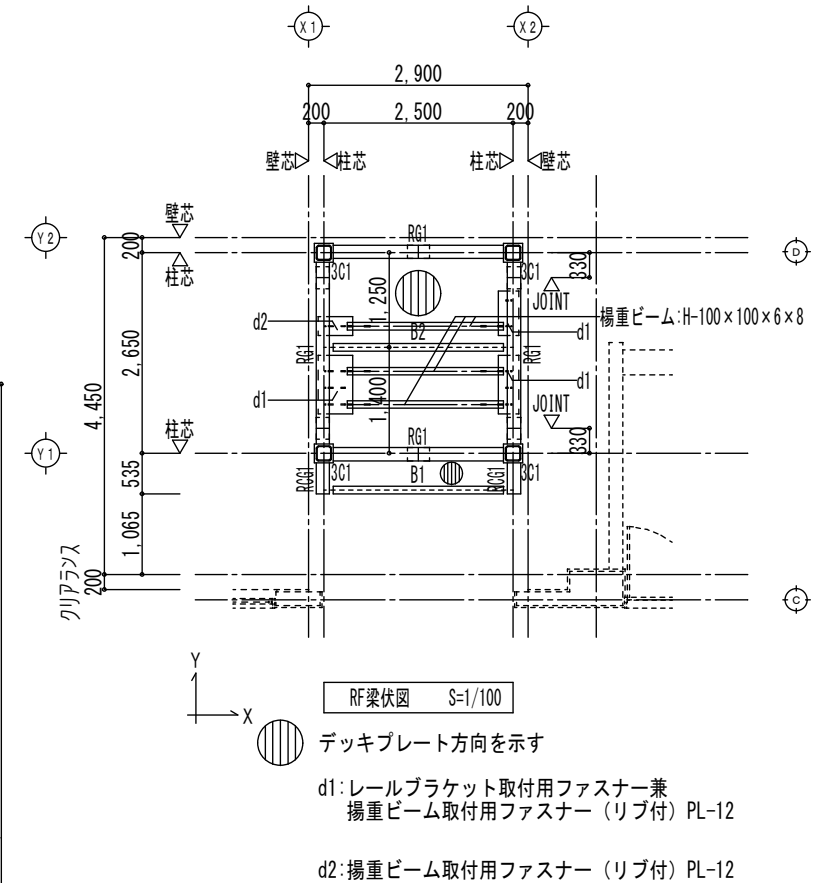
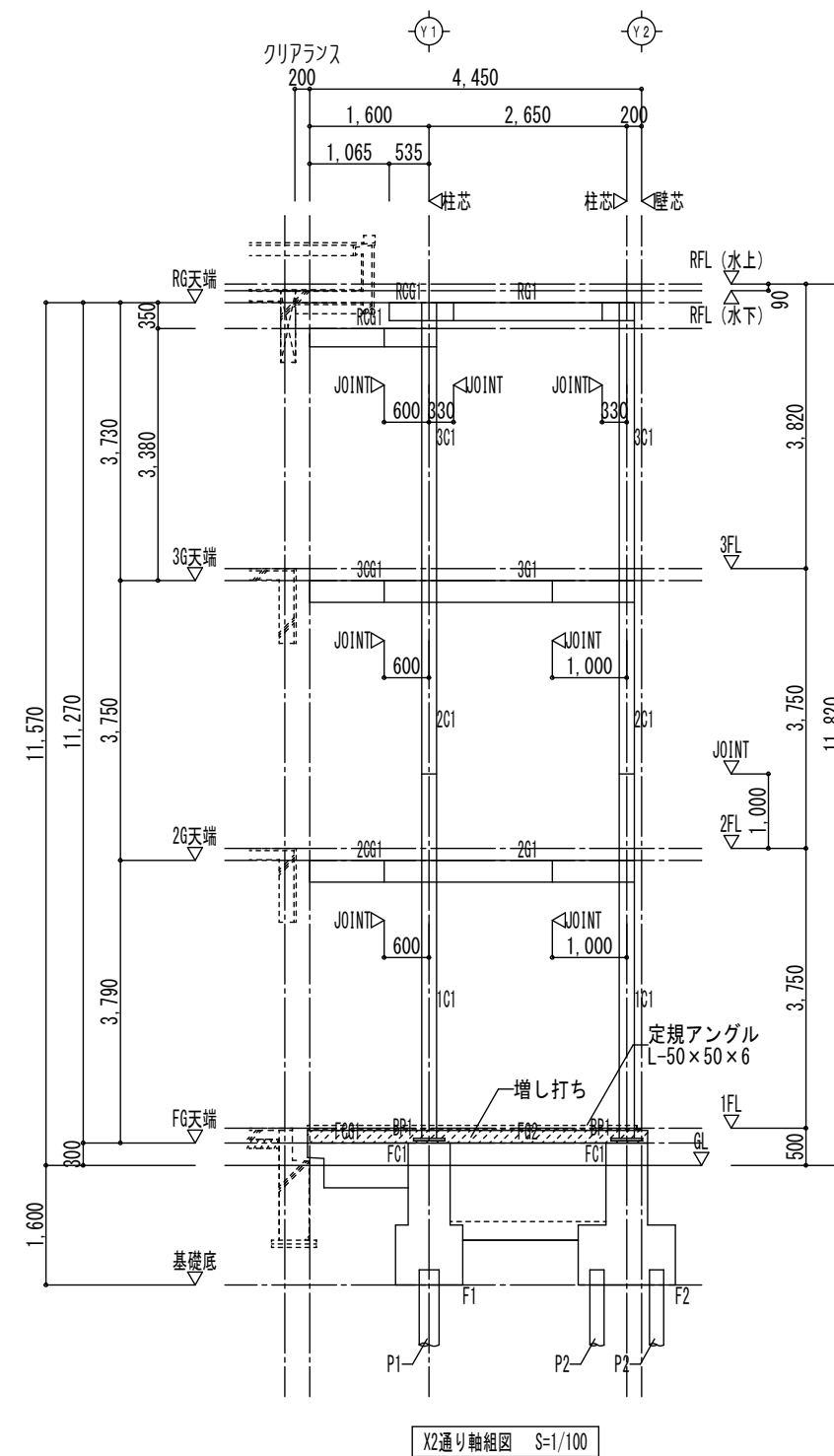
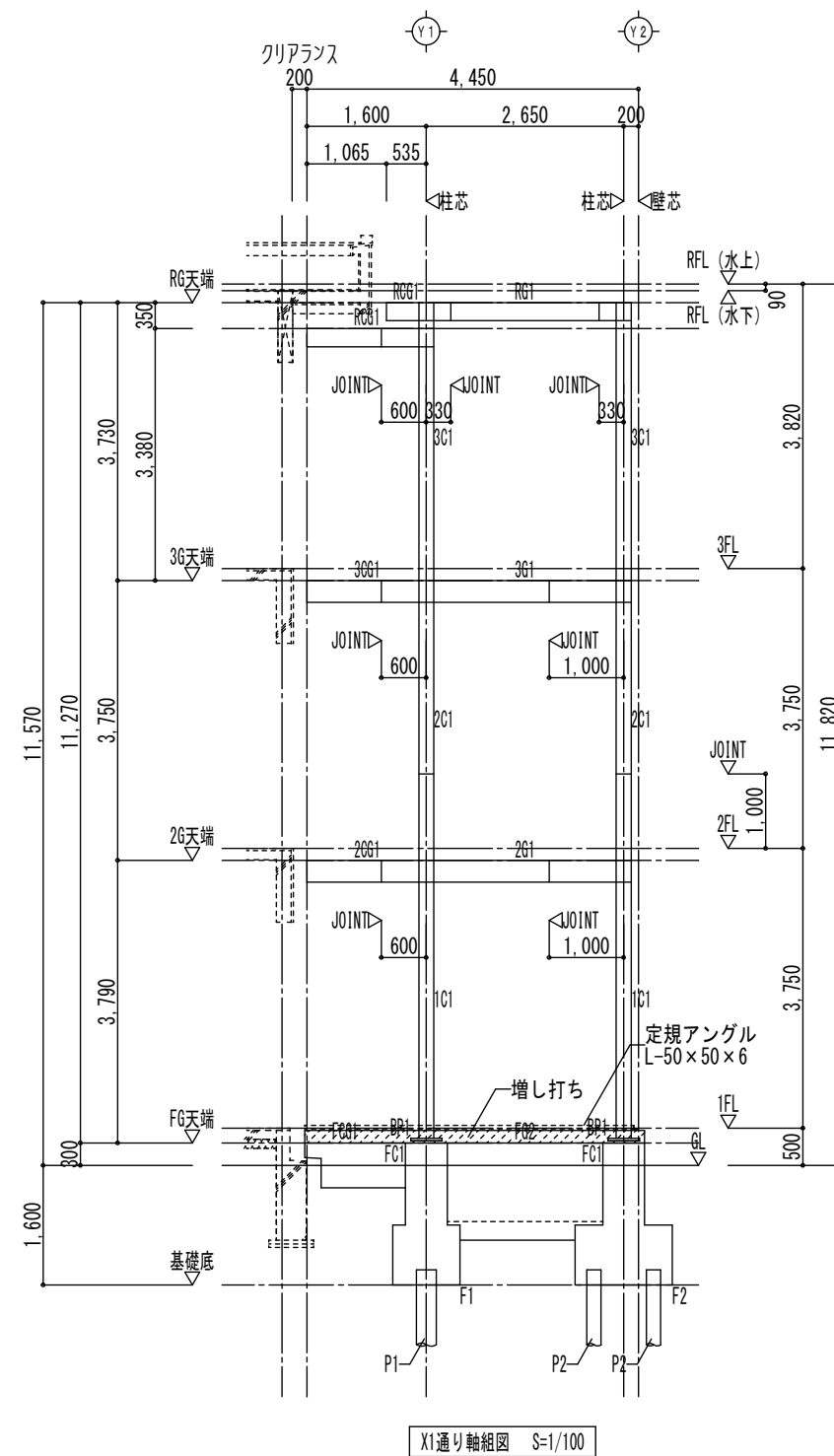
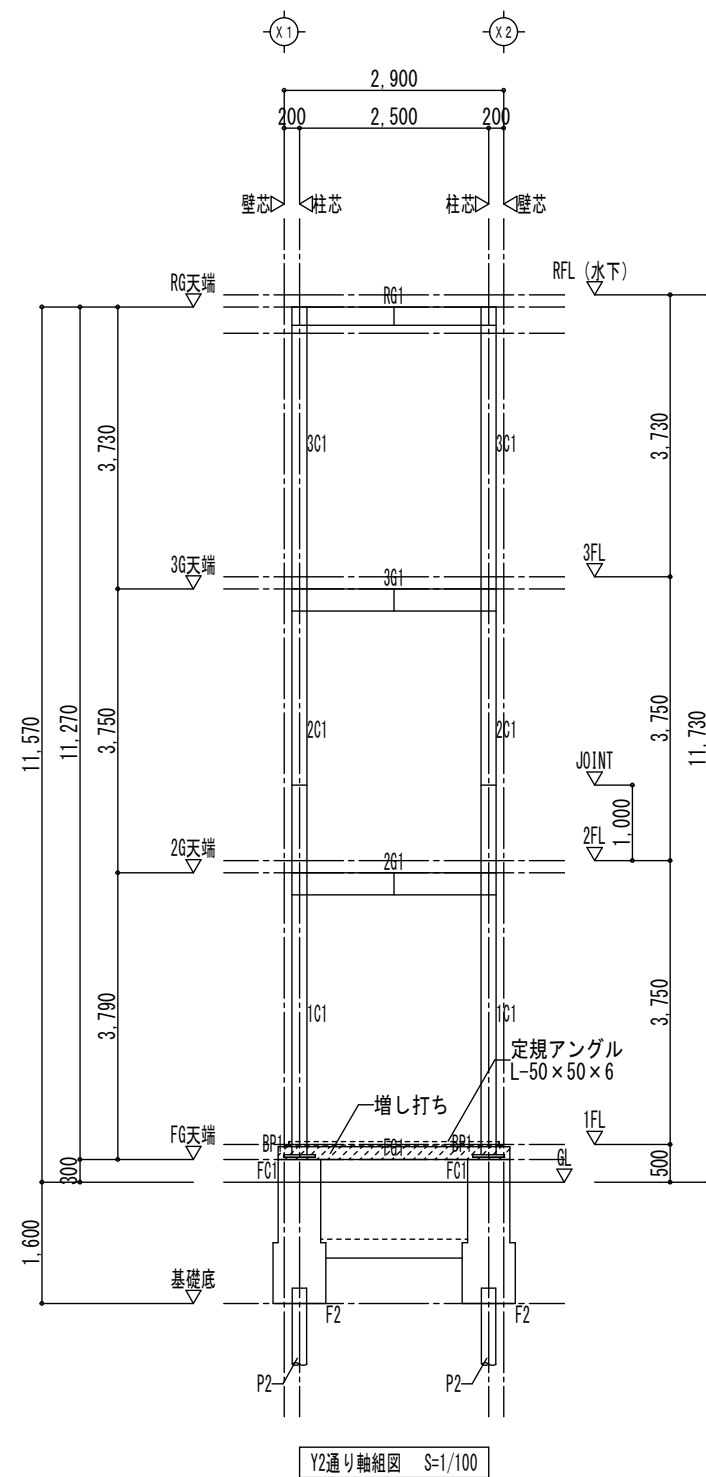
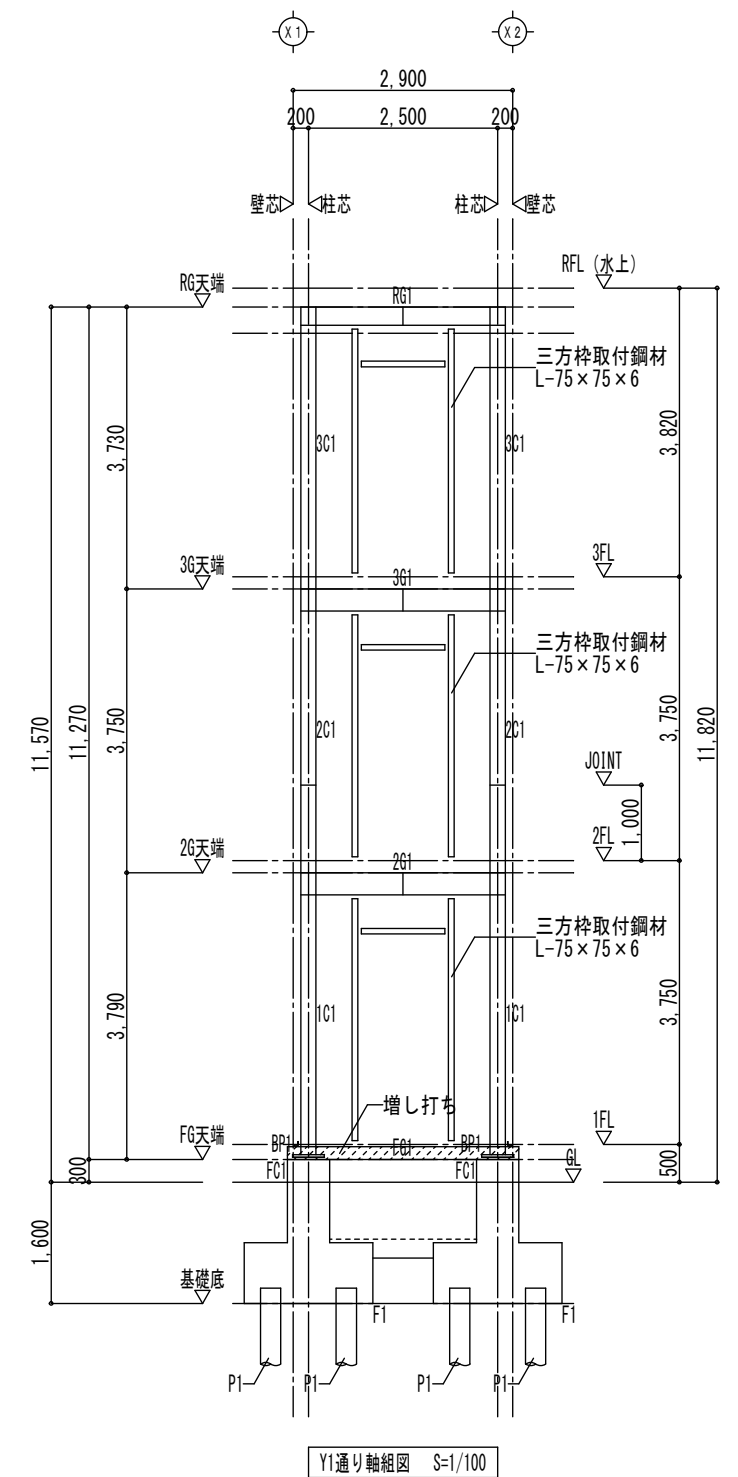
c1: レールブラケット取付用ファスナーPL-12

c2: レールブラケット取付用ファスナー（リブ付）PL-12

④ デッキプレート方向を示す

c1: レールブラケット取付用ファスナーPL-12

c2: レールブラケット取付用ファスナー（リブ付）PL-12



① デッキプレート方向を示す

d1: レールブラケット取付用ファスナー兼  
増番ピン/取付用ファスナー (11個付) DL 12

揚里ヒーム取付用ノブスチー（リノ付）PL-12

d2:揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）PL-12

各階クリアランスは200とする(既設壁仕上げ面 — 新設梁端部)  
※但し、基礎部は既設地中梁 — 新設地中梁

■ : NOTE

特記無き梁の継手位置はスパン中央とする

NISSHIN  
SEKKEI  
目新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| Job Title | 津市立育生小学校校長寿命化改修工事 |
|-----------|-------------------|

|               |         |
|---------------|---------|
| Drawing Title | 梁伏図・軸組図 |
|---------------|---------|

多湖 弘樹  
一級建築士 第382361号

設計担当

|          |          |
|----------|----------|
| DATE     |          |
| 2023     |          |
| SCALE    |          |
| A2:1/100 | A3:1/140 |

S - 1 0

原图A2]

※ 大梁継手部の添板は、母材同等とする

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 符 号       | BP1                                |
| 名 称       | ベースバック 20-12V                      |
| 姿 図       |                                    |
| べースプレート   | 360×360×32                         |
| アンカーボルト   | 4-M33 (SD490)                      |
| コンクリート柱断面 | FC1: 560×560                       |
| 上立り筋      | 12-D19 (SD345)                     |
| フープ筋      | D13@100 (SD295)<br>(トップフープはダブルとする) |

| 梁リスト（特記無きはSS400, SSC400） |     |                 |                         | ボルト径<br>（種類）      | フランジ  |                   |                  | ウェブ      |                    | 備 考    |
|--------------------------|-----|-----------------|-------------------------|-------------------|-------|-------------------|------------------|----------|--------------------|--------|
| 符 号                      | 位 置 | ハンチ長さ<br>（柱面から） | 部 材                     |                   | ボルト本数 | 外プレート<br>厚×長さ（mm） | 内プレート<br>厚×幅（mm） | ボルト本数    | プレート<br>厚×幅×長さ（mm） |        |
| RG1                      | 全断面 |                 | H-244×175×7×11 (SN400B) | M20<br>(HTB S10T) | 2×2   | 9×290             | 9×70             | 2×1      | 9×140×170          |        |
| 3G1                      | 全断面 |                 | H-294×200×8×12 (SN400B) | M20<br>(HTB S10T) | 3×2   | 9×410             | 9×80             | 3×1      | 9×200×170          |        |
| 2G1                      | 全断面 |                 | H-294×200×8×12 (SN400B) | M20<br>(HTB S10T) | 3×2   | 9×410             | 9×80             | 3×1      | 9×200×170          |        |
|                          |     |                 |                         |                   |       |                   |                  |          |                    |        |
| RCG1                     | 全断面 |                 | H-244×175×7×11 (SN400B) | M20<br>(HTB S10T) | 2×2   | 9×290             | 9×70             | 2×1      | 9×140×170          |        |
| 3, 2CG1                  | 全断面 |                 | H-294×200×8×12 (SN400B) | M20<br>(HTB S10T) | 3×2   | 9×410             | 9×80             | 3×1      | 9×200×170          |        |
|                          |     |                 |                         |                   |       |                   |                  |          |                    |        |
| B1                       | 全断面 |                 | H-200×100×5.5×8         | M16<br>(HTB S10T) | -     |                   |                  | 2×1 L=40 | PL-9               |        |
| B2                       | 全断面 |                 | H-100×100×6×8           | M16<br>(HTB S10T) | -     |                   |                  | 1×2 L=40 | PL-9               |        |
|                          |     |                 |                         |                   |       |                   |                  |          |                    |        |
| 楊重バーム                    |     |                 | H-100×100×6×8           |                   |       |                   |                  |          |                    | 現場隅肉溶接 |
| 敷居受用鋼材                   |     |                 | [-100×50×5×7.5          |                   |       |                   |                  |          |                    | 現場隅肉溶接 |
| 三方枠<br>取付鋼材              |     |                 | L-75×75×6               |                   |       |                   |                  |          |                    | 現場隅肉溶接 |
| 定規アングル                   |     |                 | L-50×50×6               |                   |       |                   |                  |          |                    |        |

| 床版リスト |      |     |             |             |             |             |
|-------|------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 符 号   | スラブ厚 | 箇 所 | 主筋方向        |             | 配力筋方向       |             |
|       |      |     | 端 部         | 中央部         | 端 部         | 中央部         |
| FS1   | 250  | 上端筋 | D13@200     | D13@200     | D13@200     | D13@200     |
|       |      | 下端筋 | D13@200     | D13@200     | D13@200     | D13@200     |
| FS2   | 150  | 上端筋 | D10・D13@200 | D10・D13@200 | D10・D13@200 | D10・D13@200 |
|       |      | 下端筋 | D10・D13@200 | D10・D13@200 | D10・D13@200 | D10・D13@200 |

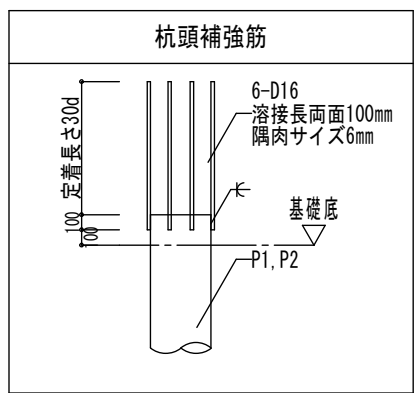
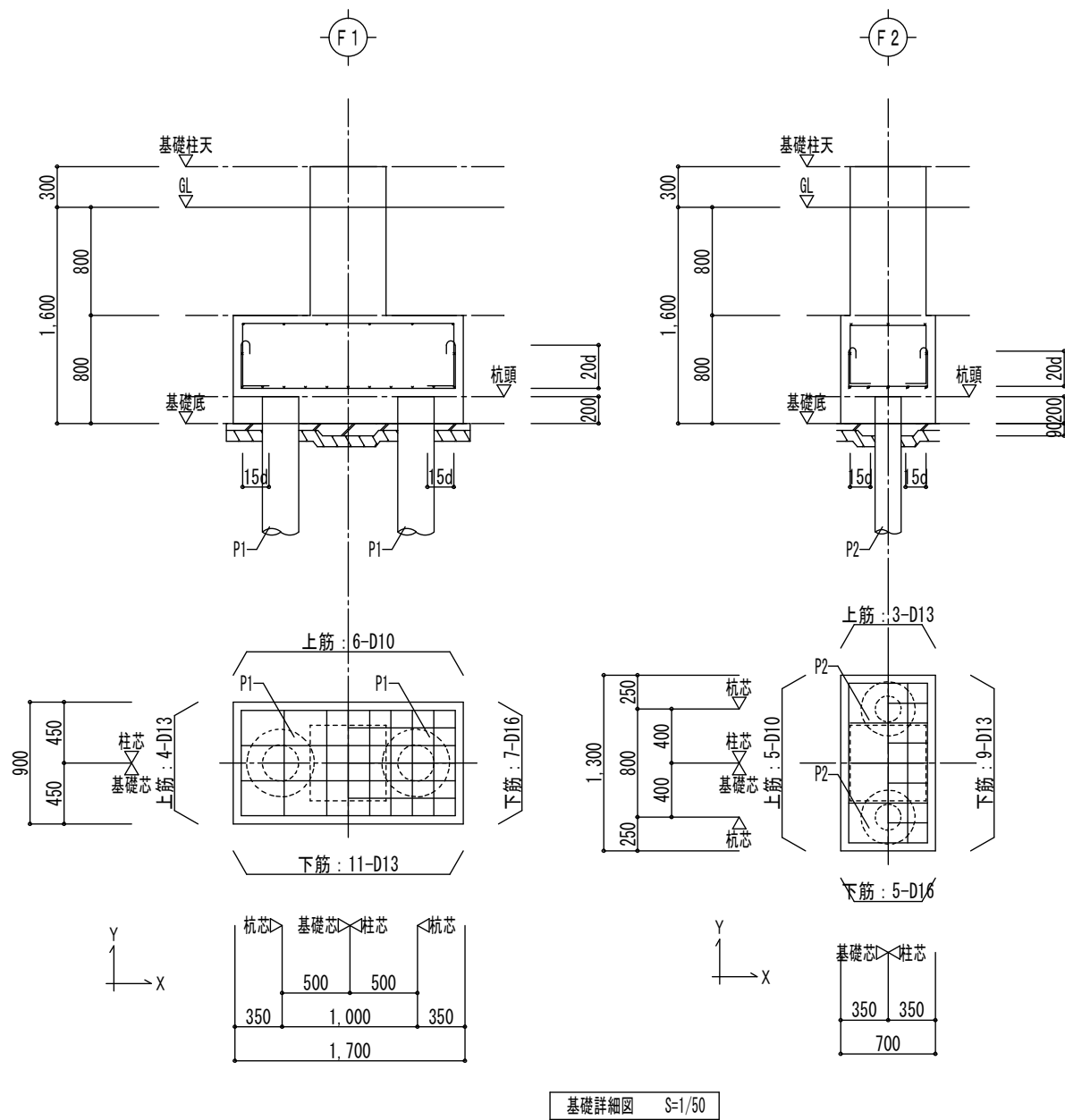
| 柱リスト |                       |     |               |     |
|------|-----------------------|-----|---------------|-----|
| 符 号  | 部 材                   | 符 号 | 柱 脚           | 柱 頭 |
| 1C1  | □-200×200×12 (BCR295) | BP1 | ベースバック 20-12V | -   |
| 2C1  | □-200×200×12 (BCR295) | -   | -             | -   |
| 3C1  | □-200×200×9 (BCR295)  | -   | -             | -   |
|      |                       |     |               |     |

|                                      |                                                            |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| その他部材リスト（特記無きは\$S400）                |                                                            |
| ダイヤフラム                               | 通しダイヤフラム：SN490C      内ダイヤフラム：SN490B                        |
| 水平ブレース V1<br>(JIS A 5540 JIS A 5541) | ターンバックル付きブレースM12 GPL-6 HTB1-M12      原則として取付位置は、上フランジ下面とする |
| デッキプレート                              | QLデッキ：QL99-50-1.2    コンクリート山高80    溶接金網φ6-150×150    焼板栓溶接 |

| 杭リスト（EAZET-Ⅱ（建設省東住指発第449号）同等品以上） |          |          |            |          |                |             |        |          |          |    |
|----------------------------------|----------|----------|------------|----------|----------------|-------------|--------|----------|----------|----|
| 符 号                              | 杭径 (mm)  | 鋼管厚 (mm) | 杭本体部<br>材質 | 羽根径 (mm) | 先端<br>羽根厚 (mm) | 先端羽根部<br>材質 | 長さ (m) | 長期鉛直支持力  | 短期引抜抵抗力  | 本数 |
| P1                               | φ 267. 4 | 8. 0     | STK490     | φ 500    | 22             | SM490A      | 6. 0   | 179 (kN) | 154 (kN) | 4  |
| P2                               | φ 190. 7 | 7. 0     | STK490     | φ 400    | 19             | SM490A      | 6. 0   | 123 (kN) | 115 (kN) | 4  |

注意事項) 杭の施工誤差は原則として100mm以内とする。100mmを超えた場合は監督員と協議すること

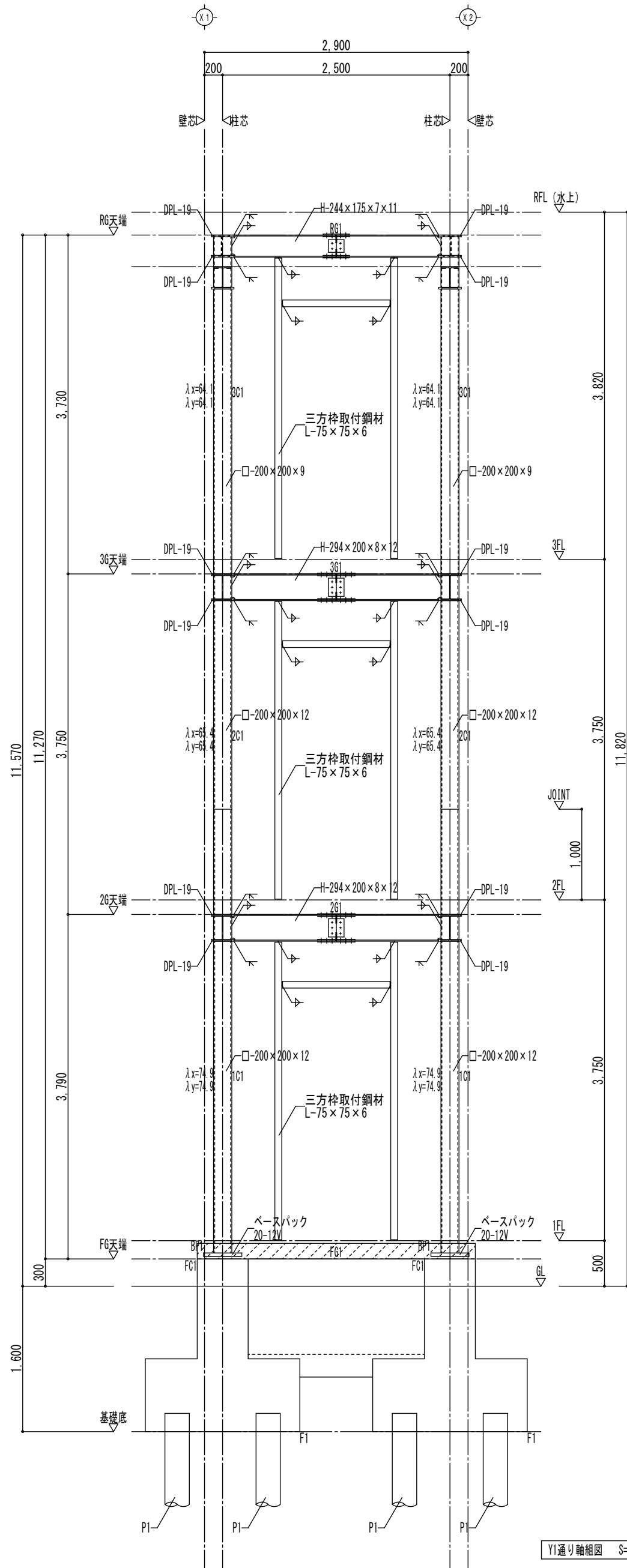
| 地中梁リスト |            |            |            |
|--------|------------|------------|------------|
| 符 号    | FG1        | FG2        | FCG1       |
| 断 面    |            |            |            |
| B×D    | 400×1300   | 350×1300   | 350×600    |
| 上 筋    | 3-D22      | 3-D22      | 3-D22      |
| 下 筋    | 3-D22      | 3-D22      | 3-D22      |
| S T P  | 3-D13@100  | 2-D13@150  | 2-D10@200  |
| 腹 筋    | 4-D10      | 4-D10      | 2-D10      |
| 巾止筋    | D10@1000以内 | D10@1000以内 | D10@1000以内 |



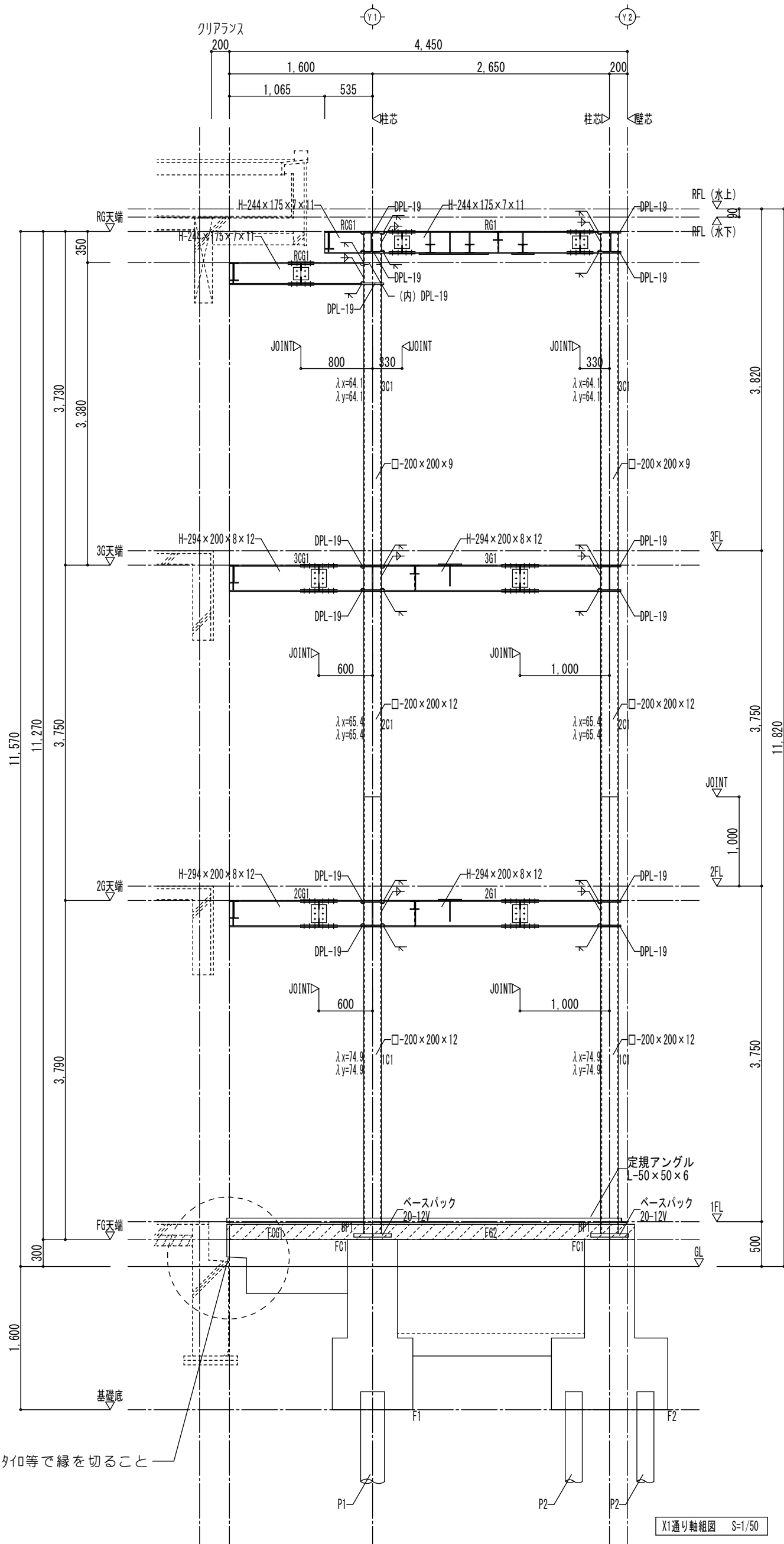
一級建築士 第332033号  
構造設計一級建築士 第8984号 井上 貴智

[原図A2]

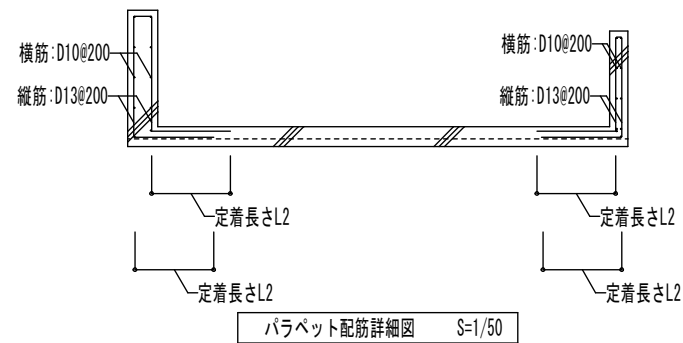
|                                  |                                                                                                 |                                                               |  |  |  |                                             |  |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--|--|--|---------------------------------------------|--|
| <div> <div>■ : NOTE</div> </div> | <div> <div>NISSHIN</div> <div>SEKKEI</div> <div>目新設計株式会社</div> <div>三重県知事登録第1-518号</div> </div> | <div> <div>Job Title</div> <div>津市立育生小学校長寿命化改修工事</div> </div> |  |  |  | <div>DATE</div> <div>2023</div>             |  |
|                                  |                                                                                                 | <div> <div>Drawing Title</div> <div>部材リスト</div> </div>        |  |  |  | <div>SCALE</div> <div>A2:1/50 A3:1/70</div> |  |
|                                  |                                                                                                 | <div>設 計 担 当</div>                                            |  |  |  | <div>S - 1 1</div>                          |  |
|                                  |                                                                                                 | <div> <div>多湖 弘樹</div> <div>一級建築士 第382361号</div> </div>       |  |  |  |                                             |  |



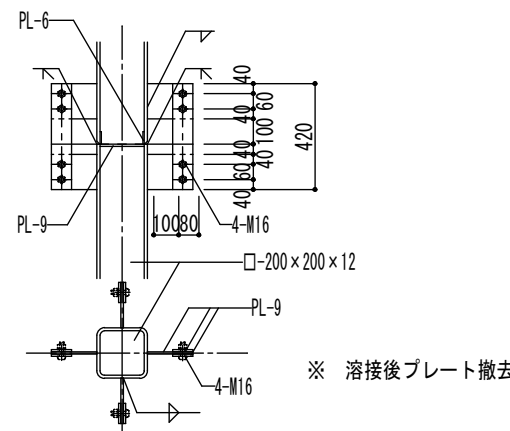
Y1通り軸組図 S=1/50



X1通り軸組図 S=1/50



パラベット配筋詳細図 S=1/50



柱継手 詳細図 S=1/30

■ : NOTE

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事  
Drawing Title 鉄骨詳細図  
多湖 弘樹  
一級建築士 第382361号

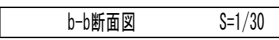
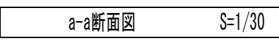
設計担当

一級建築士 第332033号  
構造設計一級建築士 第3984号 井上 貴智

[原図A2]

DATE 2023  
SCALE A2:1/50・1/30 A3:1/70・1/42

S-12



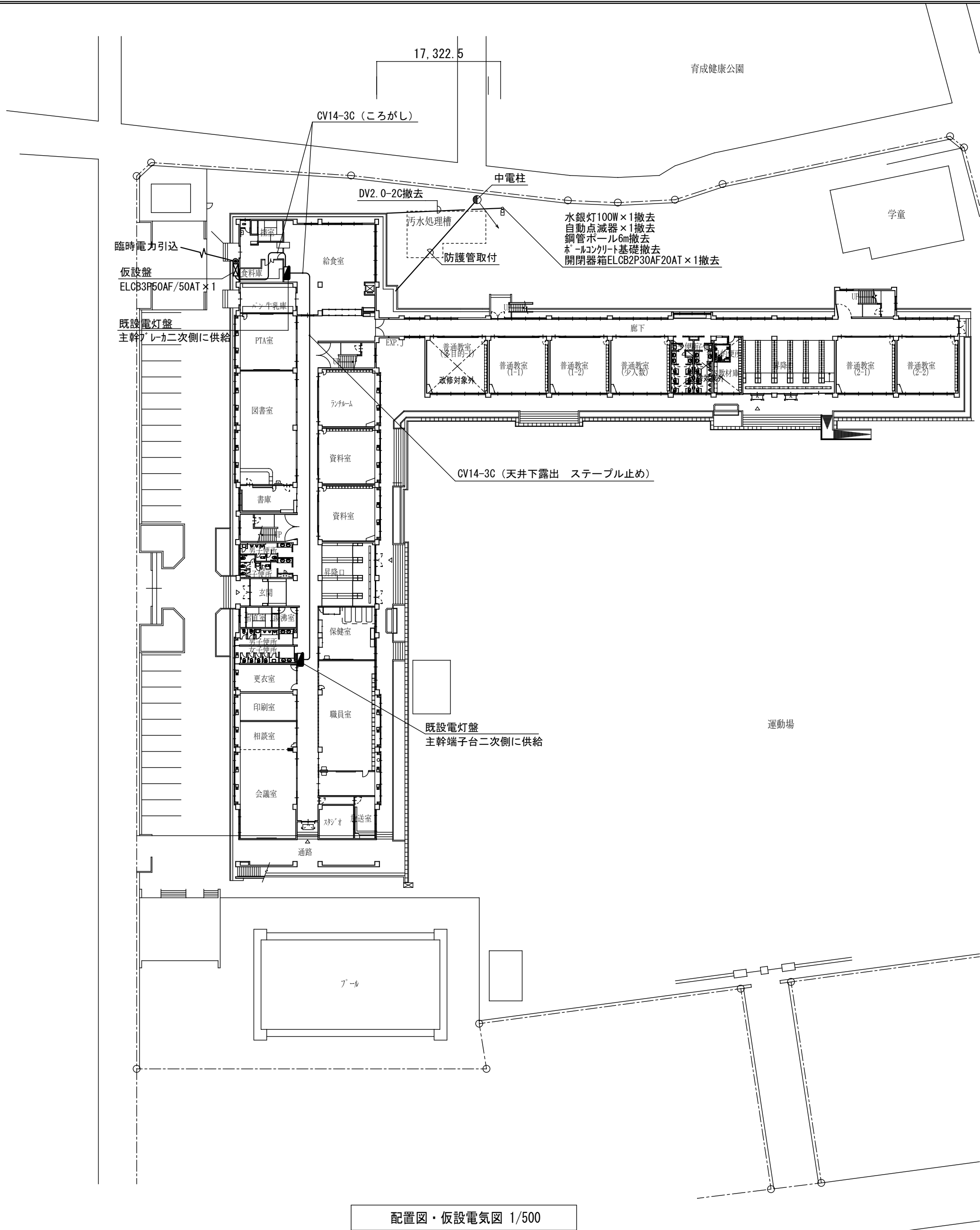
[原図A2]

|          |                                                               |                   |  |  |  |                 |  |
|----------|---------------------------------------------------------------|-------------------|--|--|--|-----------------|--|
| ■ : NOTE | <div>NISSHIN<br/>SEKKEI<br/>日新設計株式会社<br/>三重県知事登録第1-518号</div> | Job Title         |  |  |  | DATE            |  |
|          |                                                               | 津市立育生小学校校長寿命化改修工事 |  |  |  | 2023            |  |
|          |                                                               | Drawing Title     |  |  |  | SCALE           |  |
|          |                                                               | 基礎配筋詳細図           |  |  |  | A2:1/30 A3:1/42 |  |
|          |                                                               | 設計担当              |  |  |  | S - 13          |  |
| 多湖 弘樹    |                                                               |                   |  |  |  |                 |  |
|          |                                                               | 一級建築士 第382361号    |  |  |  |                 |  |

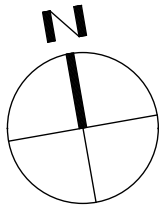
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                     |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 電気設備工事特記仕様書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | 7. 電気保安技術者<br>電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。<br>また、電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。<br>なお、電気主任技術者の立会費用は、下記のとおりとする。<br>●受注者負担      ・不要      ・その他（      ） |  | 分別解体等の方法<br>工種   ・新築   ・増築   ・修繕   ・模様替   ・解体   ・その他（      ）<br>分別解体の方法   ・手作業   ・手作業、機械作業併用                                                                                                                                                                                                                                     |  | IV. 施工仕様<br>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
| I. 工事概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                                                                                     |  | (1)引き渡しを要するものは下記のとおりとし、それ以外は別途監督員の指示による。<br>（      ）                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | 1. 既設設備等の調査<br>既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 1. 工事名称      津市立育生小学校長寿命化改修その他工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |                                                                                                                                                                                                     |  | (2)特別管理産業廃棄物<br>●変圧器   ・コンデンサ   ・その他（      ）<br>現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。<br>なお、施工に際してP C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。                                                                                                                                                                                      |  | (1)地中埋設管路<br>1) 項      目      ●埋設配管      ●構造物      ・その他（      ）<br>2) 調査範囲      ●埋設ルート      ・その他（      ）                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
| 2. 工事場所      津市   下井財町津興   地内                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |                                                                                                                                                                                                     |  | (3)現場内において再利用を図るもの<br>・発生土   ・その他（      ）                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  | (2)貫通及びはつり<br>1) 項      目      ●鉄筋      ●配管      ・その他（      ）<br>2) 調査範囲      ●施工部分      ・その他（      ）                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 3. 建物概要      既存棟   RC造   4階建   7,533.41㎡   7項<br>増築棟   S造   3階建   41.61㎡   7項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |                                                                                                                                                                                                     |  | (4)再資源化を図るもの<br>・コンクリート塊   ・アスファルトコンクリート塊   ・建設発生木材   ・（      ）                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | (3)既設との取合い<br>1) 項      目      ●接続箇所      ●増設箇所      ・その他（      ）<br>2) 調査範囲      ●施工部分      ・その他（      ）                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                     |  | (5)水銀使用製品産業廃棄物として取り扱うもの<br>●蛍光灯   ・H I Dランプ（高輝度放電ランプ）   ・その他（      ）<br>「水銀廃棄物ガイドライン 第3版」（令和3年3月 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課）に基づき適切に 処理すること。                                                                                                                                                                                           |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                     |  | (6)引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。<br>（マニフェストA、B2、D票を提示すること。）                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
| 4. 工事種目      用途区分は消防法施行令第表第一による表記                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 19. 官公署への手続き<br>工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。<br>なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。<br>●消防設備関係   ・電気工作物関係   ・受電関係      ・通信関係      ・建設工事関係      ・その他（      ）                                                                                                                                                                    |  | 2. 施工前の測定等<br>改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| 下記において●印を付した工事を対象とする。<br>●電力設備      ●受変電設備      ・電力貯蔵設備      ・発電設備<br>●通信・情報設備      ・中央監視制御設備      ・医療関係設備<br>●構内配電線路      ・構内通信線路      ・その他                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 20. 消防法関係の手続き<br>(1)消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成<br>・本工事   ・建築工事   ・電気設備工事   ・機械設備工事      ・別途工事<br>(2)防火対象物使用開始届出書<br>書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。                                                                                                                                                                              |  | 3. 耐震基準<br>耐震措置の計算及び施工方法は、次の基準を適用する。<br>(1)「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 平成25年版」（国土交通省大臣官房官庁営繕部）<br>(2)「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
| II. 共通仕様<br>図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。<br>・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修<br>「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各令和4年版）<br>「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気（機械）設備工事編 各令和4年版）<br>「公共建築設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編 各令和4年版）<br>・電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）<br>・電気工事業の業務の適正化に関する法律<br>・電気工事士法<br>・労働安全衛生法<br>・消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）<br>・電力会社供給約款<br>・その他関連法令、関連諸基準                                                                                              |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 21. 工事用仮設物<br>構内への設置      ・できる（施設管理者と協議）      ・できない                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 4. 耐震施工<br>(1)想定される地震に施工する設備を対応させる。<br>(2)耐震計算書を監督員に提出する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
| III. 一般共通事項<br>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 22. 工事用電力<br>構内既存の施設<br>●利用できる（   ・有償   ●無償）   ・利用できない<br>本工事で新規受電した時からの電力料金は本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の選任及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。                                                                                                                                                                                              |  | 5. はつり<br>(1)穴開け及び補修      ●なし      ・あり      （貫通場所及び口径は別図による）<br>(2)溝はつり及び補修      ●なし      ・あり      （はつり深さは別図による）                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| 1. 一般事項<br>(1)工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。<br>(2)設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。<br>なお、設計図書のとりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。<br>(3)他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。                                                                |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 23. 工事用水<br>構内既存の施設<br>●利用できる（   ・有償   ●無償）   ・利用できない                                                                                                                                                                                                                                                                            |  | 6. あと施工アンカー<br>性能確認試験及び施工確認試験      ・行う      ●行わない                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| 2. 足場<br>設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の 作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。<br>内部足場の種別（参考）      ● 脚立      ● 棚足場      ●その他（ローリッ グ等）<br>外部足場の種別（参考）      ● 手摺先行据置枠組木足場      ・ 移動足場      ● 高所作業車      ・その他（      ）<br>外部足場設置範囲（参考）      ・ 外部改修部      ● 設備改修部      ● 昇降用      ・ 転落防止用防護シート等による養生      ● 適用する      ・ 適用しない |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 24. 工事中等の保安監理<br>電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。                                                                                                                                                                                                                                                           |  | 7. 基礎の配線ビット<br>基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| ●足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。<br>つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のもものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。<br>なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。                                                                                                                                                                                                                                     |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 25. 搬入計画<br>大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（厚、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。                                                                                                                                                                                                    |  | 8. 配管・配線の耐震処置<br>建物引込部の配管の耐震処置      ●行う      ・行わない<br>建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置      ●行う      ・行わない                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |
| 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 26. 製品確認<br>発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。                                                                                                                                                                                                                 |  | 9. 最上階の埋込配管<br>最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参考画」に必要な資格を有する者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 27. 機材等の検査及び試験<br>検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。                                                                                                                                                                                                                                                                           |  | 10. 露出配管<br>(1)雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。<br>(2)附属品は、ねじ込み形を使用する。<br>(3)壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分（2m以下）の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。<br>(4)通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。<br>(5)監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。                                                                                                                                                                                      |  |
| 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 28. 完成確認及び完成検査時等の電源確保<br>機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。                                                                                                                                                                                                                                                                    |  | 11. 合成樹脂管<br>(1)合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。<br>(2)原則として屋外の露出には使用しない。（P F管）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| 3. 三重県産業廃棄物税<br>本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。<br>なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。                                                                                                                                                                                                                          |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 29. 完成時の操作説明<br>総合盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。                                                                                                                                                                                                                                     |  | 12. 予備配管等<br>埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は（P F22）を1本、5回路以上は（P F22）を2本施工する。スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
| 4. 電気工作物の種類<br>・一般電気工作物      ●自家用電気工作物                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 30. 不正軽油の使用の禁止<br>(1)工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。<br>(2)受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。<br>(3)受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。 |  | 13. 金属製電線管等の塗装<br>(1)露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。<br>1) 屋外、屋内（電気室、機械室、E P S、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。<br>2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。<br>3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。（監督員が指示した場所は除く。）<br>(4) 仮枠貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。<br>(2)塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。 |  |
| 5. 電気工事士<br>電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 14. 導入線<br>通線を行わない配管及び配線引抜き後に空となった配管には、導入線（φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。                                                                                                                                                                                                                                      |  | 15. 予備スリーブ<br>梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。<br>なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
| 6. 電気工事業の業務の適正化に関する法律<br>電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 15. 発生材の処理等<br>・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事である。<br>分別解体等及び特定建設資材の再資源等の実施について適正な措置を講ずることとする。工事契約後に明らかになかったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。                                                                                                                     |  | 16. ボックス類<br>位置ボックス及びジョイントボックス類は、特記なき場合、原則として金属製とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                     |  | 16. 多湖 弘樹<br>一級建築士 第38261号                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  | 17. 軽量間仕切のボックス<br>軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |                                                                                                                                                                                                     |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | 18. プルボックス<br>(1)屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。<br>(2)屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| ■：NOTE                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  | NISSHIN<br>SEKKEI<br>目新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号                                                                                                                                                     |  | Job Title<br>津市立育生小学校長寿命化改修工事<br>Drawing Title<br>電気設備工事特記仕様書01<br>設計担当<br>多湖 弘樹<br>一級建築士 第38261号                                                                                                                                                                                                                                |  | DATE<br>2024<br>SCALE<br>A2:N・S A3:N・S<br>E-01                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |

|                                                                          |                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 19. ボルト・ナット類<br>屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの<br>●ステンレス      ・溶融亜鉛メッキ仕上げ | V. 機器仕様<br>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。<br>なお、詳細については図面による。 | 【受変電設備】<br>5. 受変電設備<br>(1) 既設との<br>取り合い<br>(2) 機器類<br>(3) 盤類<br>(4) 交流遮断器<br>(5) 断路器<br>(6) 負荷開閉器<br>(7) 変圧器<br>(8) 進相コンデンサ<br>(9) 直列リアクトル<br>(10) キュービクル等<br>(11) 基礎<br>(12) 配線ピット及び蓋<br>(13) 設置場所<br>【電力貯蔵設備】<br>6. 直流電源設備<br>(1) 用途<br>(2) 容量<br>(3) 整流装置<br>(4) 蓄電池<br>7. 交流無停電電源設備<br>(1) 用途<br>(2) 容量<br>(3) 給電方式<br>(4) 整流装置等<br>(5) 蓄電池<br>(6) 性能<br>8. 電力平準化用蓄電設備<br>9. 分散電源エネルギーマネージメントシステム | 【発電設備】<br>10. 燃料式発電設備<br>(1) 用途<br>(2) 設置場所<br>(3) 機器<br>(4) 発電装置<br>(5) 燃料<br>(6) 燃料槽<br>(7) 給油ボックス<br>(8) 燃料移送ポンプ<br>(9) 基礎<br>11. その他発電設備<br>【通信・情報設備】<br>12. 構内情報通信網設備<br>13. 構内交換設備<br>(1) 機器<br>(2) 交換装置<br>(3) 電話機<br>(4) 端子盤類<br>(5) アウトレット<br>14. 情報表示設備<br>(1) 設備<br>(2) マルチ化装置<br>(3) 出退表示装置<br>(4) 時刻表示装置<br>(5) 警報等表示装置<br>15. 映像音響設備 | 1) 用途      ●防災電源専用（防災認定品）      ・防災電源兼用（防災認定品）<br>・一般用<br>2) 区分      ・常用      ●非常用<br>●屋内      ・屋外（・普通地域      ・塩害地域）<br>●発電装置      ●燃料槽      ●給油ボックス      ●燃料移送ポンプ<br>・その他（      ）<br>1) 種類      ●ディーゼル発電装置      ・ガスエンジン発電装置<br>・ガスタービン発電装置<br>2) 形式      ・簡易形      ・オープン式<br>●キュービクル式（●85dB(A)/1m      ・75dB(A)/1m）<br>3) 始動時間（停電検出後）      ●1.0秒以内      ・4.0秒以内<br>・（      ）秒以内<br>4) 連続運転時間      ・2時間以上      ・1.0時間以上      ・2.4時間以上<br>●7.2時間以上      ・その他（      ）<br>5) 発電機<br>①電気方式      ●三相3線式（・6.6kV・200V・（      ）V）<br>・単相3線式（200/100V）<br>・単相2線式（200V・100V・（      ）V）<br>②定格周波数      60Hz<br>③定格出力      （      ）kVA<br>6) 原動機<br>①定格出力      ●（      ）kW以上      ・（      ）ps以上<br>②冷却方式      ●ラジエータ方式      ・その他（      ）<br>(5) 燃料<br>1) 種類      ●軽油      ・灯油      ・A重油      ・その他（      ）<br>2) 引渡時燃料      ●満タン      ・指定なし      ・その他（      ）<br>(6) 燃料槽<br>1) 形式及び容量      ・パッケージ搭載タンク（      ）リットル<br>・燃料小出槽（      ）リットル<br>・主燃料槽（      ）リットル<br>・屋外型（●ステンレス製      ・鋼製）<br>・屋内型（・ステンレス製      ●鋼製）<br>2) 燃料小出槽<br>3) 主燃料槽<br>①設置場所      ・屋内      ・屋外(地上)<br>●地下埋設（●タンク室内埋設      ・直埋設）<br>●二重殻タンク      ・一重殻タンク<br>・その他（      ）<br>③設置工事      ●本工事      ・別途工事      ・その他（      ）<br>④タンク室工事      ●本工事      ・別途工事      ・既設利用      ・その他（      ）<br>(7) 給油ボックス<br>1) 材質      ●ステンレス製      ・鋼製      ・その他（      ）<br>2) 油量指示計      ●有      ・無<br>(8) 燃料移送ポンプ<br>1) 電動ポンプ      ●油中ポンプ      ・油中ポンプ<br>2) 手動ポンプ（ウイングポンプ）      ●有      ・無<br>3) 電動ポンプ水没防止カバー      ●有      ・無<br>●本工事（●2.1N/mm2      ・1.8N/mm2）      ・別途工事      ・既設利用<br>・その他（      ）<br>・（      ）の仕様詳細は別図による。<br>【通信・情報設備】<br>12. 構内情報通信網設備<br>13. 構内交換設備<br>(1) 機器<br>(2) 交換装置<br>・交換装置      ・電話機      ・端子盤類      ・アウトレット<br>・その他（      ）<br>1) 種別      ・構内交換装置（・デジタルPBX      ・IP-PBX      ・VoIPサーバ）<br>・ボタン電話装置<br>●その他（イーサネット用回線の接続）<br>2) 局線応答方式      ・局線中継台      ・分散中継台      ・ダイヤルイン<br>・ダイレクトインダイヤル      ・ダイレクトインライン<br>・その他（      ）<br>3) 保安用接地      ・本工事      ・別途工事      ・既設利用<br>・その他（      ）<br>4) 本配電盤(MDF)      ・自立フレーム（・片面形      ・両面形）      ・交換機一体型<br>・壁掛型      ・その他（      ）<br>5) 電源装置      ①形式      ・別置型      ・一体形      ・その他（      ）<br>②停電補償時間      ・30分以上      ・（      ）以上<br>(3) 電話機      ・一般電話機      ・多機能電話機      ・IP電話機<br>・デジタルコードレス電話機（PHS方式）      ・IPコードレス電話機（無線LAN方式）<br>・その他（      ）<br>(4) 端子盤類<br>1) 端子盤      ・中継端子盤（IDF）      ・室内端子盤<br>2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。<br>・ローテンションアウトレット（・固定型      ・上下動型（アップ式を含む））<br>・壁コンセント      ・その他（      ）<br>14. 情報表示設備<br>(1) 設備<br>(2) マルチ化装置<br>(3) 出退表示装置<br>(4) 時刻表示装置<br>(5) 警報等表示装置<br>1) 機器      ・表示盤      ・検出装置      ・その他（      ）<br>2) 表示盤      ①表示方式      ・表示窓式      ・その他（      ）<br>・本工事      ・別途工事      ・既設利用<br>・その他（      ）<br>3) 検出装置      ①検出方式      ・電極      ・無電圧接点      ・その他（      ）<br>②施工      ・本工事      ・別途工事      ・既設利用<br>・その他（      ）<br>4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。<br>15. 映像音響設備      ・仕様詳細は別図による。 |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



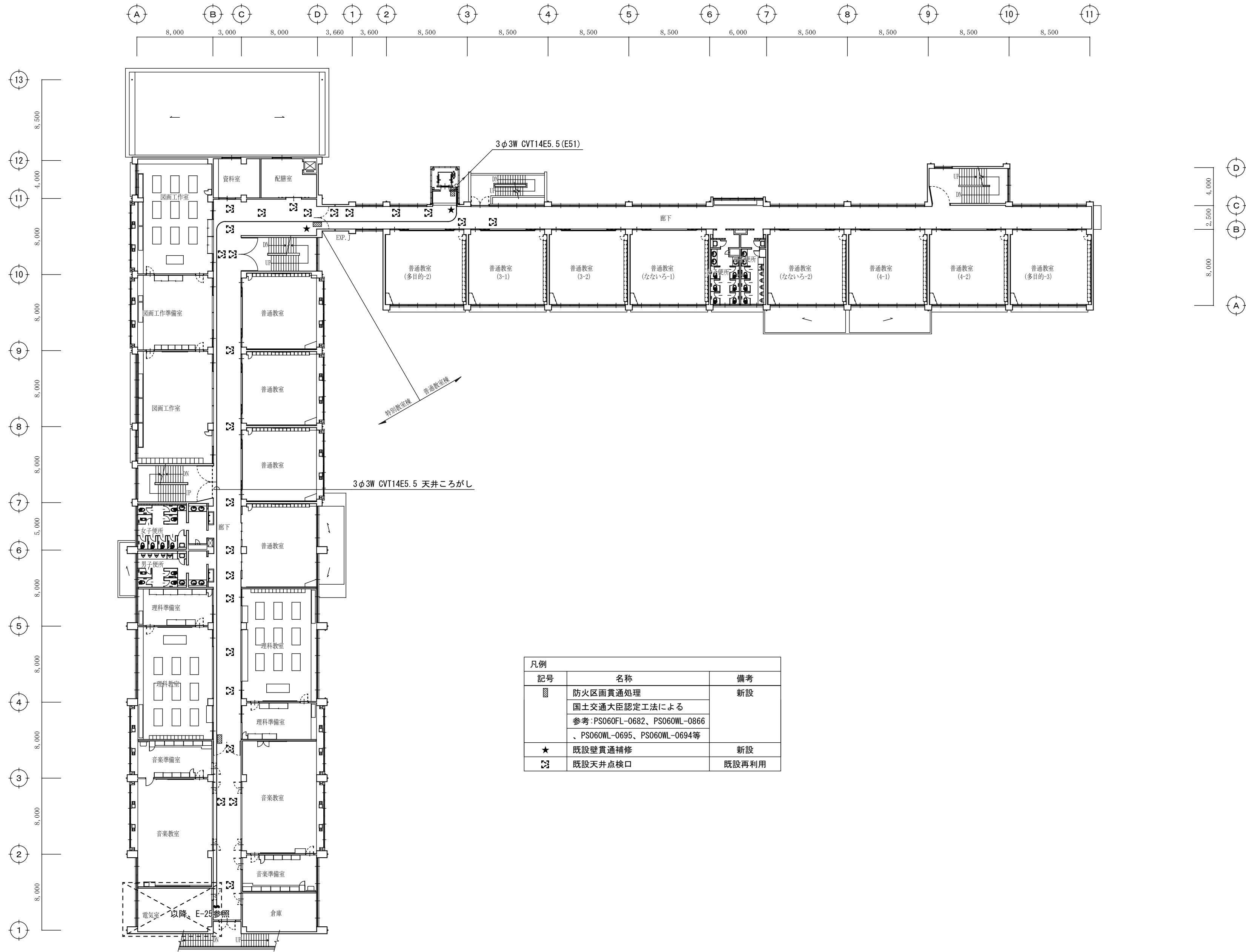


配置図・仮設電気図 1/500



[原図A2]

|          |                                                 |                            |  |                   |
|----------|-------------------------------------------------|----------------------------|--|-------------------|
| ■ : NOTE | NISSHIN<br>SEKKEI<br>日新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 | Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  | DATE 2024         |
|          |                                                 | Drawing Title 配置図・仮設電気図    |  | SCALE             |
|          |                                                 | 多湖 弘樹                      |  | A2:1/500 A3:1/700 |
|          |                                                 | 一級建築士 第382361号             |  | E-04              |



| 凡例       |                              |       |
|----------|------------------------------|-------|
| 記号       | 名称                           | 備考    |
| 防火区画貫通処理 | 防火区画貫通処理                     | 新設    |
|          | 国土交通大臣認定工法による                |       |
|          | 参考:PS060FL-0682、PS060WL-0866 |       |
|          | 、PS060WL-0695、PS060WL-0694等  |       |
| ★        | 既設壁貫通補修                      | 新設    |
| 既設天井検口   | 既設天井検口                       | 既設再利用 |

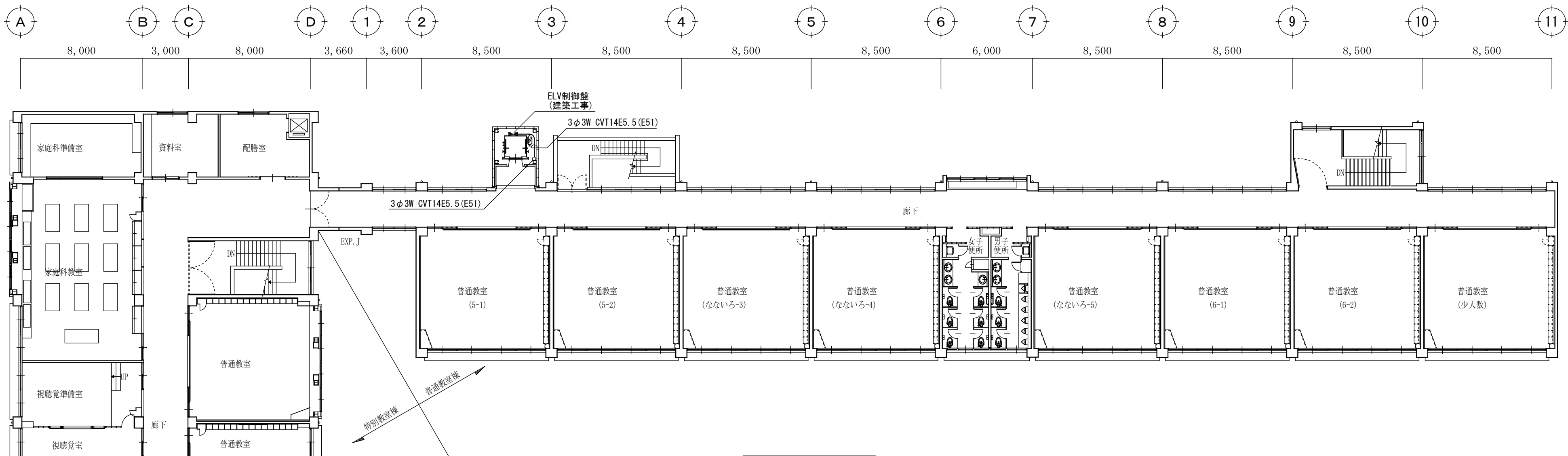
2階平面図

| ■ : NOTE |  |
|----------|--|
|          |  |
|          |  |
|          |  |

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

|                |  |                  |  |                   |
|----------------|--|------------------|--|-------------------|
| Job Title      |  | 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  | DATE              |
| Drawing Title  |  | 動力設備 2階平面図       |  | 2023              |
| 設計担当           |  | 多湖 弘樹            |  | SCALE             |
| 一級建築士 第382361号 |  |                  |  | A2:1/300 A3:1/420 |
|                |  |                  |  | E-05              |



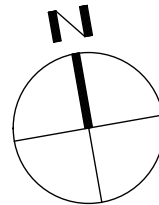
3階平面図

| 凡例     |                                                         |    |
|--------|---------------------------------------------------------|----|
| 記号     | 名称                                                      | 備考 |
| □ 333C | ﾌﾞﾛｯｸｽ SS300×300×300C                                   | 新設 |
| ■      | 防火区画貫通処理                                                | 新設 |
|        | 国土交通大臣認定工法による                                           |    |
|        | 参考:PSO60FL-0682、PSO60WL-0866、PSO60WL-0695、PSO60WL-0694等 |    |
| ★      | 既設壁貫通補修                                                 | 新設 |

| ■ : NOTE |  |
|----------|--|
|          |  |
|          |  |
|          |  |

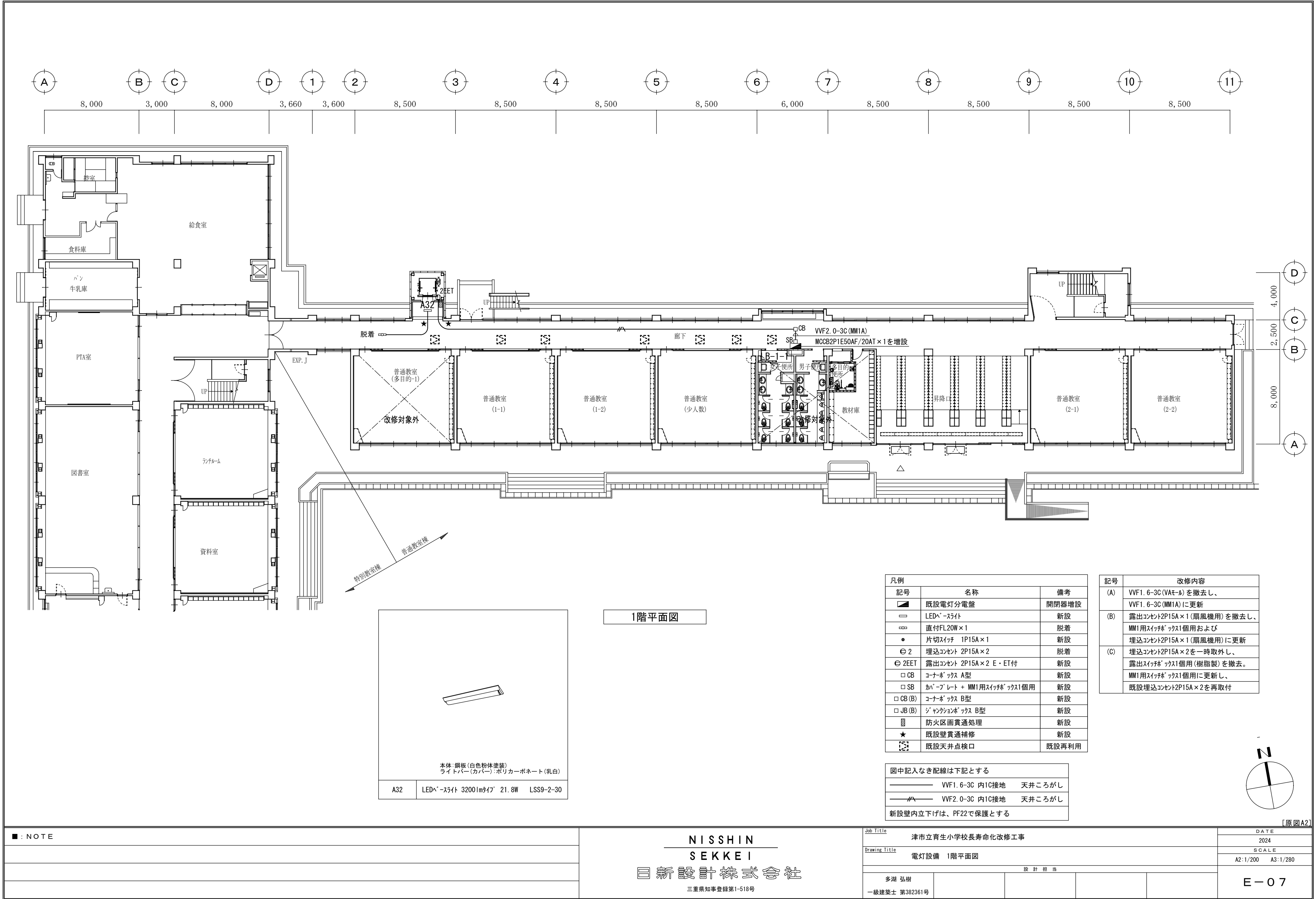
NISSHIN  
SEKKEI  
目新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

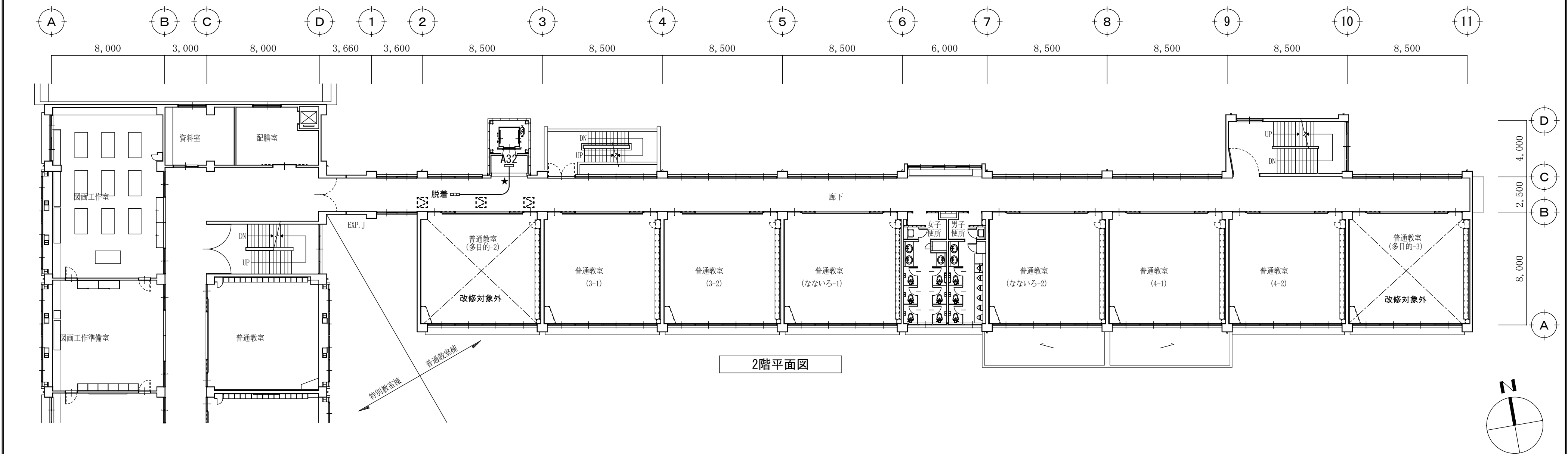
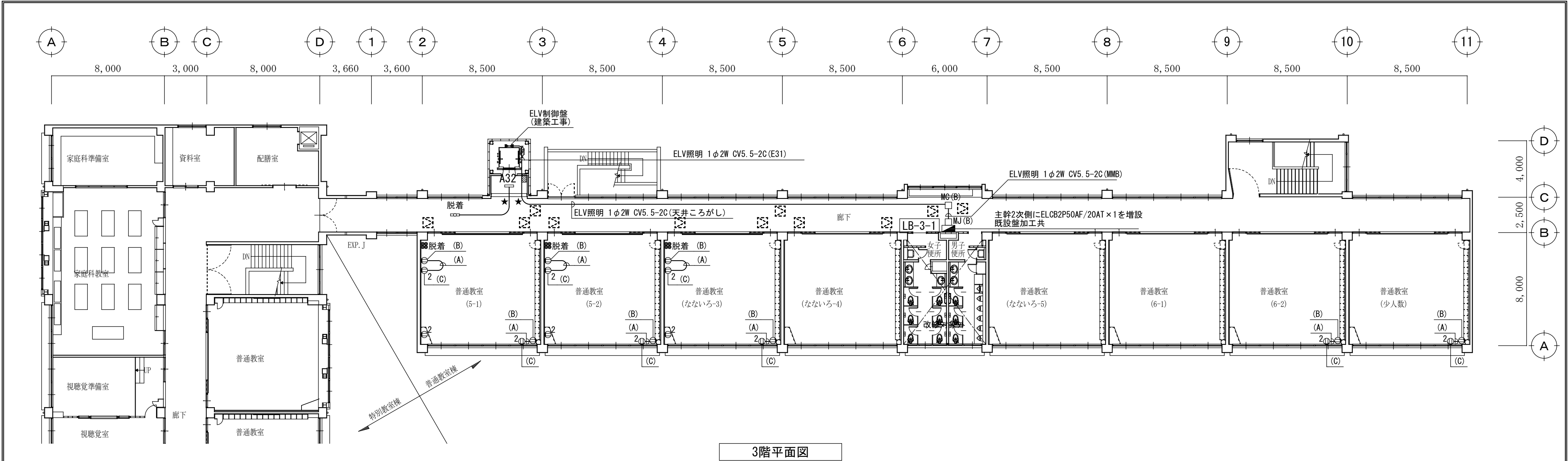
| Job Title        |  |  |  |  | DATE              |  |
|------------------|--|--|--|--|-------------------|--|
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  |  |  |  | 2024              |  |
| Drawing Title    |  |  |  |  | SCALE             |  |
| 動力設備 3階平面図       |  |  |  |  | A2:1/200 A3:1/280 |  |
| 設 計 担 当          |  |  |  |  | E - 0 6           |  |
| 多湖 弘樹            |  |  |  |  |                   |  |
| 一級建築士 第382361号   |  |  |  |  |                   |  |



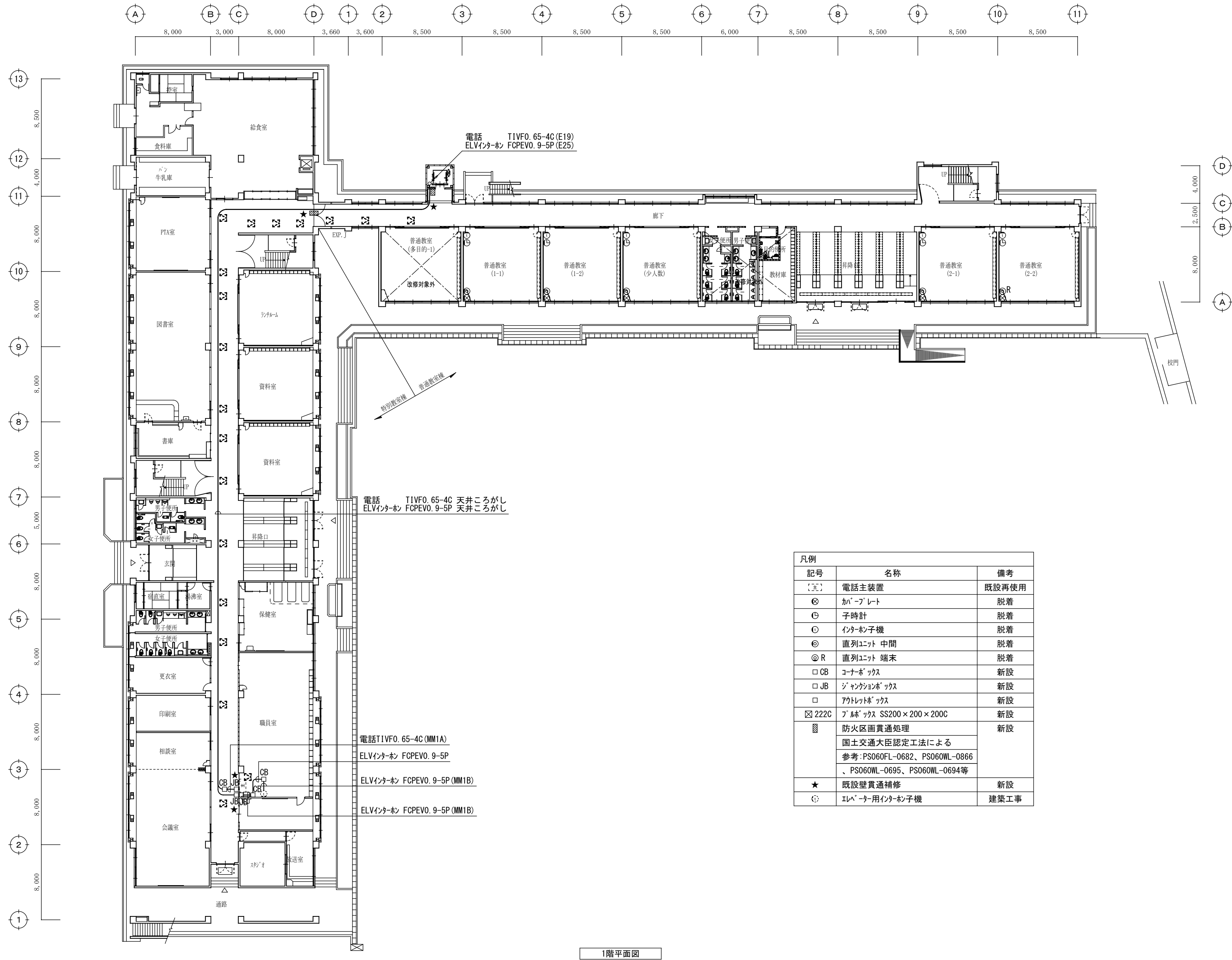
[原図A2]

E-06





|          |                                                 |                            |  |  |  |  |                         |  |
|----------|-------------------------------------------------|----------------------------|--|--|--|--|-------------------------|--|
| ■ : NOTE | NISSHIN<br>SEKKEI<br>日新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 | Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  |  |  |  | DATE 2024               |  |
|          |                                                 | Drawing Title 電灯設備 2・3階平面図 |  |  |  |  | SCALE A2:1/200 A3:1/280 |  |
|          |                                                 | 設計担当                       |  |  |  |  | E-08                    |  |
|          |                                                 | 多湖 弘樹                      |  |  |  |  |                         |  |
|          |                                                 | 一級建築士 第382361号             |  |  |  |  |                         |  |



1階平面図

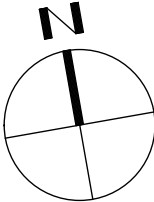
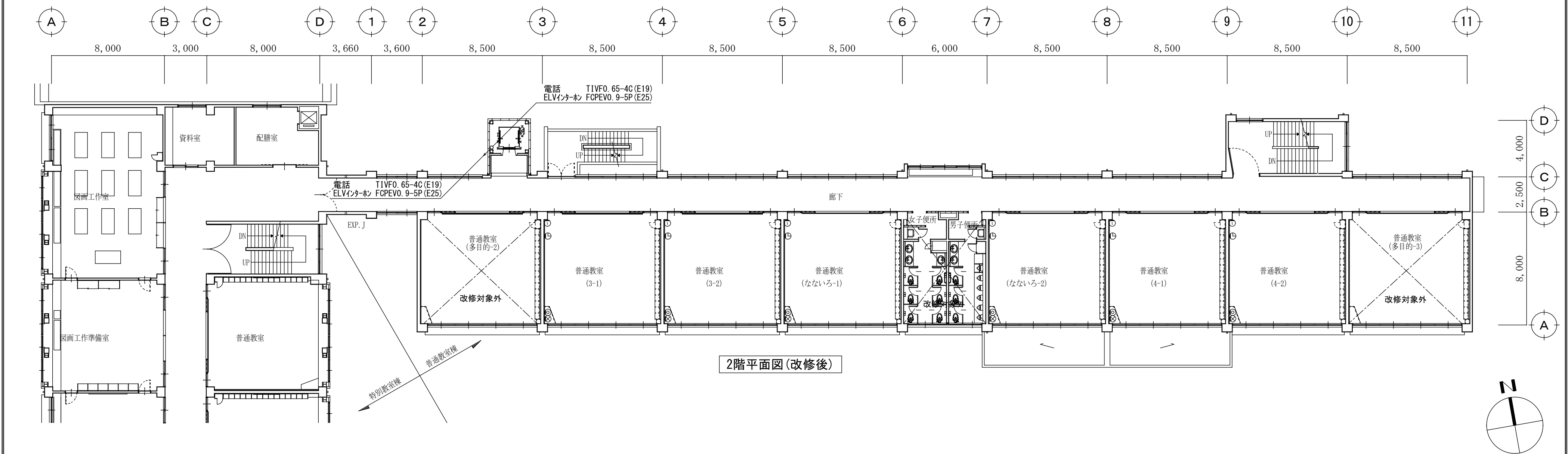
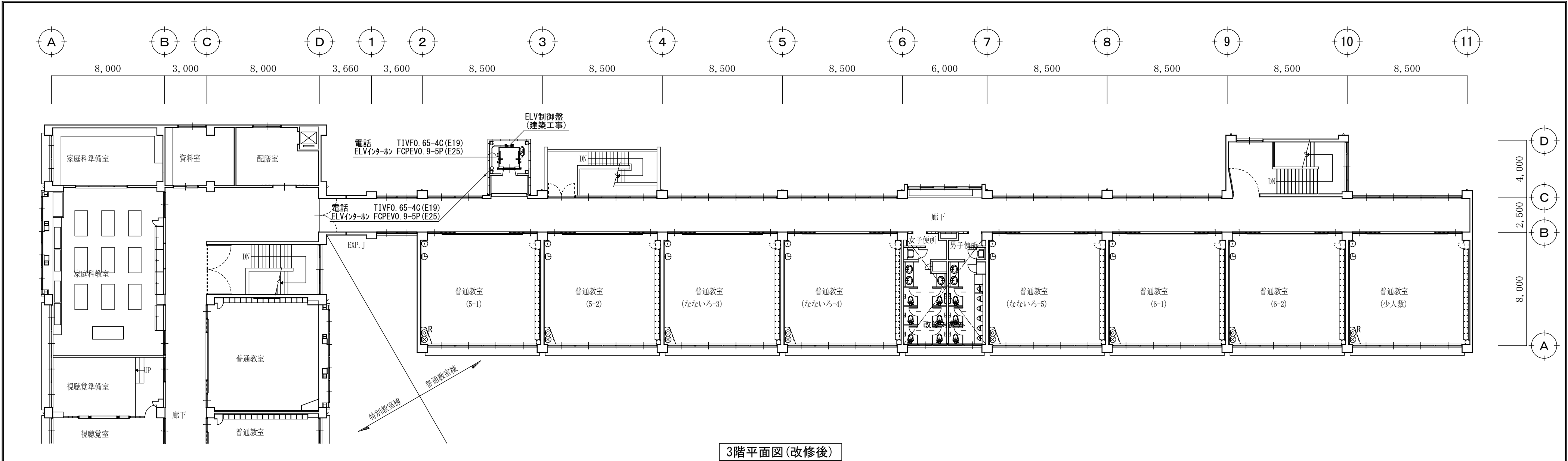
| 凡例     |                                                         |       |
|--------|---------------------------------------------------------|-------|
| 記号     | 名称                                                      | 備考    |
| [E]    | 電話主装置                                                   | 既設再使用 |
| ⊗      | カバープレート                                                 | 脱着    |
| ⌚      | 子時計                                                     | 脱着    |
| ①      | インターホン機                                                 | 脱着    |
| ⊙      | 直列ユニット 中間                                               | 脱着    |
| ⊙ R    | 直列ユニット 端末                                               | 脱着    |
| □ CB   | コーナーボックス                                                | 新設    |
| □ JB   | ジャンクションボックス                                             | 新設    |
| □      | アクトレイトボックス                                              | 新設    |
| ☒ 222C | プルボックス SS200×200×200C                                   | 新設    |
| ⌘      | 防火区画貫通処理                                                | 新設    |
|        | 国土交通大臣認定工法による                                           |       |
|        | 参考:PS060FL-0682、PS060WL-0866、PS060WL-0695、PS060WL-0694等 |       |
| ★      | 既設壁貫通補修                                                 | 新設    |
| ②      | エレベーター用インターホン機                                          | 建築工事  |

| ■ : NOTE |  |
|----------|--|
|          |  |
|          |  |
|          |  |

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社

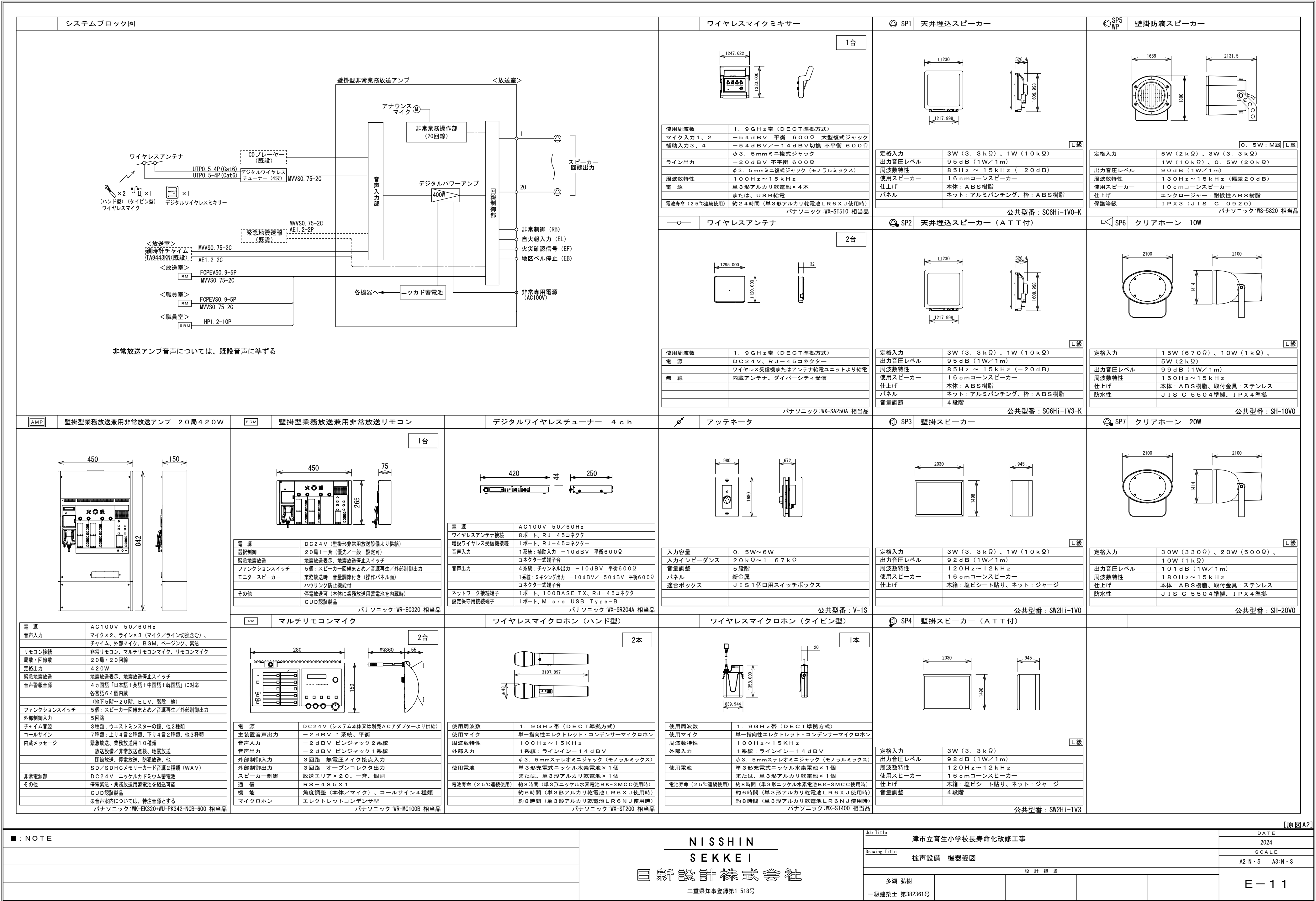
三重県知事登録第1-518号

| Job Title        |  | DATE              |  |
|------------------|--|-------------------|--|
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  | 2024              |  |
| Drawing Title    |  | SCALE             |  |
| 弱電設備 1階平面図       |  | A2:1/300 A3:1/420 |  |
| 設計担当             |  | E-09              |  |
| 多湖 弘樹            |  |                   |  |
| 一級建築士 第382361号   |  |                   |  |



[原図A2]

|          |                                                 |  |  |  |                |                  |  |  |  |       |                   |
|----------|-------------------------------------------------|--|--|--|----------------|------------------|--|--|--|-------|-------------------|
| ■ : NOTE | NISSHIN<br>SEKKEI<br>日新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 |  |  |  | Job Title      | 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  |  |  | DATE  | 2024              |
|          |                                                 |  |  |  | Drawing Title  | 弱電設備 2・3階平面図     |  |  |  | SCALE | A2:1/200 A3:1/280 |
|          |                                                 |  |  |  | 多湖 弘樹          |                  |  |  |  | E-10  |                   |
|          |                                                 |  |  |  | 一級建築士 第382361号 |                  |  |  |  |       |                   |

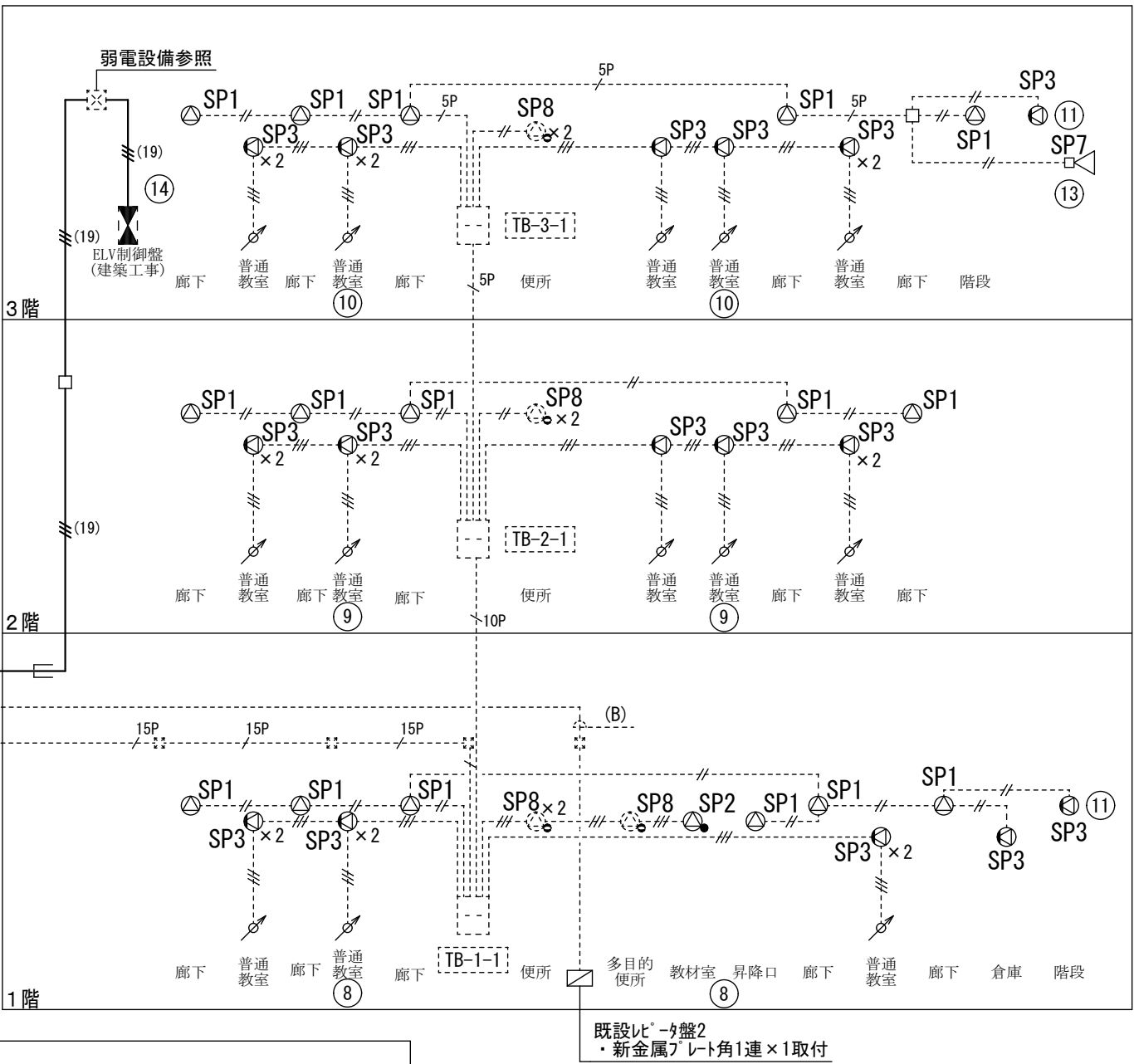
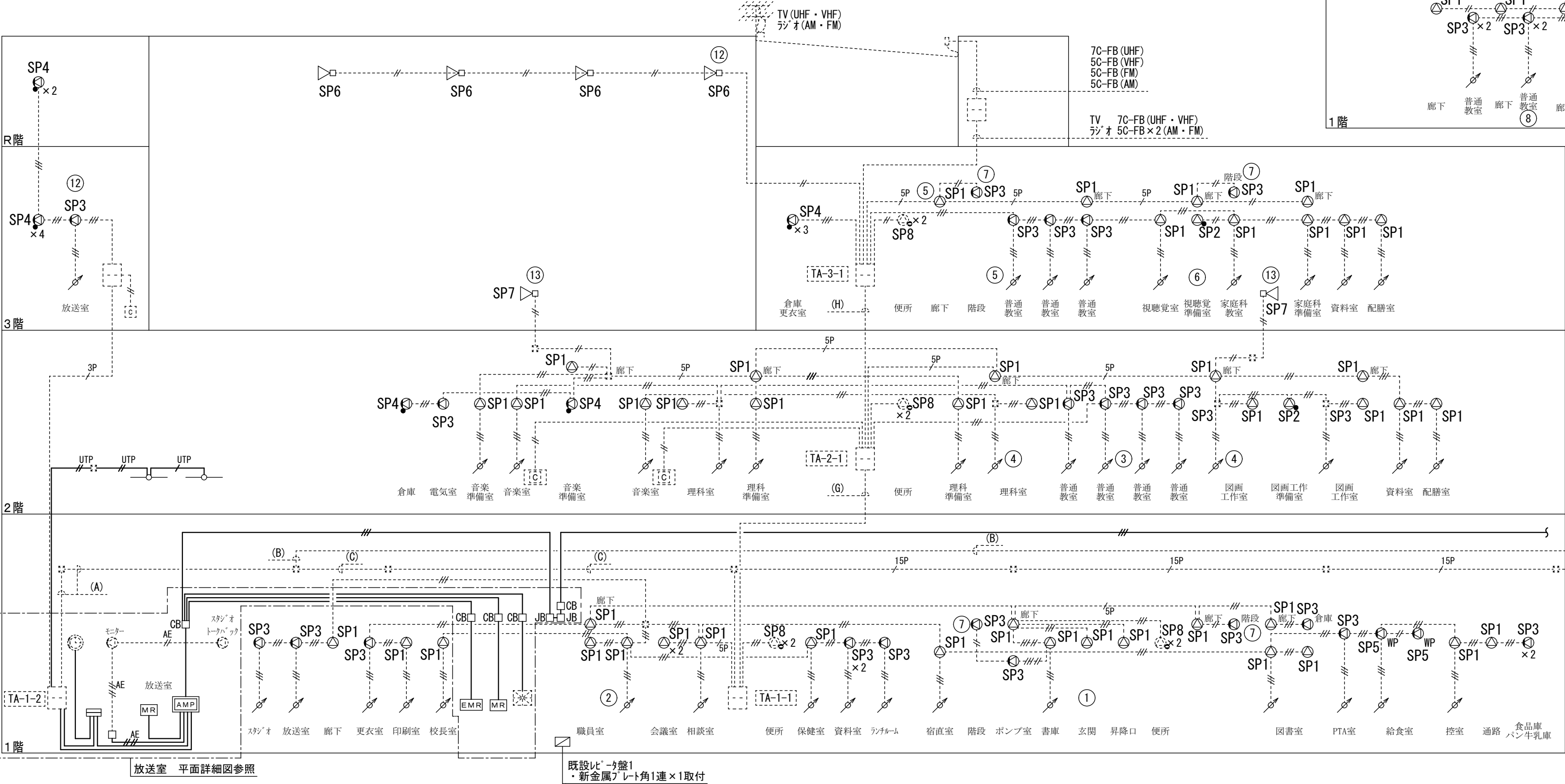


| 凡例 |                              |       |
|----|------------------------------|-------|
| 記号 | 名称                           | 備考    |
|    | 天井埋込スピーカー                    | 更新    |
|    | 天井埋込スピーカー ATT付               | 更新    |
|    | 壁掛スピーカー                      | 更新    |
|    | 壁掛スピーカー ATT付                 | 更新    |
|    | 壁掛スピーカー 防滴型                  | 更新    |
|    | ホーン型スピーカー                    | 更新    |
|    | アツテナ                         | 更新    |
|    | ワイレスアツテナ                     | 更新    |
|    | 非常リモン                        | 更新    |
|    | 非常業務兼用壁掛アンプ                  | 更新    |
|    | マルチモニター                      | 更新    |
|    | 防火区画貫通処理                     | 新設    |
|    | 国土交通大臣認定工法による                |       |
|    | 参考:PS060FL-0682、PS060WL-0866 |       |
|    | 、PS060WL-0695、PS060WL-0694等  |       |
|    | 既設壁貫通補修                      | 新設    |
|    | 電源制御器                        | 既設再使用 |
|    | 親時計                          | 既設再使用 |
|    | 火報受信機 (P型1級30回線)             | 火報参照  |
|    | 既設天井埋込スピーカー                  | 既設再使用 |

| 図中記入なき配線は下記とする |                             |
|----------------|-----------------------------|
|                | HP1. 2-3C                   |
|                | HP1. 2-3C (19)              |
|                | UTP0. 5-4P (CAT5e) (25)     |
|                | UTP0. 5-4P (CAT5e) × 2 (31) |
|                | HP1. 2-2C                   |
|                | HP1. 2-3C                   |
|                | HP1. 2-4C                   |
|                | HP1. 2-3P                   |
|                | HP1. 2-5P                   |
|                | HP1. 2-15P                  |
|                | HP1. 2-10P                  |
|                | AE1. 2-2C                   |
|                | AE1. 2-4C                   |

| 図中 (A) ~ (J) は、下記の通り |        |                         |      |
|----------------------|--------|-------------------------|------|
| 記号                   | 名称     | 配線                      | 備考   |
| (A)                  | スピーカー盤 | AE1. 2-4C + L-4E6AT     | 既設残置 |
|                      | TV     | 7C-FB × 2               | 既設残置 |
|                      | ラジオ    | 5C-FB × 2               | 既設残置 |
|                      | 放送     | HP1. 2-15P + HP1. 2-10P | 既設残置 |
|                      | EMG    | HP1. 2-2C               | 既設残置 |
| (B)                  | スピーカー盤 | AE1. 2-4C + L-4E6AT     | 既設残置 |
|                      | TV     | 7C-FB × 2               | 既設残置 |
| (C)                  | ラジオ    | 5C-FB × 2               | 既設残置 |
|                      | 放送     | HP1. 2-15P + HP1. 2-10P | 既設残置 |
|                      | EMG    | HP1. 2-2C               | 既設残置 |

- ・鳴動方式は、一斉鳴動とする。
- ・電源は、既設専用電源を再使用とする。



非常放送アンプ容量計算表

| 記号     | 姿図符号 | 数量  |     |     |     |    | 定格出力 (W) | W計  |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|----|----------|-----|
|        |      | 1 F | 2 F | 3 F | R F | 計  |          |     |
| SP1    |      | 27  | 21  | 14  |     | 62 | 1        | 62  |
| SP2    |      | 1   | 1   | 1   |     | 3  | 1        | 3   |
| SP3    |      | 21  | 13  | 15  |     | 49 | 1        | 49  |
| SP4    |      |     | 2   | 7   | 2   | 11 | 1        | 11  |
| WP SP5 |      | 2   |     |     |     | 2  | 5        | 10  |
| SP6    |      |     |     |     | 4   | 4  | 10       | 40  |
| SP7    |      |     |     | 3   |     | 3  | 20       | 60  |
| SP8    |      | 7   | 4   | 4   |     | 15 | 1        | 15  |
| 予備     |      |     |     |     | 3   | 3  | 3        | 9   |
| 予備     |      |     |     |     | 2   | 2  | 10       | 20  |
| 総計     |      |     |     |     |     |    |          | 279 |

- 以降普通教室棟へ
- 以降普通教室棟へ
- 以降普通教室棟へ

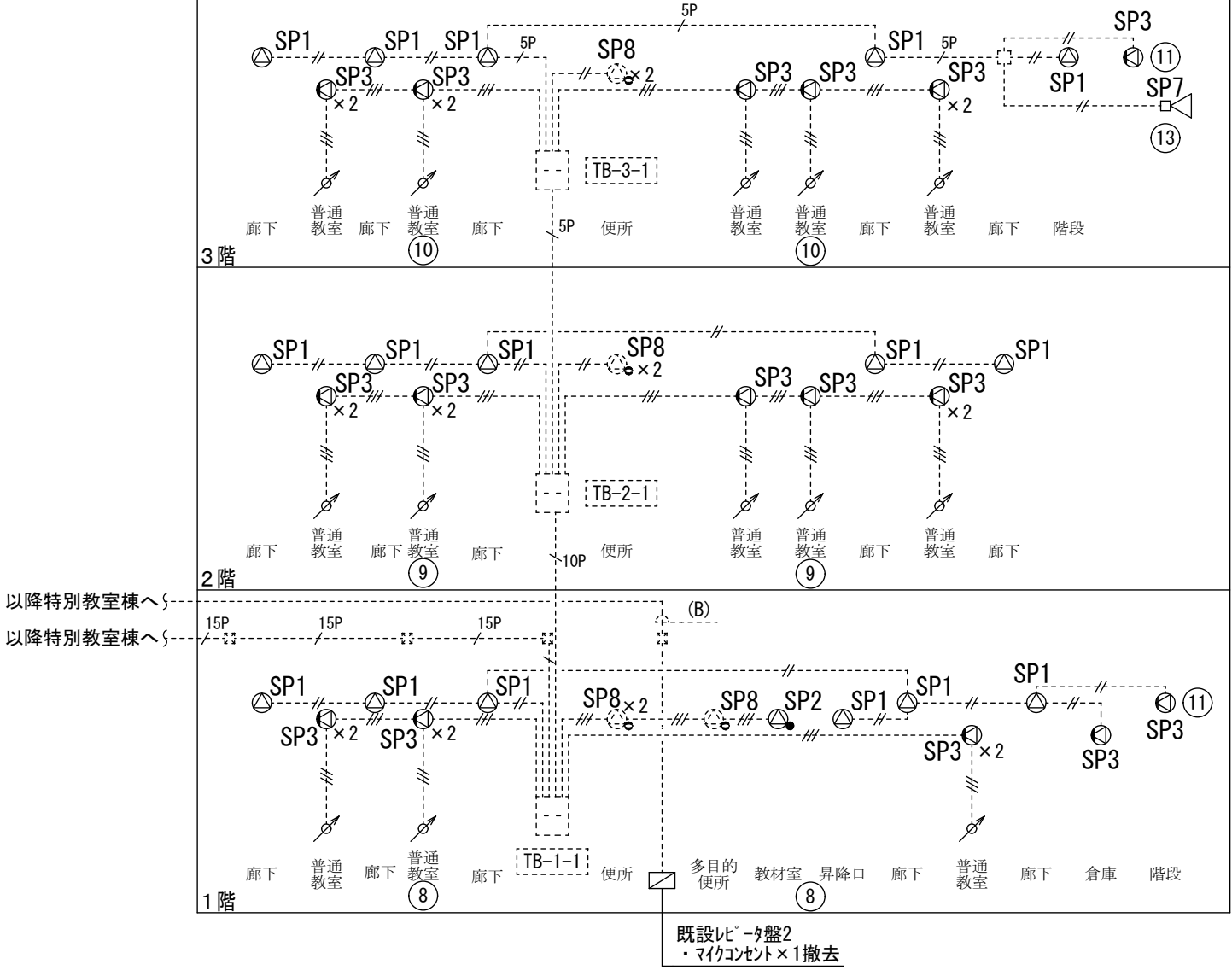
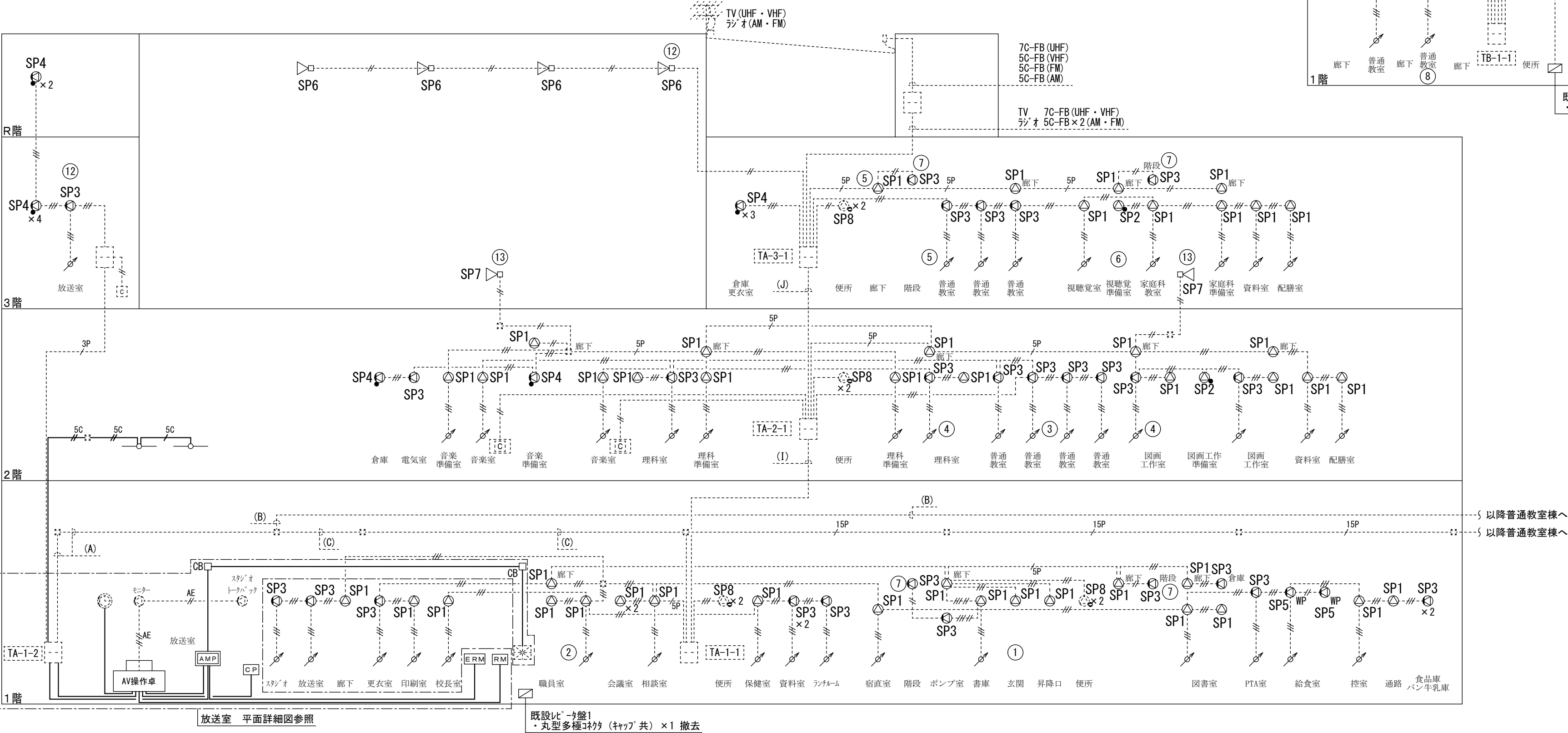
〔原図A2〕

|          |                                                 |  |                  |  |  |  |  |               |  |
|----------|-------------------------------------------------|--|------------------|--|--|--|--|---------------|--|
| ■ : NOTE | NISSHIN<br>SEKKEI<br>目新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 |  | Job Title        |  |  |  |  | DATE          |  |
|          |                                                 |  | 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  |  |  |  | 2024          |  |
|          |                                                 |  | Drawing Title    |  |  |  |  | SCALE         |  |
|          |                                                 |  | 拡声設備 系統図(改修後)    |  |  |  |  | A2:N/S A3:N/S |  |
|          |                                                 |  | 設 計 担 当          |  |  |  |  | E - 1 2       |  |
|          |                                                 |  | 多湖 弘樹            |  |  |  |  |               |  |
|          |                                                 |  | 一級建築士 第382361号   |  |  |  |  |               |  |

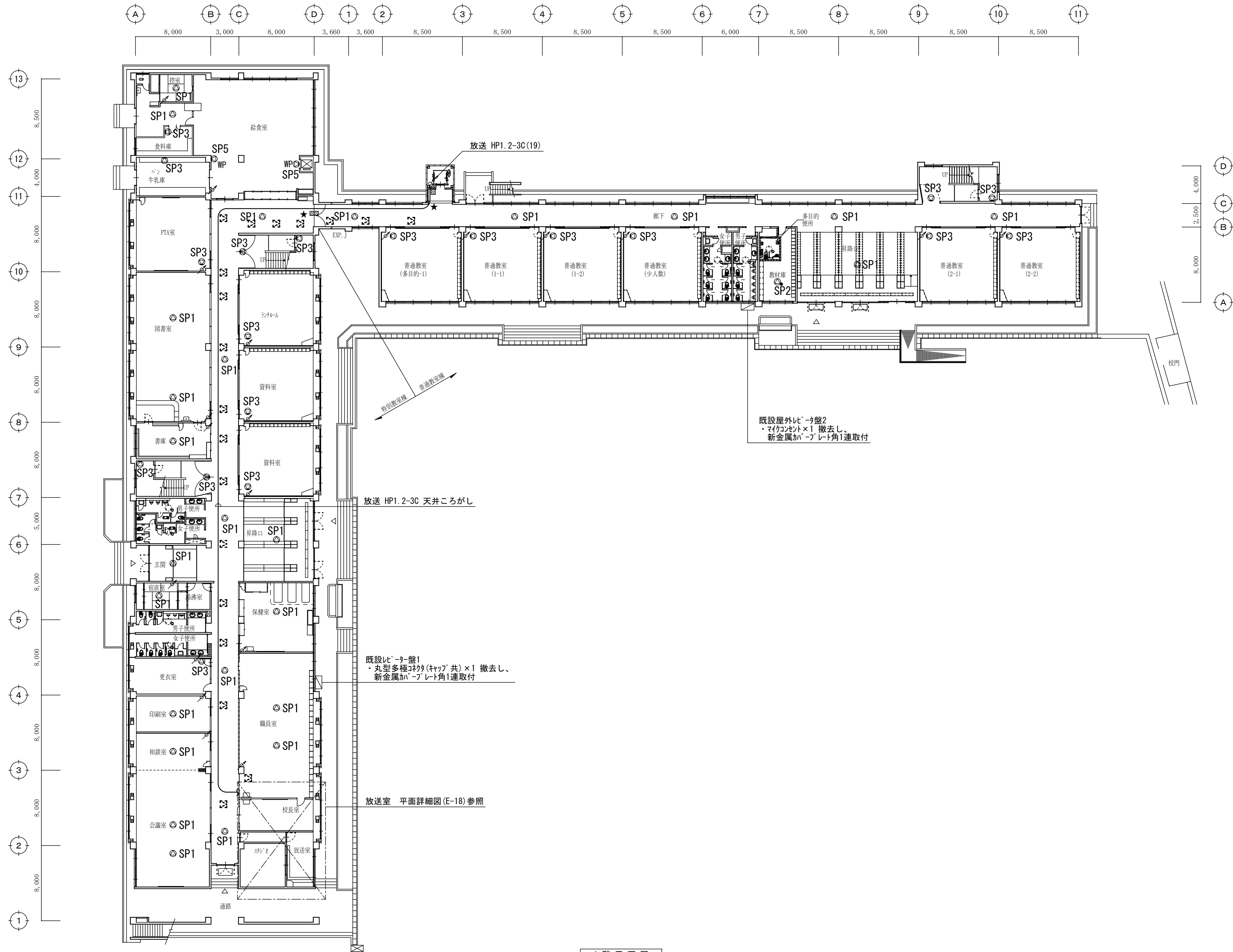
| 凡例 |                  |       |
|----|------------------|-------|
| 記号 | 名称               | 備考    |
|    | 天井埋込スピーカー        | 撤去    |
|    | 天井埋込スピーカー ATT付   | 撤去    |
|    | 壁掛スピーカー          | 撤去    |
|    | 壁掛スピーカー ATT付     | 撤去    |
|    | 壁掛スピーカー 防滴型      | 撤去    |
|    | ホーン型スピーカー        | 撤去    |
|    | アンテナ             | 撤去    |
|    | ワイヤレスアンテナ        | 撤去    |
|    | 非常リモコン           | 撤去    |
|    | 非常業務兼用ラック形アンプ    | 撤去    |
|    | リモコンマイク          | 撤去    |
|    | カメラ接続盤           | 撤去    |
|    | 電源制御器            | 既設再使用 |
|    | 親時計              | 既設再使用 |
|    | 火報受信機 (P型1級30回線) | 火報参照  |
|    | 既設天井埋込スピーカー      | 既設再使用 |

| 図中記入なき配線は下記とする     |            |    |
|--------------------|------------|----|
|                    | AE1. 2-2C  | 撤去 |
|                    | 5C-FB      | 撤去 |
|                    | 5C-FB×2    | 撤去 |
|                    | HP1. 2-2C  |    |
|                    | HP1. 2-3C  |    |
|                    | HP1. 2-4C  |    |
|                    | HP1. 2-3P  |    |
|                    | HP1. 2-5P  |    |
|                    | HP1. 2-15P |    |
|                    | HP1. 2-10P |    |
|                    | AE1. 2-2C  |    |
|                    | AE1. 2-4C  |    |
| 細点線表示の配線は、既設再使用を示す |            |    |

| 図中 (A) ～ (C) は、下記の通り |        |                         |      |
|----------------------|--------|-------------------------|------|
| 記号                   | 名称     | 配線                      | 備考   |
| (A)                  | レシーバー盤 | AE1. 2-4C + L-4E6AT     | 既設残置 |
|                      | TV     | 7C-FB×2                 | 既設残置 |
|                      | ラジオ    | 5C-FB×2                 | 既設残置 |
|                      | 放送     | HP1. 2-15P + HP1. 2-10P | 既設残置 |
|                      | EMG    | HP1. 2-2C               | 既設残置 |
| (B)                  | レシーバー盤 | AE1. 2-4C + L-4E6AT     | 既設残置 |
|                      | TV     | 7C-FB×2                 | 既設残置 |
| (C)                  | ラジオ    | 5C-FB×2                 | 既設残置 |
|                      | 放送     | HP1. 2-15P + HP1. 2-10P | 既設残置 |
|                      | EMG    | HP1. 2-2C               | 既設残置 |



|        |                                                                      |                                                   |  |  |  |                                           |  |
|--------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--|--|--|-------------------------------------------|--|
| : NOTE | <div>NISSHIN<br/>SEKKEI<br/>目新設計株式会社</div> <div>三重県知事登録第1-518号</div> | <div>Job Title</div> <div>津市立育生小学校長寿命化改修工事</div>  |  |  |  | <div>DATE</div> <div>2024</div>           |  |
|        |                                                                      | <div>Drawing Title</div> <div>拡声設備 系統図(改修前)</div> |  |  |  | <div>SCALE</div> <div>A2:N/S A3:N/S</div> |  |
|        |                                                                      | <div>設計担当</div>                                   |  |  |  | <div>E-13</div>                           |  |
|        |                                                                      | <div>多湖 弘樹</div>                                  |  |  |  |                                           |  |
|        |                                                                      | <div>一級建築士 第382361号</div>                         |  |  |  |                                           |  |



1 階 平 面 図

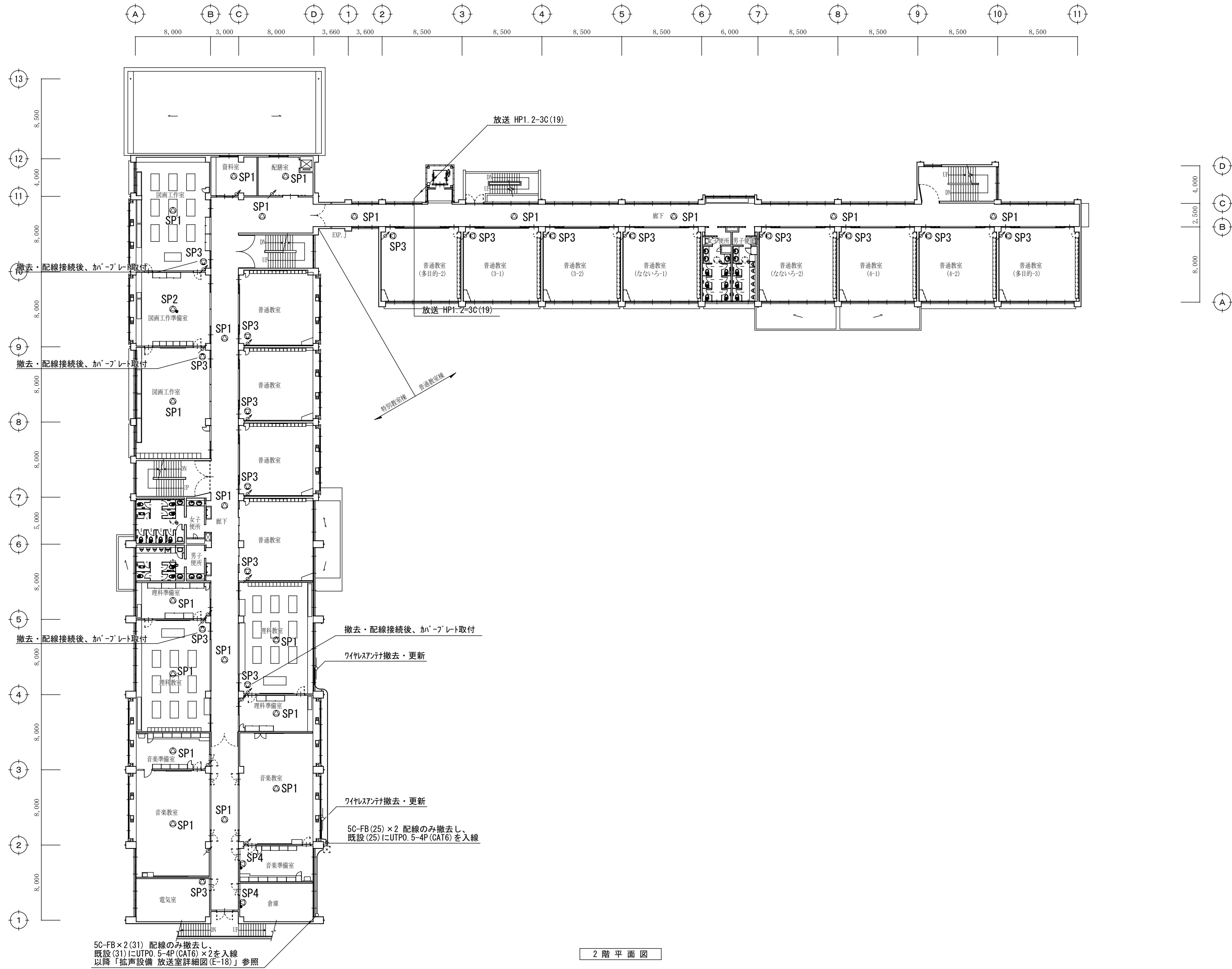
[原図A2]

| ■ : NOTE |  |
|----------|--|
|          |  |
|          |  |
|          |  |

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

| Job Title         |  | DATE              |  |
|-------------------|--|-------------------|--|
| 津市立育生小学校校長寿命化改修工事 |  | 2024              |  |
| Drawing Title     |  | SCALE             |  |
| 拡声設備 1階平面図        |  | A2:1/300 A3:1/420 |  |
| 設計担当              |  | E-14              |  |
| 多湖 弘樹             |  |                   |  |
| 一級建築士 第382361号    |  |                   |  |



5C-FB×2(31) 配線のみ撤去し、  
既設(31)にUTP0.5-4P(CAT6)×2を入線  
以降「拡声設備 放送室詳細図(E-18)」参照

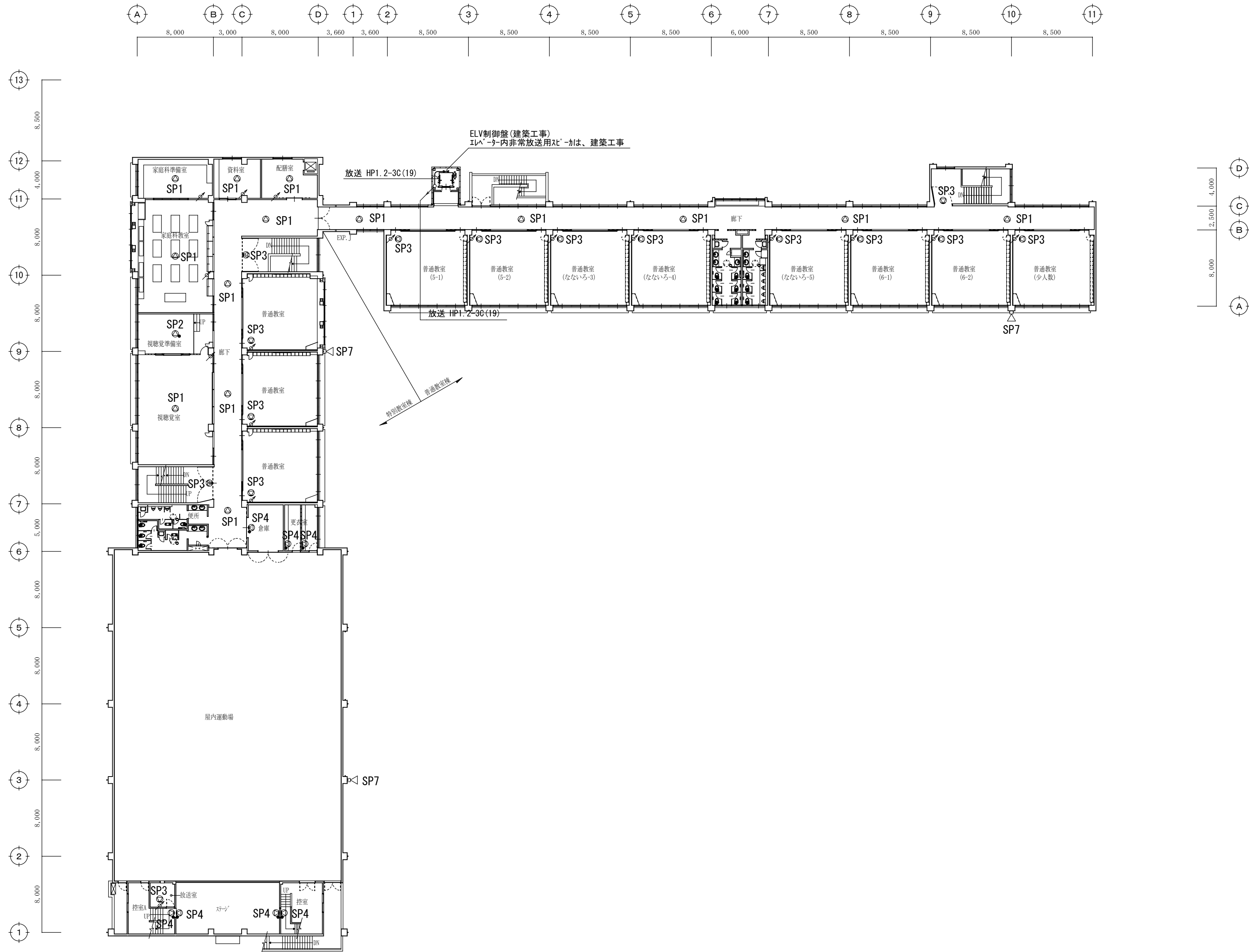
2 階 平 面 図

| ■ : NOTE |  |
|----------|--|
|          |  |
|          |  |
|          |  |

NISSHIN  
SEKKEI  
日新設計株式会社

三重県知事登録第1-518号

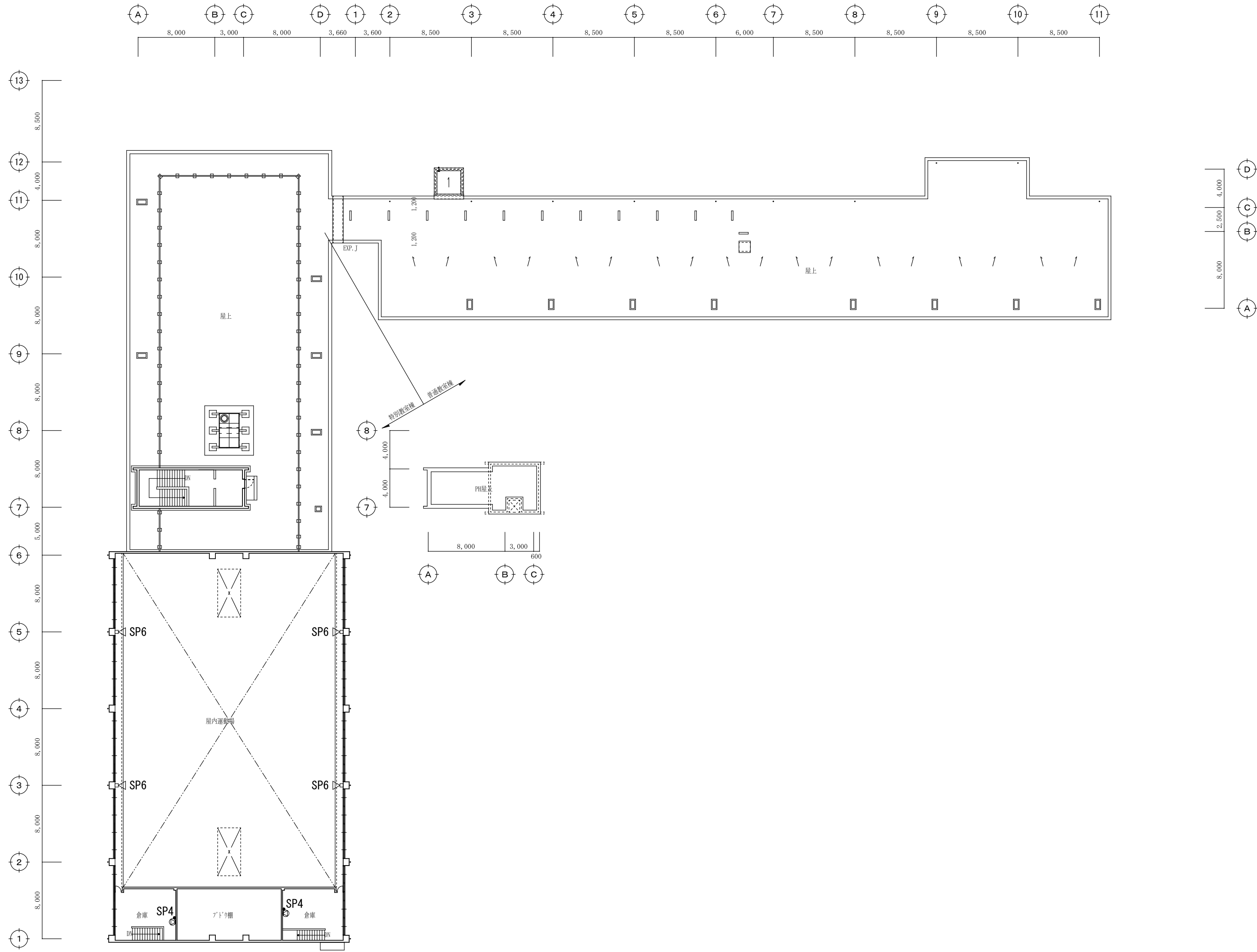
| Job Title        |  | DATE              |  |
|------------------|--|-------------------|--|
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  | 2024              |  |
| Drawing Title    |  | SCALE             |  |
| 拡声設備 2階平面図       |  | A2:1/300 A3:1/420 |  |
|                  |  | 設計担当              |  |
| 多湖 弘樹            |  |                   |  |
| 一級建築士 第382361号   |  |                   |  |
| E - 1 5          |  |                   |  |



3 階 平 面 図

[原図A2]

|          |                                                 |                            |  |                         |
|----------|-------------------------------------------------|----------------------------|--|-------------------------|
| ■ : NOTE | NISSHIN<br>SEKKEI<br>日新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 | Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  | DATE 2024               |
|          |                                                 | Drawing Title 拡声設備 3階平面図   |  | SCALE A2:1/300 A3:1/420 |
|          |                                                 | 多湖 弘樹                      |  | E - 1 6                 |
|          |                                                 | 一級建築士 第382361号             |  |                         |



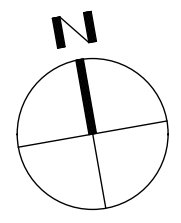
R 階 平 面 図

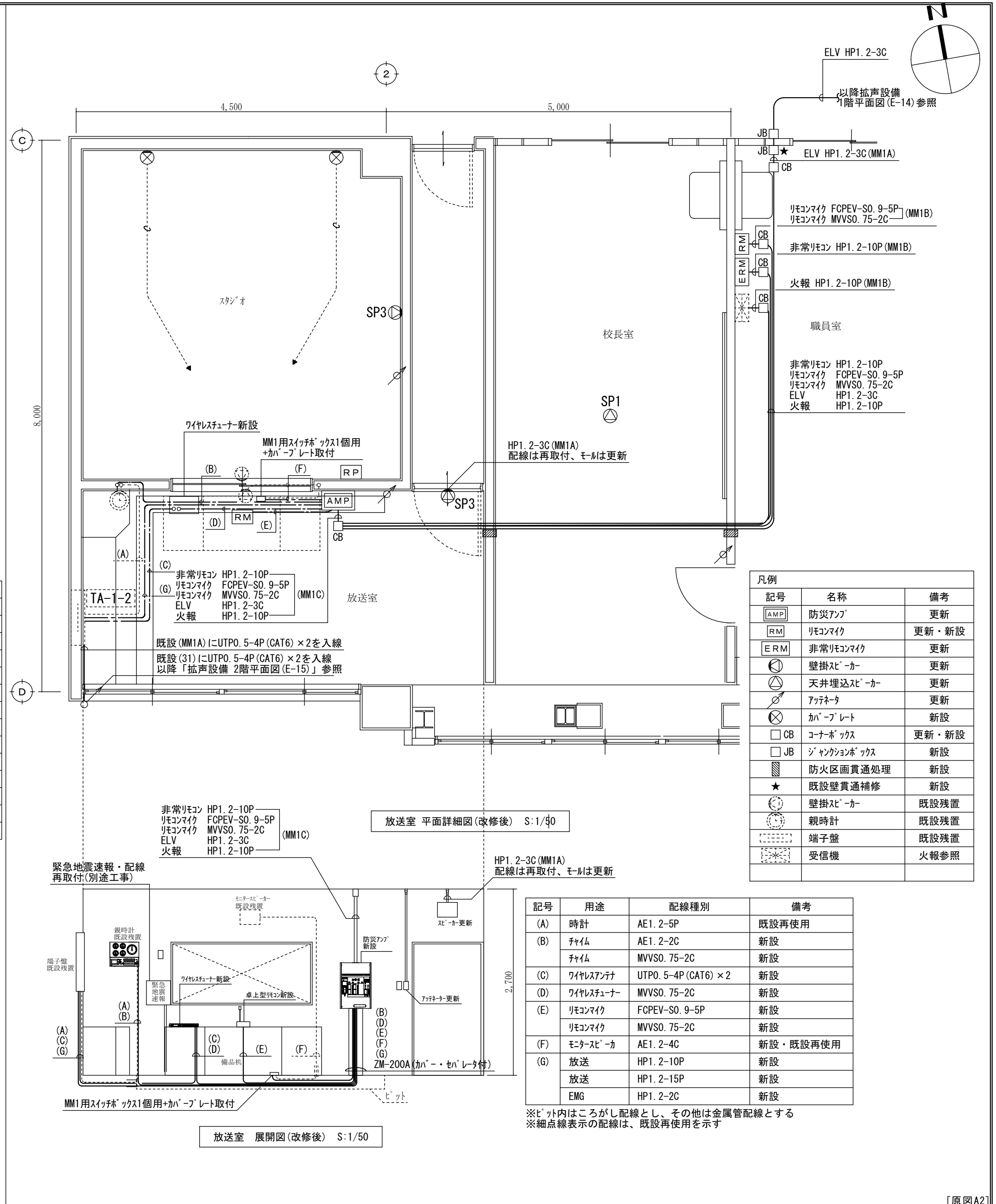
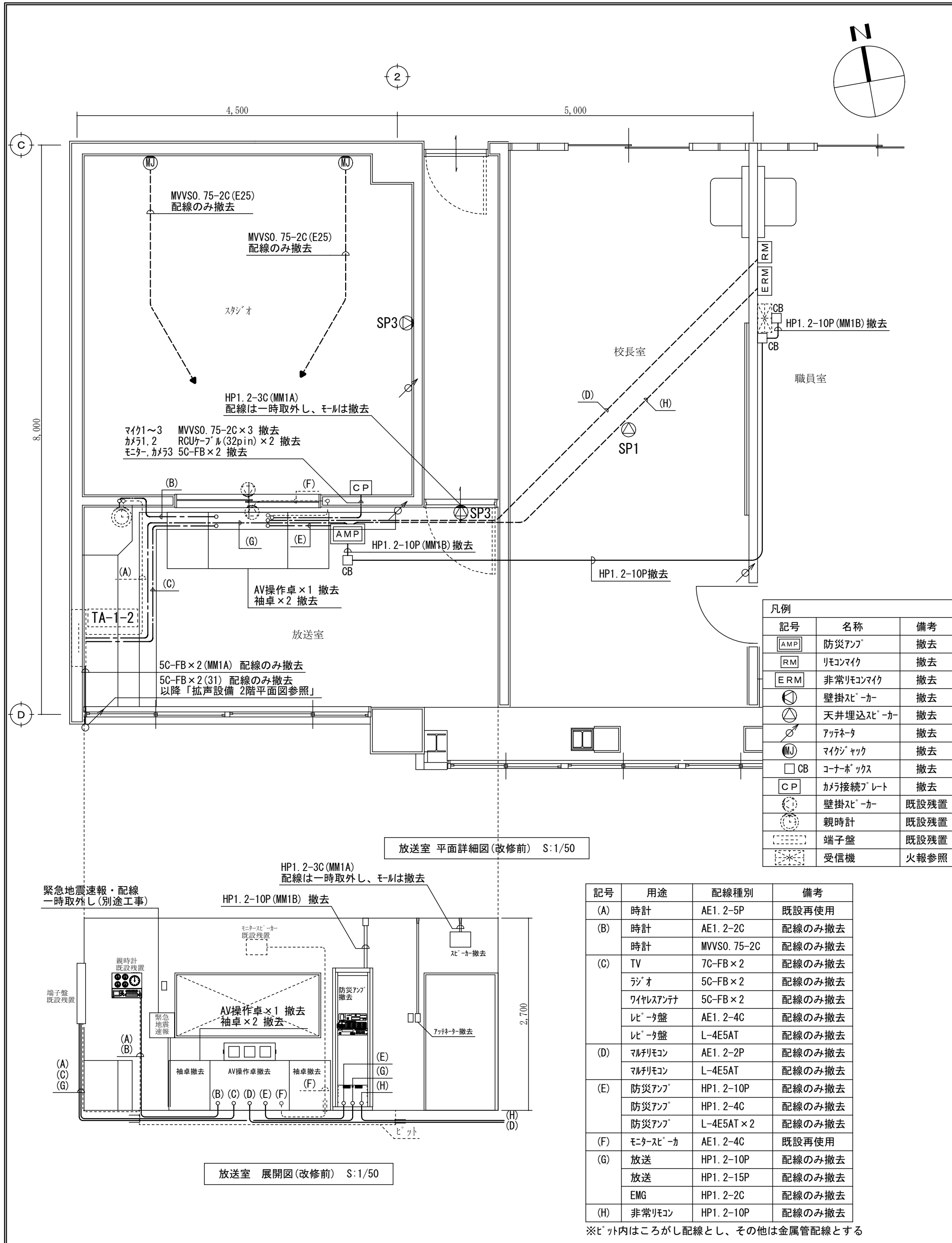
[原図A2]

|          |
|----------|
| ■ : NOTE |
|          |
|          |
|          |

NISSHIN  
SEKKEI  
目新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

|                            |  |                         |  |
|----------------------------|--|-------------------------|--|
| Job Title 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |  | DATE 2024               |  |
| Drawing Title 拡声設備 R階平面図   |  | SCALE A2:1/300 A3:1/420 |  |
| 多湖 弘樹                      |  |                         |  |
| 一級建築士 第382361号             |  |                         |  |

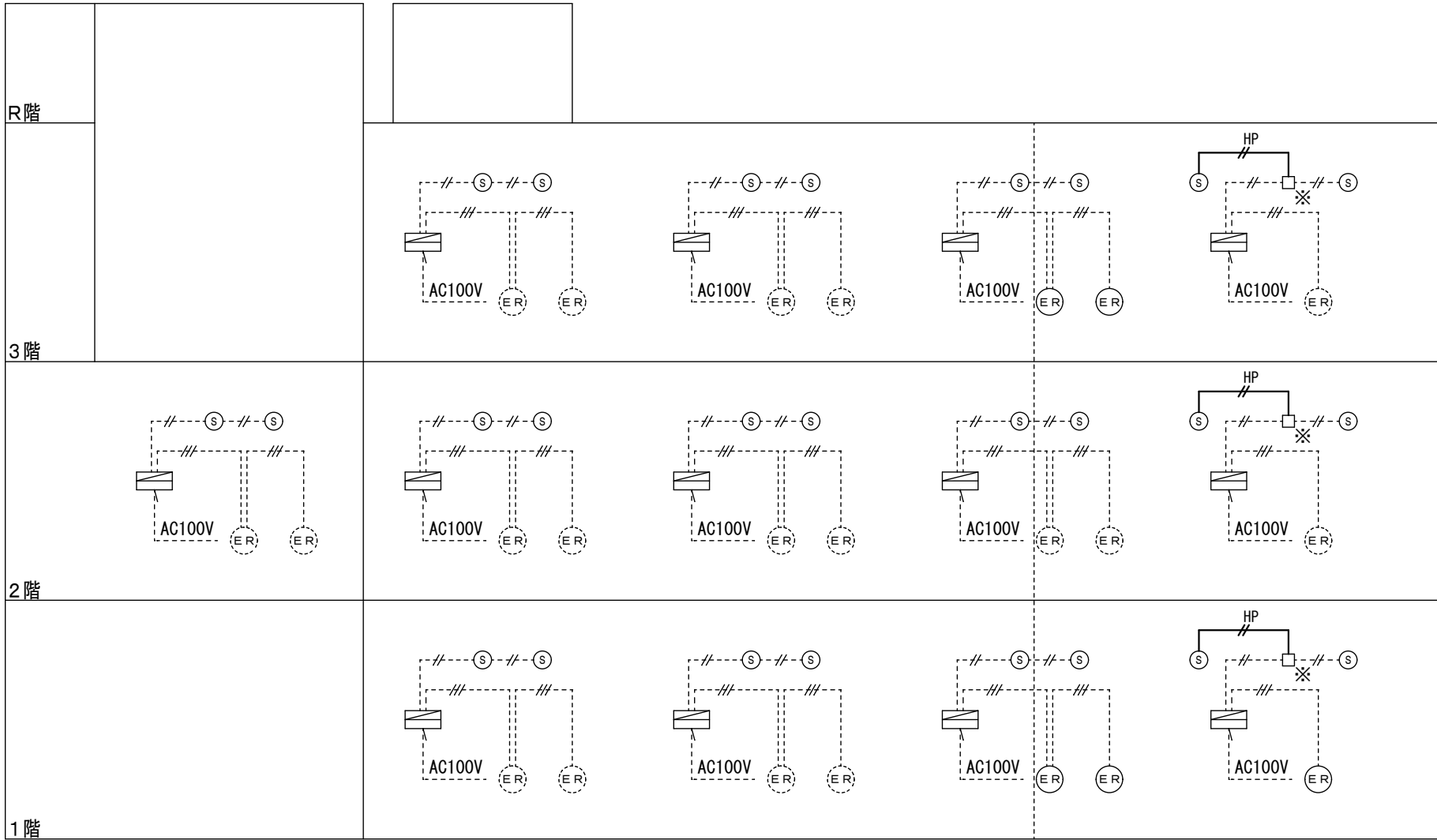




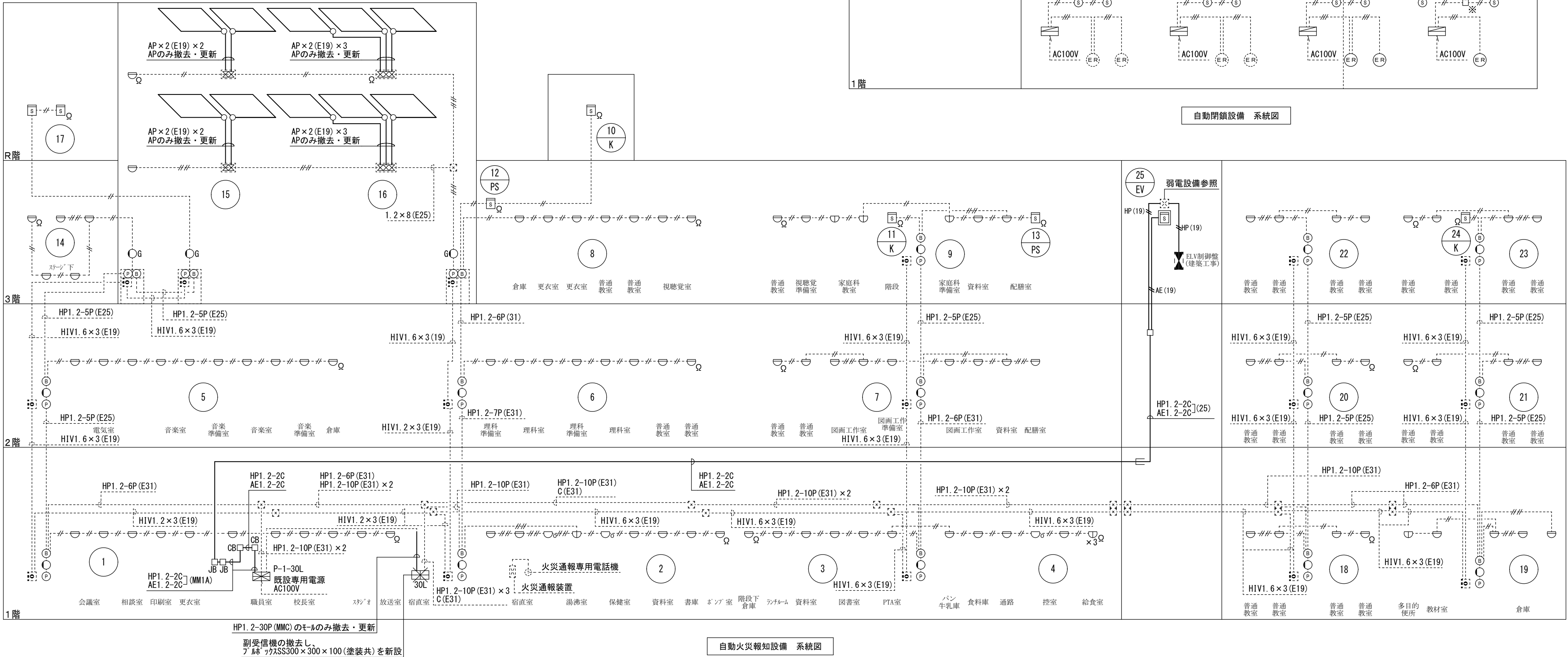
| 凡例              |                     |       |                            |                              |       |
|-----------------|---------------------|-------|----------------------------|------------------------------|-------|
| 記号              | 名称                  | 備考    | 記号                         | 名称                           | 備考    |
|                 | 受信機 P型1級30回線        | 撤去・更新 |                            | 防火区画貫通処理                     | 撤去・更新 |
|                 | 副受信機 30回線           | 撤去    |                            | 国土交通大臣認定工法による                |       |
|                 | 定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器 1種 防水形 | 撤去・更新 |                            | 参考:PS060FL-0682、PS060WL-0866 |       |
|                 | 定温式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器 特種     | 撤去・更新 |                            | 、PS060WL-0695、PS060WL-0694等  |       |
|                 | 差動式ｽﾍﾟｯﾄ型感知器 2種     | 撤去・更新 | ★                          | 既設壁貫通補修                      |       |
|                 | 煙感知器 2種             | 撤去・更新 |                            |                              |       |
|                 | 煙感知器 2種 点検図付        | 撤去・更新 | 図中記入なき配線は下記とする             |                              |       |
|                 | 差動式分布型感知器 検出部       | 撤去・更新 |                            | 1.2×2 (E19)                  |       |
|                 | 終端抵抗                | 撤去・更新 |                            | 1.2×4 (E19)                  |       |
|                 | P型1級発信機             | 撤去・更新 | 配管・配線は、既設再使用を示す            |                              |       |
|                 | 地区音響装置              | 撤去・更新 | 非常放送設備の音声警報及びマイク放送中は地区音響装置 |                              |       |
|                 | 表示灯                 | 撤去・更新 |                            |                              |       |
|                 | 表示灯 ガード付            | 撤去・更新 |                            |                              |       |
|                 | 空気管                 | 撤去・更新 |                            |                              |       |
|                 | 消火栓始動押釦             | 既設再使用 |                            |                              |       |
|                 | 警戒区域番号              |       |                            |                              |       |
| 機器は、全て撤去・更新を示す。 |                     |       |                            |                              |       |

| 凡例 |               |       |
|----|---------------|-------|
| 記号 | 名称            | 備考    |
|    | 連動制御器         | 撤去・更新 |
|    | 煙感知器 3種       | 撤去・更新 |
|    | カバープレート       | 新設    |
|    | 自動閉鎖装置 (タッチ式) | 撤去・更新 |
|    | 自動閉鎖装置 (タッチ式) | 既設再使用 |

| 図中記入なき配線は下記とする        |                 |
|-----------------------|-----------------|
|                       | HP1. 2-2C       |
|                       | HIV1. 6×2 (E19) |
|                       | HIV1. 6×3 (E19) |
| 実線表示の配線は、新設を示す        |                 |
| 細点線表示の配管・配線は、既設再使用を示す |                 |



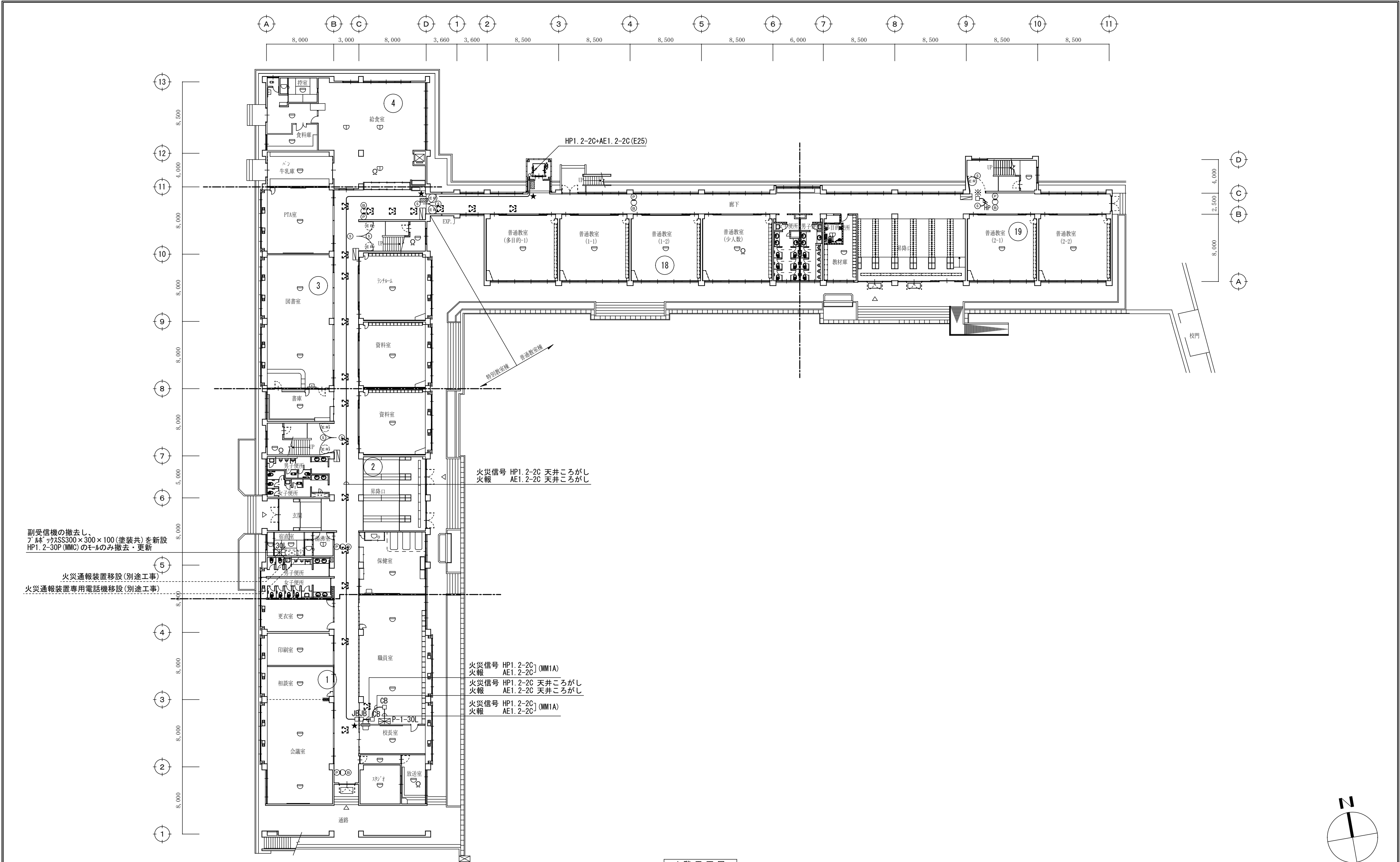
自動閉鎖設備 系統図



自動火災報知設備 系統図

〔原図A2〕

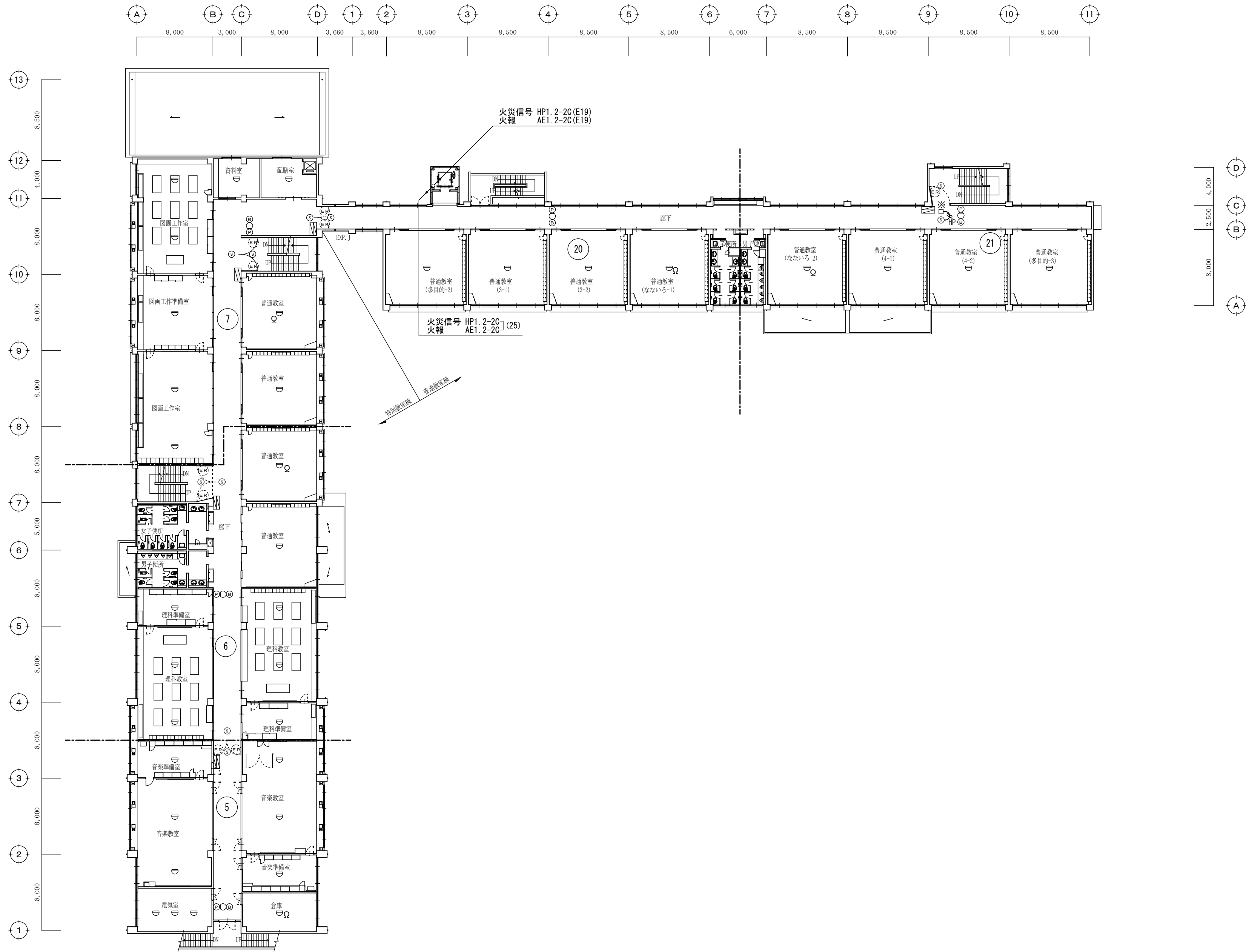
|        |                                                 |  |  |  |                   |  |  |  |               |  |
|--------|-------------------------------------------------|--|--|--|-------------------|--|--|--|---------------|--|
| ■：NOTE | NISSHIN<br>SEKKEI<br>目新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 |  |  |  | Job Title         |  |  |  | DATE          |  |
|        |                                                 |  |  |  | 津市立育生小学校校長寿命化改修工事 |  |  |  | 2024          |  |
|        |                                                 |  |  |  | Drawing Title     |  |  |  | SCALE         |  |
|        |                                                 |  |  |  | 自動火災報知設備 系統図      |  |  |  | A2:N/S A3:N/S |  |
|        |                                                 |  |  |  | 設計担当              |  |  |  | E - 1 9       |  |
|        |                                                 |  |  |  | 多湖 弘樹             |  |  |  |               |  |
|        |                                                 |  |  |  | 一級建築士 第382361号    |  |  |  |               |  |



1 階 平 面 図

[原図A2]

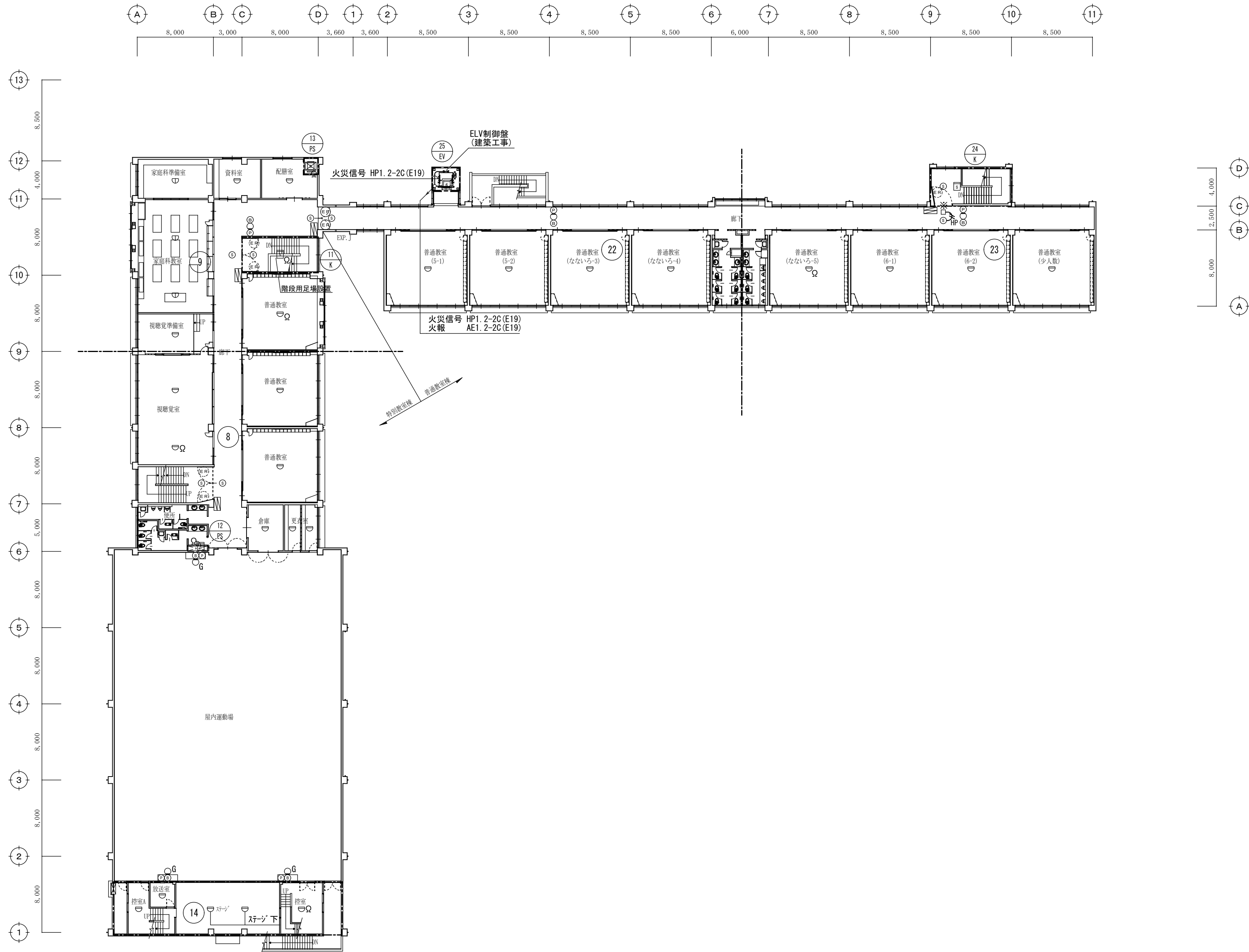
|                |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         |                   |  |
|----------------|-------------------------------------------------|---------------|--|--|--|--|------------------|---------|-------------------|--|
| ■ : NOTE       | NISSHIN<br>SEKKEI<br>日新設計株式会社<br>三重県知事登録第1-518号 | Job Title     |  |  |  |  | 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |         | DATE              |  |
|                |                                                 | Drawing Title |  |  |  |  | 自動火災報知設備 1階平面図   |         | 2024              |  |
|                |                                                 |               |  |  |  |  | 設 計 担 当          |         | SCALE             |  |
|                |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         | A2:1/300 A3:1/420 |  |
| 多湖 弘樹          |                                                 |               |  |  |  |  |                  | E - 2 0 |                   |  |
| 一級建築士 第382361号 |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         |                   |  |
|                |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         |                   |  |
|                |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         |                   |  |
|                |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         |                   |  |
|                |                                                 |               |  |  |  |  |                  |         |                   |  |



2 階 平 面 図

[原図A2]

|          |                                                                      |                                                    |  |  |  |  |                                               |  |
|----------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--|--|--|--|-----------------------------------------------|--|
| ■ : NOTE | <div>NISSHIN<br/>SEKKEI<br/>日新設計株式会社</div> <div>三重県知事登録第1-518号</div> | <div>Job Title</div> <div>津市立育生小学校長寿命化改修工事</div>   |  |  |  |  | <div>DATE</div> <div>2024</div>               |  |
|          |                                                                      | <div>Drawing Title</div> <div>自動火災報知設備 2階平面図</div> |  |  |  |  | <div>SCALE</div> <div>A2:1/300 A3:1/420</div> |  |
|          |                                                                      | <div>設計担当</div>                                    |  |  |  |  | <div>E - 2 1</div>                            |  |
|          |                                                                      | <div>多湖 弘樹</div>                                   |  |  |  |  |                                               |  |
|          |                                                                      | <div>一級建築士 第382361号</div>                          |  |  |  |  |                                               |  |



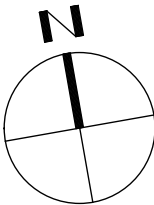
3 階 平 面 図

[原図A2]

| ■ : NOTE |  |
|----------|--|
|          |  |
|          |  |
|          |  |

NISSHIN  
SEKKEI  
目新設計株式会社  
三重県知事登録第1-518号

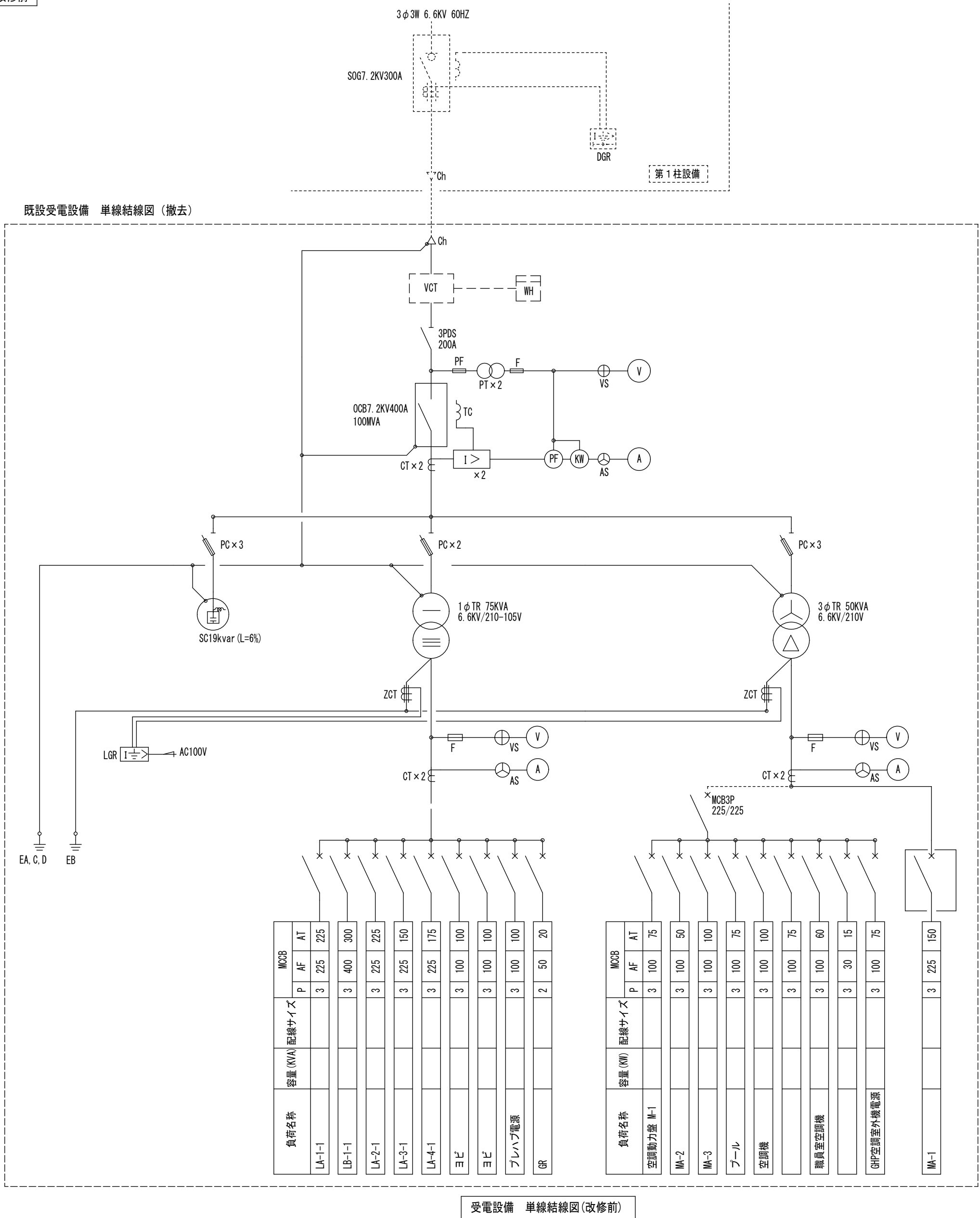
| Job Title             |  | DATE              |  |
|-----------------------|--|-------------------|--|
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事      |  | 2024              |  |
| Drawing Title         |  | SCALE             |  |
| 自動火災報知設備 3階平面図        |  | A2:1/300 A3:1/420 |  |
| Design Responsibility |  | E-22              |  |
| 多湖 弘樹                 |  |                   |  |
| 一級建築士 第382361号        |  |                   |  |



■ : NOTE

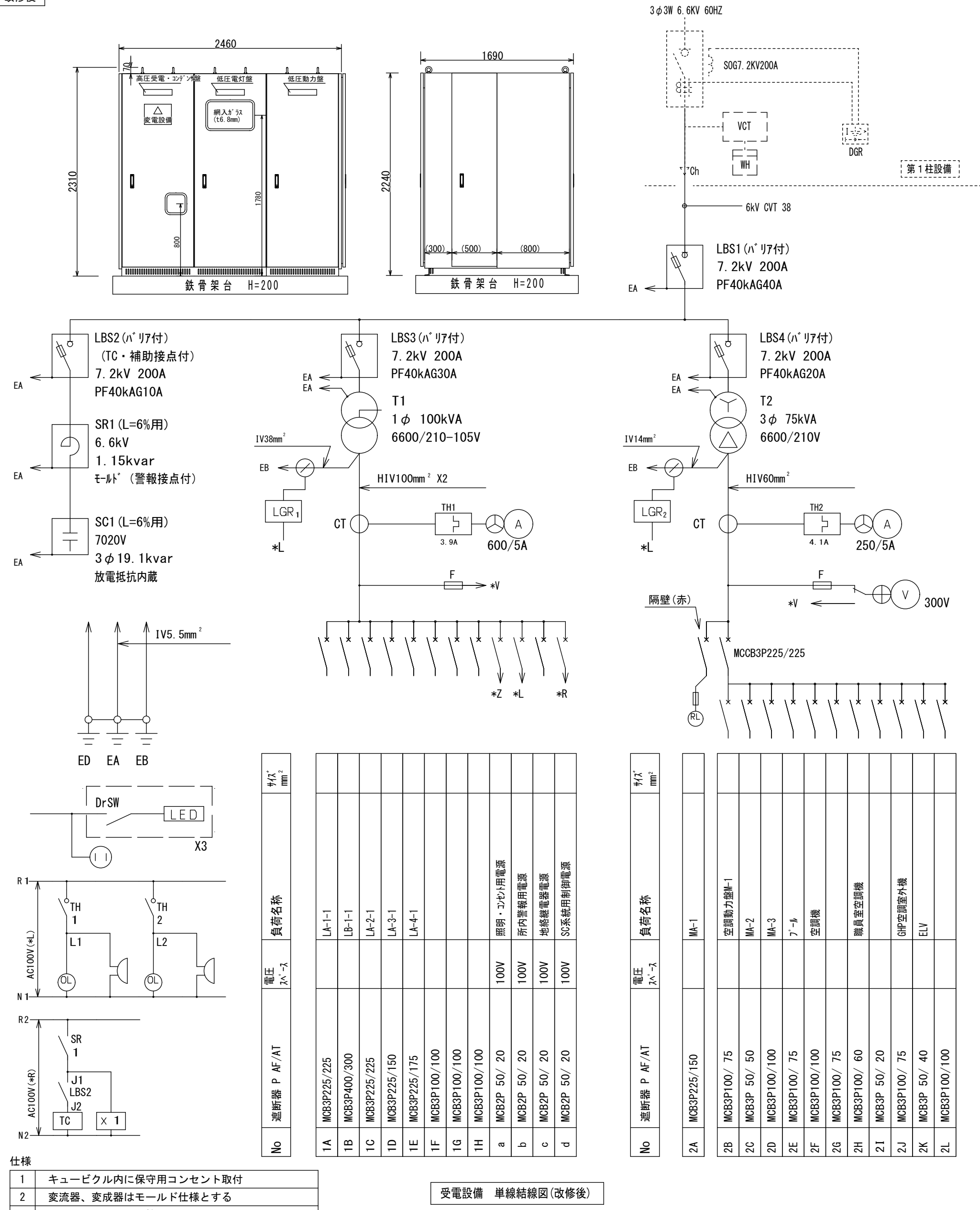
|                         |  |  |  |  |                   |  |
|-------------------------|--|--|--|--|-------------------|--|
| Job Title               |  |  |  |  | DATE              |  |
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事        |  |  |  |  | 2024              |  |
| Drawing Title           |  |  |  |  | SCALE             |  |
| 自動火災報知設備 R階平面図          |  |  |  |  | A2:1/300 A3:1/420 |  |
| 設計担当                    |  |  |  |  | E-23              |  |
| 多湖 弘樹<br>一級建築士 第382361号 |  |  |  |  |                   |  |

改修前



受電設備 単線結線図(改修前)

改修後



受電設備 単線結線図(改修後)

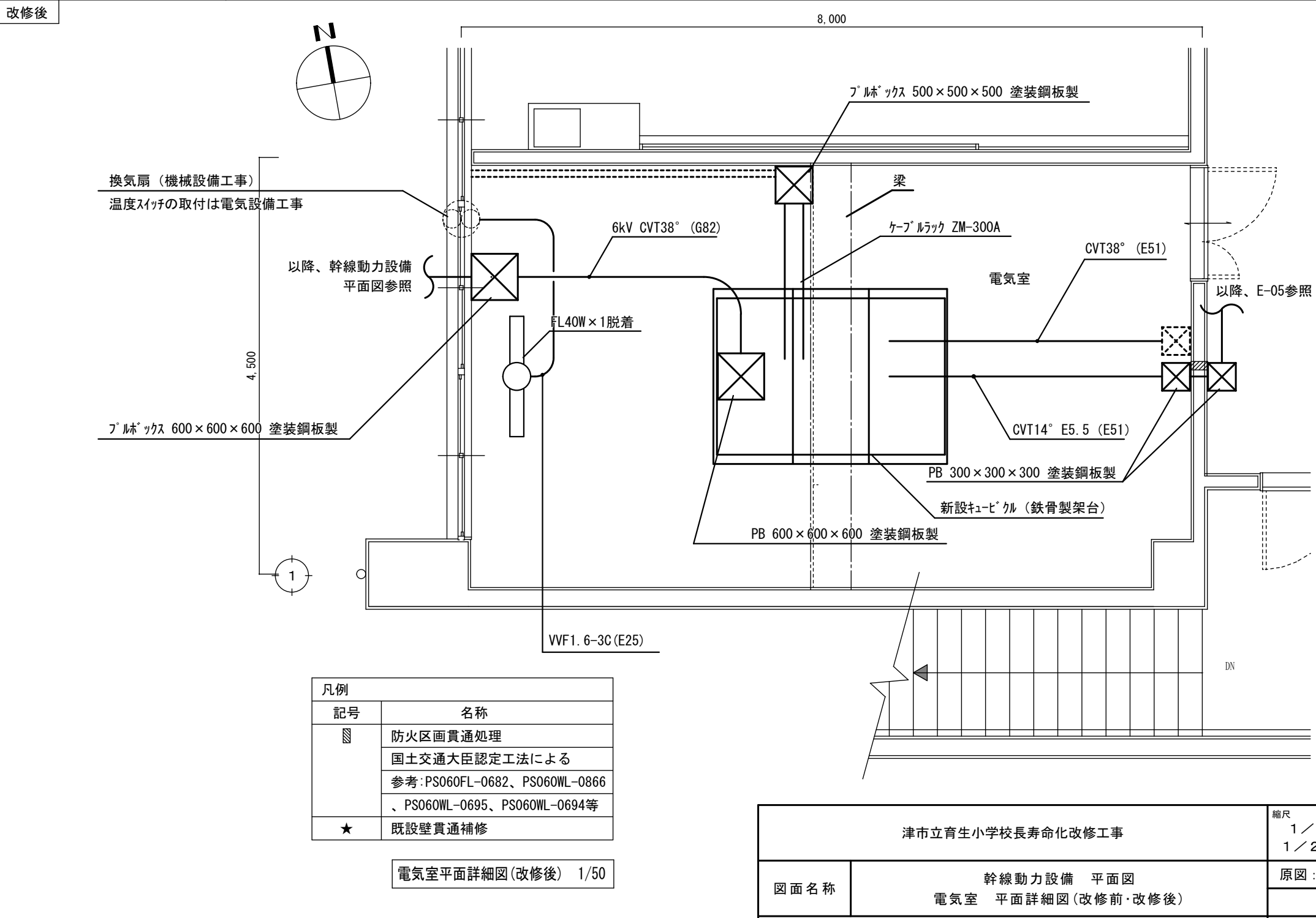
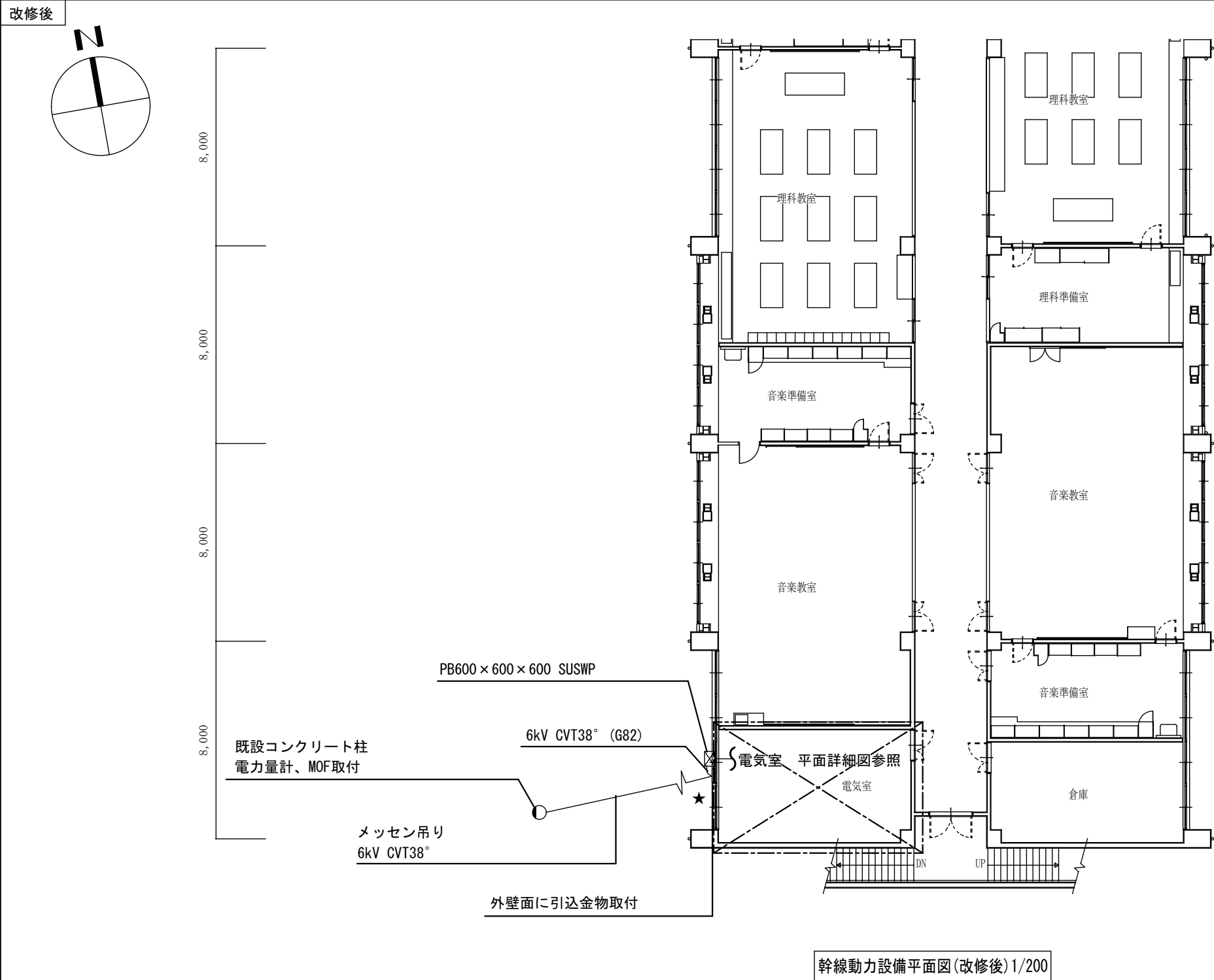
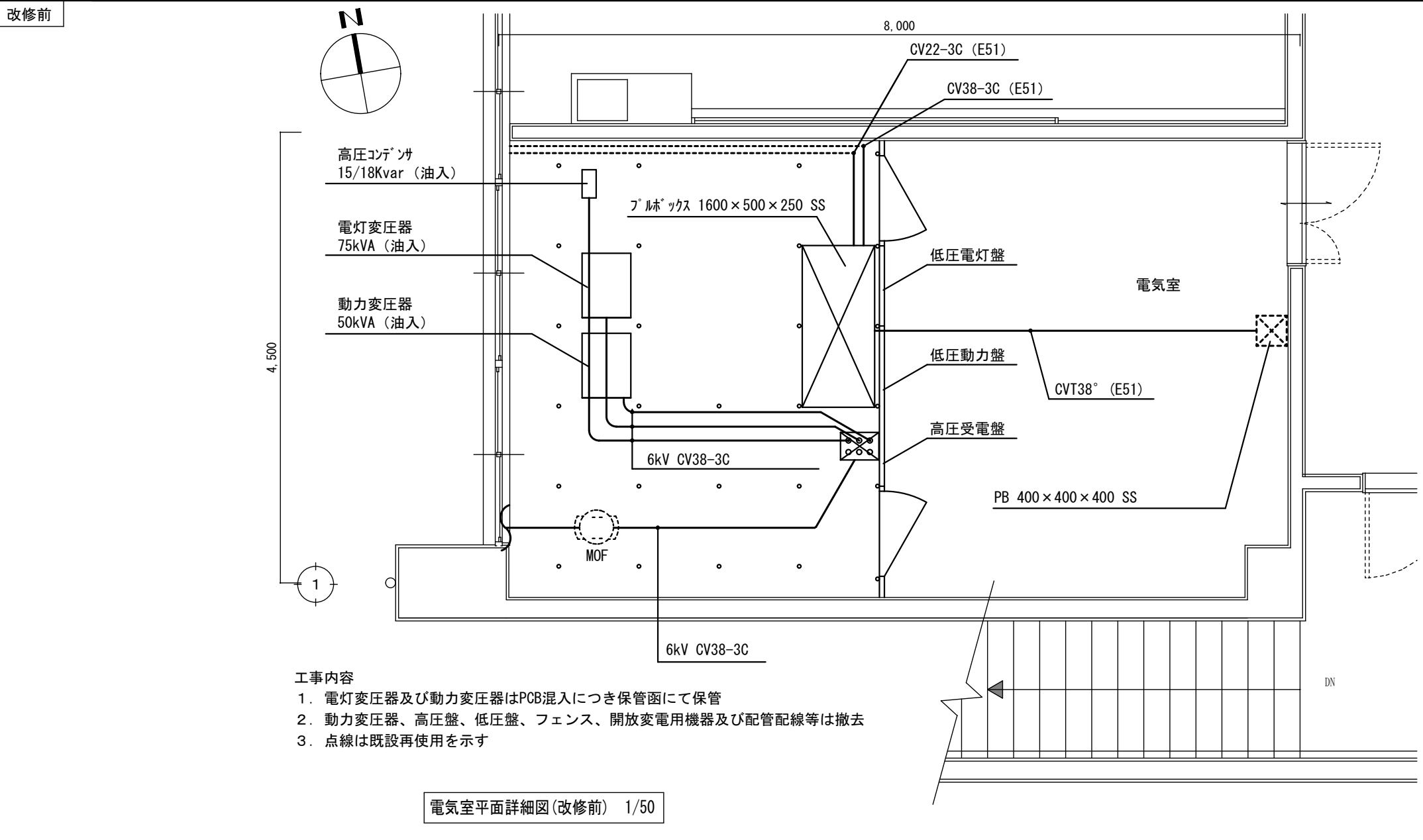
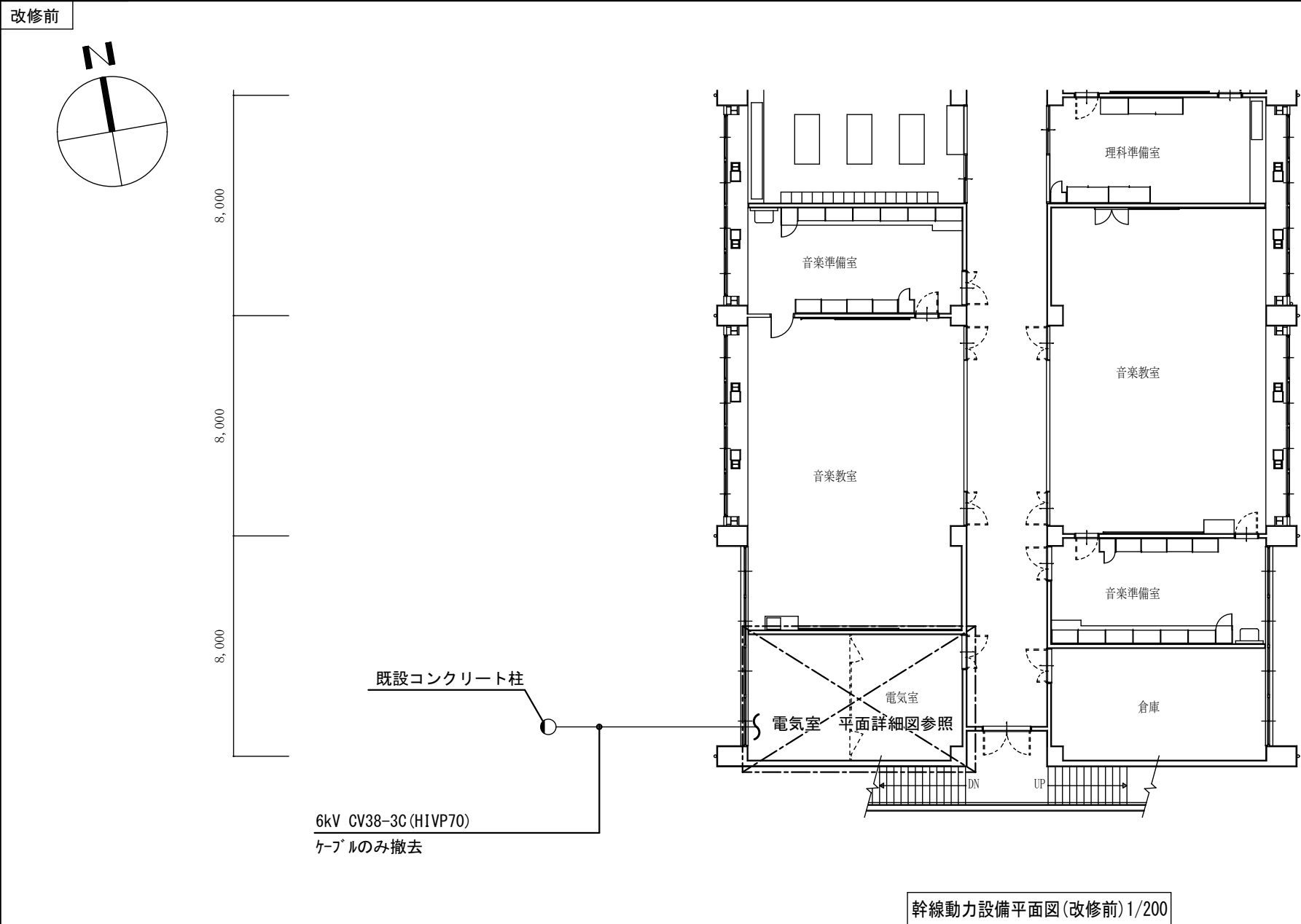
仕様

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | キュービクル内に保守用コンセント取付  |
| 2 | 変流器、変成器はモールド仕様とする   |
| 3 | 付属品 ティスコン棒          |
| 4 | 変圧器は防振、耐震処理を施すこと    |
| 5 | ブザー、ランプ付            |
| 6 | 外部出力接点(キュービクル一括警報)付 |
| 7 | 消防庁告示第7号に準拠すること     |
| 8 | 国土交通省仕様とすること        |

注意事項

キュービクルはクレーンにて分割して搬入  
電気室(校舎2階屋内)と廊下間の扉の開口がW1150×H2000のため分解し、電気室内で組み立てること

|                  |                     |              |
|------------------|---------------------|--------------|
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |                     | 縮尺<br>N/S    |
| 図面名称             | 受電設備 単線結線図(改修前・改修後) | 原図: A 2      |
| 津市建設部営繕課         |                     | No.<br>E-2 4 |



|                  |                                  |               |
|------------------|----------------------------------|---------------|
| 津市立育生小学校長寿命化改修工事 |                                  | 縮尺            |
|                  |                                  | 1/50<br>1/200 |
| 図面名称             | 幹線動力設備 平面図<br>電気室 平面詳細図(改修前・改修後) | 原因: A 2       |
| 津市建設部営繕課         |                                  | No. E-25      |